

# 地域連携 学生フォーラム in 大阪 2021 報告集



主催：特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

# 目 次

○はじめに	1
○次 第	2
○発表概要	
学生発表① 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ IoTによる「デジタル社会」と 「人とひとのふれあい社会」との融合による町づくり	3
学生発表② 大阪電気通信大学カフェラボプロジェクト OECUカフェラボプロジェクトの2020&2021年度活動報告 ～地域のカフェリノベーション～	18
学生発表③ 大阪商業大学フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ 子どもや高齢者の集い場・居場所づくり	40
学生発表④ 追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ 見山の郷商品開発プロジェクト	57
学生発表⑤ 摂南大学ボランティア・スタッフズ コロナ禍における大学生の地域貢献活動	72
学生発表⑥ 大阪大学学生有志プロジェクト 住民と大学院生の協働によるアイデア創出の場づくりと実現に向けた実践	84
学生発表⑦ 摂南大学 PBL プロジェクト科目の受講生 奥伊吹やまのさちプロジェクト（山間部の過疎高齢化地域での援農活動）	97
学生発表⑧ 摂南大学 地域貢献実践演習（講義） 3回生・4回生 公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」の認知度向上（地域貢献実践演習）	110
学生発表⑨ 摂南大学 松塚健康プロジェクト 高齢化率の高い都市部における住民中心の健康づくり活動への支援	122
学生発表⑩ 摂南大学 PBL プロジェクト 大学生と地方自治体とのSDGs連携プラットフォーム活動	138
学生発表⑪ 追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ 北摂地域の活性化・認知度向上	150
学生発表⑫ 学生舞洲プロジェクト 舞洲の魅力発信・知名度向上を目指したプロジェクト	165
学生発表⑬ 大阪成蹊大学公共政策コース地域研究グループ 地方創生に向けた川西市への政策提案プロジェクト	178

○当日の様子 .....	190
○学生企画運営メンバー活動の様子およびアンケート集計 .....	192
○参加者・観覧者アンケート集計 .....	198
○広報用チラシ .....	206

# はじめに

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪  
地域連携部会長 荻田 喜代一  
(摂南大学 学長)

地域連携学生フォーラムは、会員大学の学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やフィールドワーク、ボランティア活動等の内容について発表し交流することを目的に、年に一度開催しています。このような発表交流会を通じて、学生の地域連携に取り組む意識の高揚や自己点検を促進するとともに、地域との連携を行ううえでの配慮ポイントやノウハウを会員大学や自治体関係者等で共有し、会員大学の地域連携活動を醸成する機会としています。

7回目を迎える今回は、「繋がる・広がる・変化する～コロナを原動力に前進していく地域～」をテーマに、6大学9名の有志学生が本フォーラムの企画運営メンバーとしてミーティングを重ね、「学生による、学生のためのフォーラム」が実現しました。

当日は7大学1団体が参加し、計13事業の発表がありました。また、それぞれの発表に対して参加者間の意見交換を行うなどの積極的な相互交流の場が設けられました。これらの試みはすべて学生企画運営メンバーのアイデアによるものです。

これらの発表や意見交換を通じて、参加者が各大学の特色を生かしながら、地域固有の事情を踏まえたユニークな「地域連携」が体现されていることを知り、また今後の活動への応用、工夫へと繋がる契機になったことと思います。

この報告集は、13事業の活動内容を取りまとめたものであり、大学コンソーシアム大阪のホームページでも公開予定としておりますので、皆様の活動に広くお役立ていただければ幸いです。

最後に、本フォーラムの開催に際しまして、ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。

2021（令和3）年11月



# 地域連携学生フォーラム in 大阪 2021

## 次 第

◆日 時：2021（令和3）年10月17日（日） 10：00～16：15 \*交流会：16：30～17：30

◆会 場：グランフロント大阪 カンファレンスルーム C01・02

（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーC 8階）

時 間	発表団体		内 容
10：00-10：15	開会挨拶（趣旨説明）		
10：15-11：15	学生発表①	大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ	IoTによる「デジタル社会」と「人とひとのふれあい社会」との融合による町づくり
	学生発表②	大阪電気通信大学 カフェラボプロジェクト	OECU カフェラボプロジェクトの2020&2021年度活動報告 ～地域のカフェリノベーション～
	学生発表③	大阪商業大学 フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ	子どもや高齢者の集い場・居場所づくり
11：15-11：25	休憩（10分）		
11：25-12：25	学生発表④	追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ	見山の郷商品開発プロジェクト
	学生発表⑤	摂南大学 ボランティア・スタッフズ	コロナ禍における大学生の地域貢献活動
	学生発表⑥	大阪大学 学生有志プロジェクト	住民と大学院生の協働によるアイデア創出の場づくりと実現に向けた実践
12：25-12：30	時間調整（5分）		
12：30-13：30	昼食休憩		
13：30-14：50	学生発表⑦	摂南大学 PBLプロジェクト科目の受講生	奥伊吹やまのさちプロジェクト （山間部の過疎高齢化地域での援農活動）
	学生発表⑧	摂南大学 地域貢献実践演習（講義） 3回生・4回生	公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の認知度向上（地域貢献実践演習）
	学生発表⑨	摂南大学 松塚健康プロジェクト	高齢化率の高い都市部における住民中心の健康づくり活動への支援
	学生発表⑩	摂南大学 PBLプロジェクト	大学生と地方自治体とのSDGs連携プラットフォーム活動
14：50-15：00	休憩（10分）		
15：00-16：00	学生発表⑪	追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ	北摂地域の活性化・認知度向上
	学生発表⑫	学生舞洲プロジェクト	舞洲の魅力発信・知名度向上を目指したプロジェクト
	学生発表⑬	大阪成蹊大学 公共政策コース地域研究グループ	地方創生に向けた川西市への政策提案プロジェクト
16：00-16：05	時間調整（5分）		
16：05-16：15	講評・閉会挨拶		
16：30-17：30	発表者間交流会		

# 発表概要

## ■大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ

活動テーマ	IoTによる「デジタル社会」と「人とひとのふれあい社会」との融合による町づくり
活動場所	大阪市東淀川区
連携先	アンケート回答企業、区内の老人ホームや自治会町会・区内の包括支援センター
活動主体	大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ

### 1. 活動概要

コロナ禍の今、社会においてはIoTやAIによるデジタル化が進む中、人との触れ合いが失われる世界を懸念し、人とのリアルなつながりの大切さが再認識される。わたしたちは、アフターコロナの時代に向けて、IoTによる「デジタル社会」と「人とひとのふれあい社会」との融合による町づくりを活動テーマとしていますが、中でも、超高齢者社会の現状に鑑みて、そこにおける一つの問題である高齢者の転倒事故の増加に着目し、その対応としてのIoTの活用について調査しています。具体的には、IoTの活用事例を調査し、そのうえで、私たちのアイデアを、アンケート調査を通じて評価してもらおうというのが、活動の入り口です。その後、回答アンケートを分析し、当初のアイデアを再考し、東淀川区の老人ホームや包括支援センターを中心に実地調査、インタビューの活動をおこない、実現可能性や有用を検討し、最終的に一つのモデルを提案してきます。

### 2. 年間計画

2021年度	活動内容
4月～7月	■IoT活動事案の調査 ■アイデア作成 ■アンケート調査票作成・送付
8月	■回答アンケートの集計・分析 ■アイデアの再考 ■実地調査の検討
9月	■実地調査の実施（区内の自治会町会や老人ホーム予定）
10月	■IoT活用企業見学（八尾市の中田製作所見学予定）

### 3. 活動成果

私たちの活動の入り口は、アンケート調査です。地域の担い手でもある大阪府内の中小企業や東淀川区の行政機関・包括支援センターに、わたしたちのアイデア（具体的には、高齢者の携行品が転倒による衝撃を感知、その情報をIoTにより地域のひと、病院や親族へ伝えるというアイデアです）を評価してもらうために、計285のアンケート調査票を送付いたしました。結果、68の回答を頂きました（2021年8月18日現在）。主な評価は、次のとおりです。

- ①「高齢者がその商品を使い楽くなる文化づくりを考える必要がある」
- ②「高齢者にとって使いやすいものか、など高齢者にとっての目線で考えることが大切」
- ③「まず、転倒しない為にはどうしたらいいかを考えるべき。IoTを活用して、高齢者向けのコミュニティやSNSを作って、外に出ていくことが必要ではないか」
- ④「超高齢化社会に向かっている現在、健康寿命を長らえるように支え合えると理想的です。親切は大切で、家族の形態にもより個人差が大きいと思われます。IoTによるデジタル社会が人類の幸福実現につながることを期待します。」

### 4. 地域からの評価

進行中

### 5. 参考 WEB サイト

未病について（健康寿命の延伸に向けた取組） — 神奈川県ホームページ（[pref.kanagawa.jp](http://pref.kanagawa.jp)）

### 6. 活動メンバー

経営学部3年 竹之内 龍, 中屋 咲耶花, 中澤 晃正, 山口 綾菜, 倉田 幹也, 谷 美歩, 富田 滉一, 松元 宜貴, 大和 恵吾, 赤保 文太, 池上 七乃葉, 岩津 彩香, 奥村 陵, 川畑 勇人, 佐々木 紫音, 高島 そよ香, 山田 真名美, 越智 悠斗

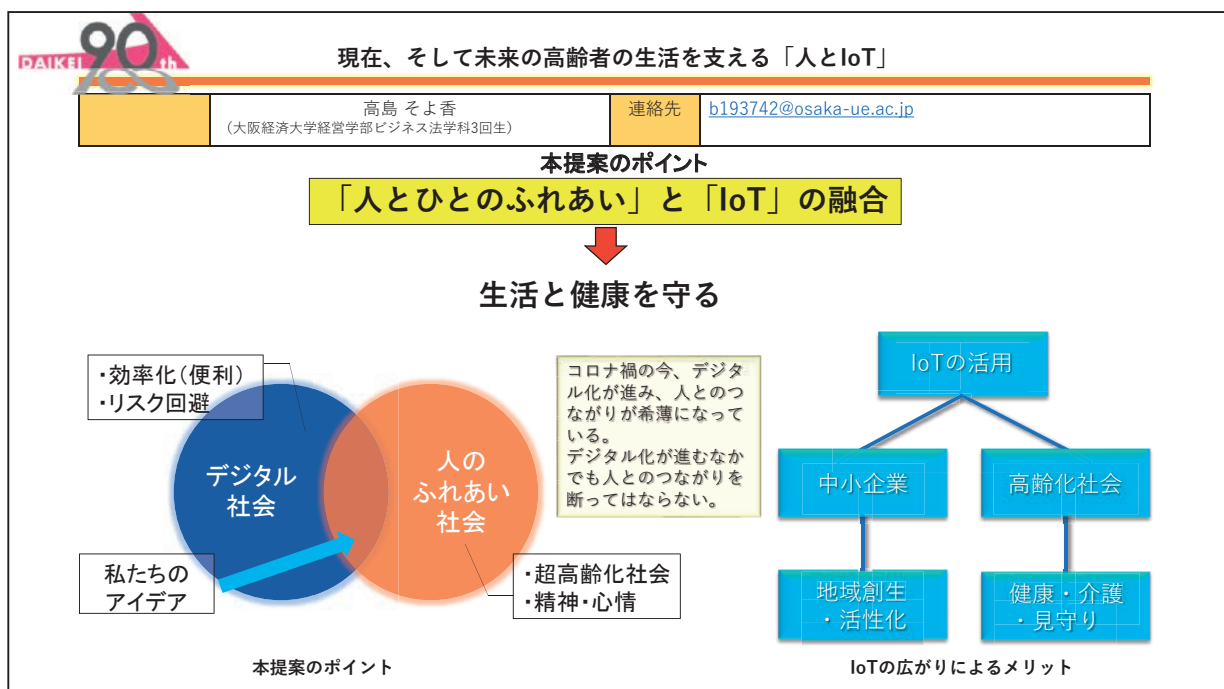
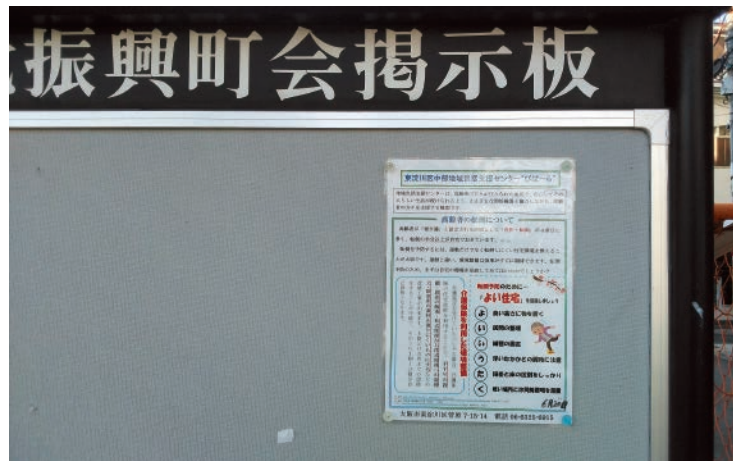
### 7. 担当教員

経営学部 准教授 古賀敬作

### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	大阪経済大学
所属先・職名	経営学部・准教授
氏 名	古賀 敬作
連絡先	電 話 06-6328-2431（代表）2817（内線）
	メー ル k_koga@osaka-ue.ac.jp

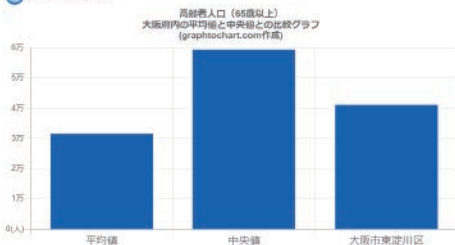
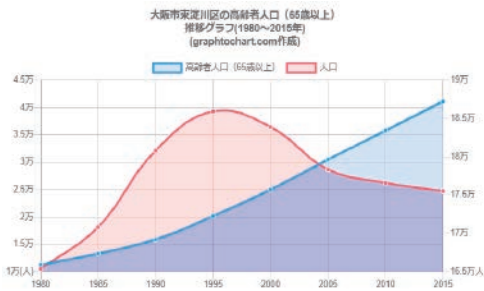
9. 活動の様子



# IoTによる「デジタル社会」と「人とひとのふれ合い」との融合による町づくり ～企業アンケート調査&地域実地調査をもとに～

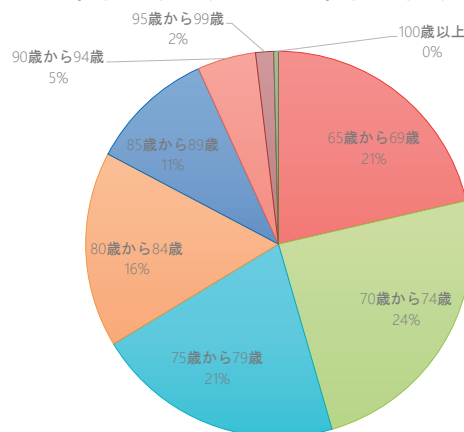
大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミナール

## 地域の課題: 高齢社会の加速化



Source:2015年の総務省による統計ダッシュボード調査が最新のデータ(2021年4月9日確認);  
<https://graphtochart.com/> (2021年9月1日閲覧訪問)

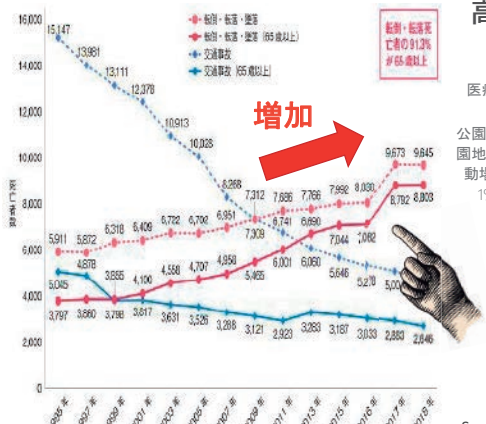
### 東淀川区:65歳以上の年齢別人口割合 (令和2年11月1日～令和3年8月1日)



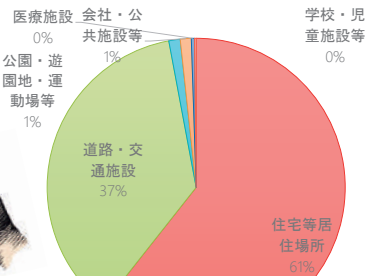
Source:大阪市年齢別人口推計  
(<https://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000015211.html>) より作成



# 高齢者の転倒事故の増加

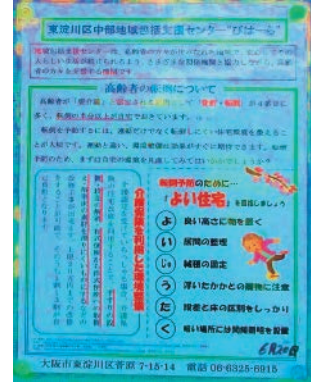


## 高齢者の「ころぶ」事故の発生場所 (平成30年中)



Source: 東京消防庁「安心・安全情報」

## 地域掲示板



Source: 公益財団法人長寿科学振興財団健康長寿ネット  
<https://www.tyoju.or.jp/net/topics/tokushu/koreisha-undoki-kenko/tento-kossetsuyobu-torikumi.html>  
 (2021年9月1日閲覧訪問)



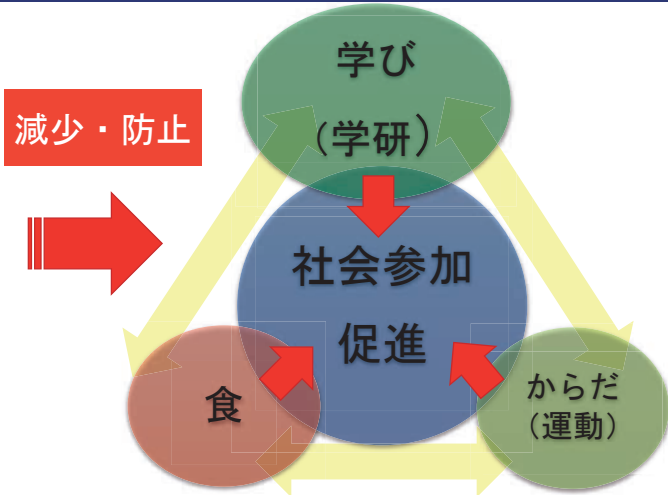
# 転倒原因と減少・防止



Source: あしたの暮らしをわかりやすく政府広報オンライン (令和3年6月21日付け) 参考



## 健康増進3要素による社会参加の促進





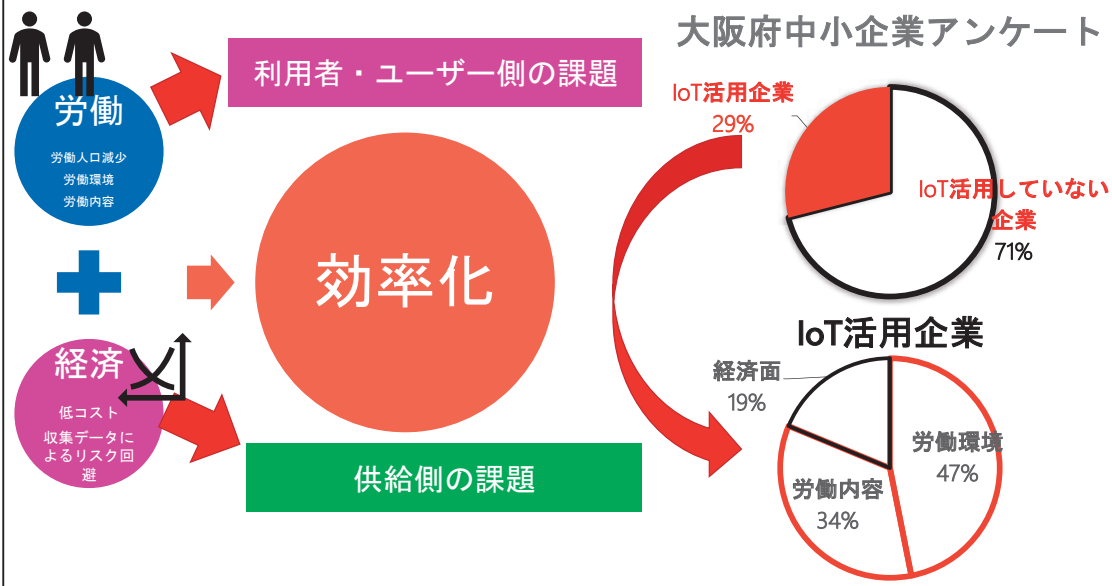


# コロナ禍、そしてアフターコロナ: デジタル社会 (IoT) へ拍車

## IoT (Internet of Things) とは何か？



## IoTの実際的メリット(地域企業という視点)





## 超高齢社会におけるIoTのさまざまな活用事例

### 対象・ターゲット 特定の活用

#### ●IoTを活用した高齢者栄養支援

- ・在宅高齢者の栄養改善
- ・機能的な栄養摂取状態把握
- ・在宅高齢者の誤嚥防止
- ・口腔ケア・介助の質向上
- ・低栄養高齢者の早期発見
- ・低栄養リスク者発見率2.6、7%向上



Source:出30-9、IoTを活用した高齢者  
栄養支援のモデル創出—身近なIoT—

#### ●浴槽内の溺水事故を防止するマンション

- ・浴槽内の心拍・呼吸の異変を察知
- 自動的に排水・溺死を予防
- ・スマートロック・置き配ボックス
- スマホで住戸の鍵・留守時の遠隔対応
- ・入居者専用アプリ開発(予定)
- 入居促進・コミュニティサービスの提供



写真：シニアアップデートマンション

#### ●ウェアラブルデバイスを利用したIoT

- ・ウェアラブルデバイス…人間の体の一部に装着して利用することを想定したデバイス。
- ◆健康増進が期待できる機器
- ・スマートTシャツ
- Tシャツにセンサーを埋め込み、エネルギー消費量やカロリーをスマホで記録。
- ・スマートウォッチ
- 医療に役立つ心拍計だけでなく呼吸頻度を測定し、データを正確に医療機関に提示。



Source:心電や活動量を測れる「スマートTシャツ」、洗濯も可能 | 日経クロステック (xTECH) | (nikkei.com)



## (大阪府) 超高齢社会におけるIoTの活用事例

### 広域活用：箕面市や堺市の取り組み

#### ●見守りロボットによる業務効率化

- ・ペンダントサイズの小型発信機を持つ対象者が「見守りアプリ」の入ったスマホを通過するとサーバに通知され、位置情報が確認できる
- ・2016年現在小中学生を対象として実験が行われているが、高齢者向けの支援サービスとしても拡大を検討中。



Source:認知症ねっと  
箕面市全域で「見守りサービス  
実証実験」実施 | 認知症ねっと

#### ●IoT活用、地域ぐるみで高齢者の健康見守り 堺市泉北ニュータウン

##### 「SMART SENBOKU PROJECT」を創設

Source:堺市ホームページ「2021年4月14日付堺市報道提供資料」  
[https://www.city.sakai.lg.jp/shimai/kyou/hado/hodotakayoshirya/kakuhodo/tekiyoshirya/3/tekiyoshirya\\_0304-030414\\_01.html](https://www.city.sakai.lg.jp/shimai/kyou/hado/hodotakayoshirya/kakuhodo/tekiyoshirya/3/tekiyoshirya_0304-030414_01.html)



##### ウオラ・イノベーション株式会社



システムの概要(画像/ウオラ・イノベーション社)



IoTによる「デジタル社会」と「人とヒトとのふれ合い社会」との融合

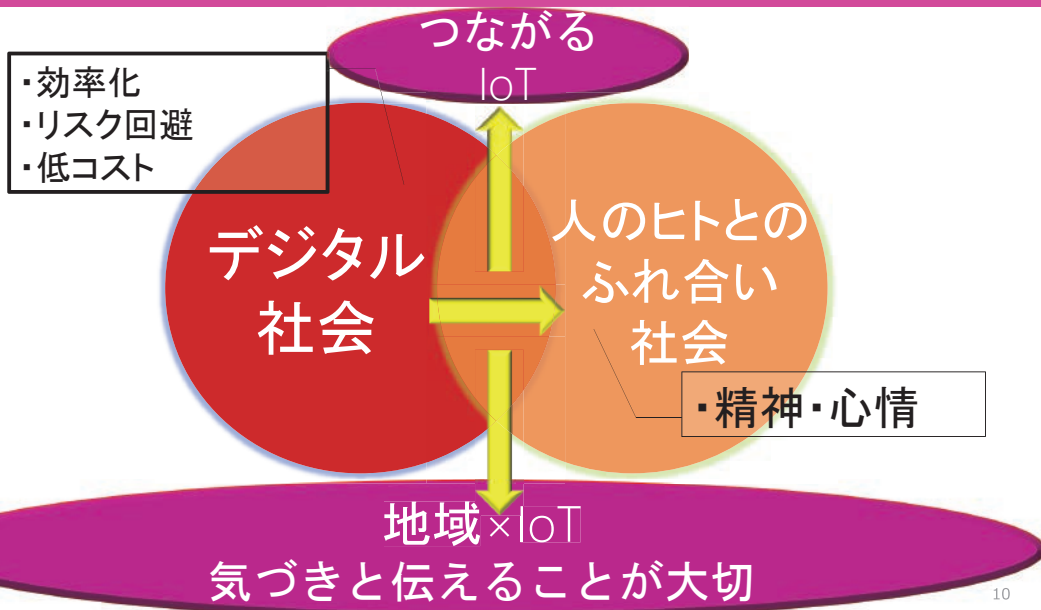
■哲学者スラヴォイ・ジジェク

「コロナ後の社会をどう再構築すべきか」

「デジタル化を優先するあまり、ふれ合いが失われる世界にしてはいけない」



わたしたちの考えのコンセプト





スマホや携帯電話を持っていない高齢者が沢山いること、また、アプリの使い方を若者のようにすぐに覚えられないので浸透まで施策が必要かもしれない。

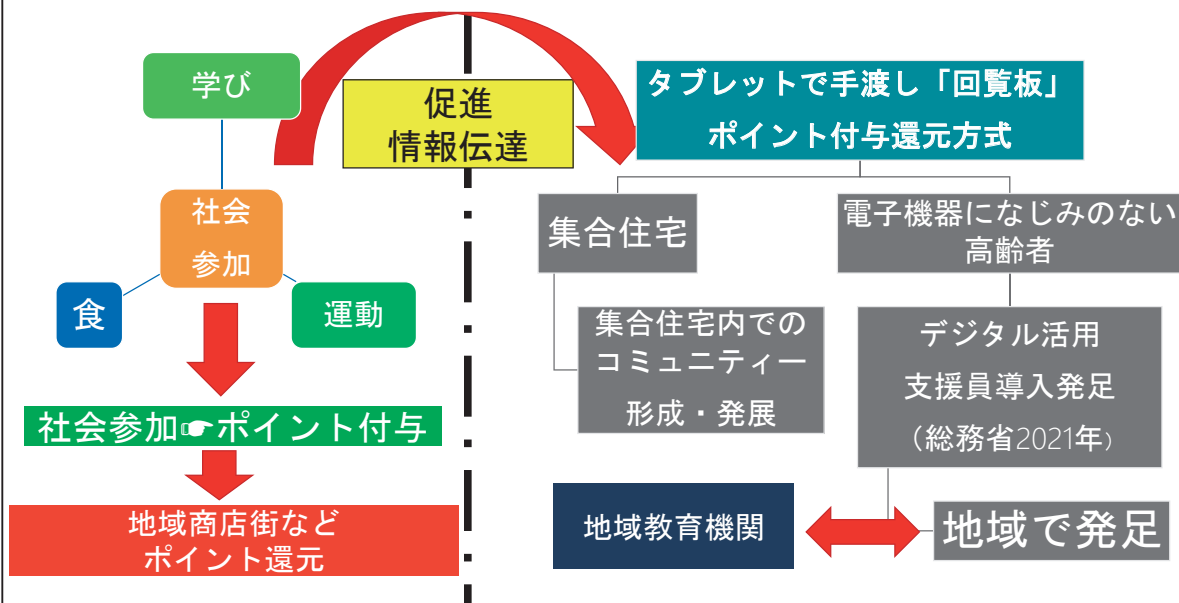


高齢者がその商品を使い楽しくなる文化づくりが必要。デバイスが高齢者にとって使いやすいものかなど高齢者目線で考える。



地域の社会保障関係の協力が必要だと思う。(NPOや自治会、町会等)

課題解決・身近な町づくりに向けて





## 高齢者とIoT・デジタル機器とのかかわりあい



### さまざまな工夫や取り組みの実態

#### ●みやき町導入（佐賀県）「MAGOボタン」

MAGOボタンは缶詰大の押しボタンに通信機能を内蔵。コンセントに差し込めばインターネット環境がなくても利用でき、操作もボタンを押すだけでスマートフォンが使えないお年寄りにも簡単に使える。時報や天気、ゴミ出し、デイサービスの日や薬をのむ時間などを音声で知らせるほか、薬を飲んだ後にボタンを押せば離れた家族の安否確認ができる。

困り事があって2回押すと、コールセンターに連絡がいき、コールセンターが折り返し電話。困り事を聞いて、町が養成している地域サポーターや行政の支援につなげる。地域サポーターは有償ボランティアとして、電球の取り換えや買い物支援などの困り事に対応する。

Source:ジチタイワークス「佐賀県みやき町高齢者と町をつなげるMAGOボタン 見守り&防災サービス」(2019-6-19)  
<https://jichitai.works/article/details/47>



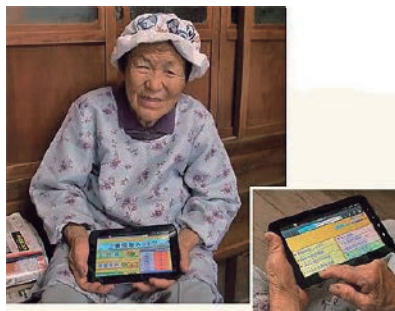
Source:貝塚市HP「高齢者見守りQRコードシールの配付」(2020-6-1)  
<https://www.city.kaizuka.lg.jp/kakuka/kenkohokushi/koreikaigo/menu/ninchisyo/qrcord.html>

13



## 高齢者とタブレット

### ■ 関心や興味をひくことが大切



●農産物の販売会社いどりが配布したタブレット端末とそれを利用する農家の女性(2011年11月に90歳になった農家の針木ツネコ)

Source:吉田 洋平=日経コンピュータ「快適システムの極意」90歳でも楽しく操作」(2012/04/13)  
<https://active.nikkeibp.co.jp/article/Active/20120406/390023/>  
(2021年9月3日最終訪問)

### ■ タブレットで「回覧板」 仙台・宮城地区、2021年3月まで試験導入



Source:河北新報 ONLINE NEWS(2021年2月26日)  
<https://kahoku.news/articles/20210225khn000094.html>  
(2021年9月3日最終訪問)

14



## 東淀川区の現状と街並み

### ●高齢者世帯の現状

	東淀川区	市内順位 (24区中)
高齢者の いる一般 世帯のう ち単独世 帯数・世 帯率	12,219 世帯	5位
	42.1%	7位

Source:東淀川区役所「東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～平成30(2018)年1月」13頁  
<https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/cmsfiles/contents/0000421/421376/vision.pdf>  
 (2021年9月3日最終閲覧)

内環沿いにスーパー散在

### ●多様な町並み・住居形態



15



## 東淀川区全体での高齢者への取り組み

だれでも安心して暮らせるまちづくりをめざして

「東淀川区ライフステーション事業」を実施！！

### 見守りキーホルダー事業



氏名や緊急連絡先、かかりつけ医や服薬など登録。ID番号のついたキーホルダー

外出時等にカバンなどに付けておくことで、倒れるなどの救急搬送や、保護された時に、速やかに身元確認等ができる。

見守りキーホルダーの登録および登録費は、300円

Source:東淀川区役所ホームページ(2021年7月15日)  
<https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/page/0000535819.html>

16





## 東淀川区・各地区ごとの高齢者への取り組み

東淀川区内、17地域の地域活動協議会、躍進中！ インタビュー&話し合い



## 東淀川区・各地区ごとの高齢者への取り組み事例

### 東淀川区の健康増進・社会参加の取り組み1-①

**新庄地域活動協議会**

- ◆まち美化ボランティア
  - ・上新庄駅前周辺の清掃活動
  - ・協議会内の町会から募集
- ◆高齢者食事サービス
  - ・会館内設置の厨房で調理
  - ・高齢者同士での対話の機会提供
  - ・現在はお弁当を配布・運動の機会提供

写真1：新庄社会福祉老人館の向

### 東淀川区の健康増進・社会参加の取り組み1-②

**新庄地域活動協議会**

- ◆ふれあいサロン
  - ・各町会ごとに月に3回定例実施
  - ・サロンでのおしゃべりやカラオケ
  - ・現在は活動休止中

写真3：会館のカラオケルーム

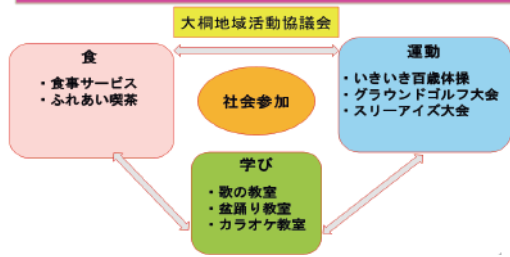
### 東淀川区の健康増進・社会参加の取り組み2

**大道南地域活動協議会**

- ◆大道南「輪WA和」
  - ・大道南主催の地域フェスタ
  - ・演奏会や伝統芸能などの舞台発表
  - ・体験教室・展示会からバザーまで幅広く展開

写真：大道南「輪WA和」

### 東淀川区の健康増進・社会参加の取り組み3





## 東淀川区・各地区ごとの情報発信



ホームページ開設  
電子媒体広報



Facebook開設



Instagram開設

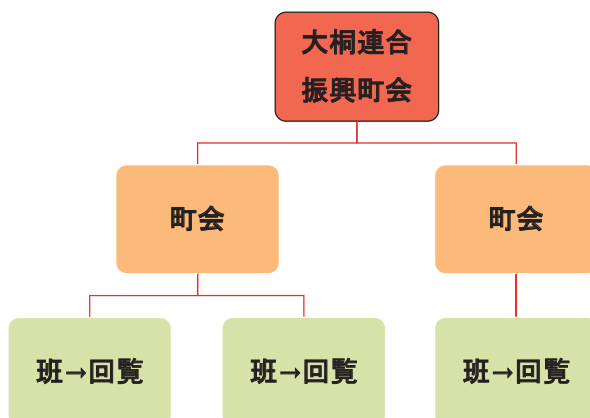


誰がみる？



## 地域の回覧板の現状

### ●大桐地域活動協議会を例に



#### 現状①(発信側視点)

- ・かつては全体に浸透
- ・町会非参加世帯との情報格差
- ・コピー・紙代などの費用が大きい

#### 現状②(受信側視点)

- ・機械的に回すことがほとんどで、判を押して終わることも多い
- ・ご近所付き合いに抵抗



## タブレット式回覧板についてのご意見・考察

### 良い点

- ・膨大なコピー代・紙代の削減
- ・地域の商店街やスーパーへのポイント付与還元制度は◎
- ・手渡しのメリットの安否確認を残しているのはGood

### 改善点

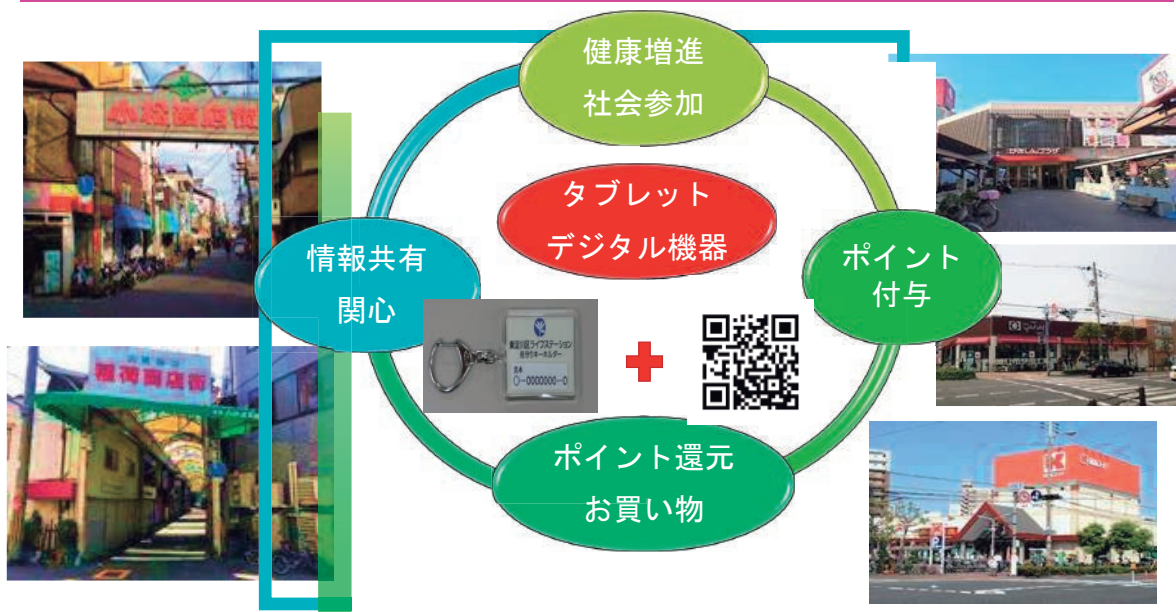
- ・タブレットへの抵抗
- ・盗難被害の想定
- ・行政の支援(購入資金・使用法の説明・ヘルプ)はいかほど？

### 考察

- ①現時点の導入は厳しい  
→今の40・50代が高齢になるとタブレットに慣れているので可能か？
- ②ポイント付与還元は有用  
→情報の受信側にも興味を与える＋社会参加・健康増進にも繋がる
- ③タブレットへの抵抗はどう無くせる？  
→協議会で説明会の実施・区役所や外部に委託して専用ヘルプサービス設置



## 東淀川区の特徴を活かしたIoT活用に向けての仕組みづくり





## おわりに:みえてきた課題

---

大都市型高齢社会  
地域単位の身近な施策の困難さ



大規模な施策にならざるをえない



ご近所付き合いの軽薄化



地縁団体（町会）の存続危機

23



## ■大阪電気通信大学カフェラボプロジェクト

活動テーマ	OECU カフェラボプロジェクトの2020 & 2021年度活動報告 ～地域のカフェリノベーション～
活動場所	大阪府寝屋川市
連携先	ゴマジェットカフェ
活動主体	大阪電気通信大学カフェラボプロジェクト

### 1. 活動概要

大阪電気通信大学では2016年度から、「古いものを愛でる、大切にする」をコンセプトに、学部生・大学院生が自由に参加できるプロジェクト活動として、「カフェラボプロジェクト（廃研究室・廃品再生プロジェクト）」を推進している。これは、主に学内の古い居室や備品、ガーデンなどの再生と、それらに必要な工学・芸術的知識・技術の修得を目指す自主的な研修会など、幅広い活動を行うことによって、工学部ならではのモノづくり力と協働する力などを養成する取り組みである。従来までは、学内の活動が主であったが、2020年度は地域のカフェ（寝屋川市・ゴマジェットカフェ）との共同企画として、当カフェのデッキテラスのリノベーションを実施することができた。なお、本プロジェクトの一部は、本学工学部・情報通信工学部の正課として、社会人基礎力・マナーなどを習得することを目的としたキャリア系科目「地域プロジェクト活動1・2」となっている。

### 2. 年間計画

〈2020年度の例\*〉

- 4月～8月 プロジェクトメンバー募集（コロナ禍のため前期は活動を自粛）
  - 8月下旬 地域のカフェオーナーとの事前打ち合わせ（教員）
  - 9月上旬 企画書（カフェのデッキテラス改装案）の作成、カフェオーナーに提案（教員）
  - 9月中旬 備品の発注・スケジュール調整
  - 10月中 カフェのデッキテラスの改装作業
  - 10月下旬 改装作業完了、デッキテラスオープン
  - 11月～1月 学内のクラブ棟内2居室の改装（現在も継続中）
  - 1月 学内での成果発表会
- ※年度によって異なります。

### 3. 活動成果

本プロジェクトは2016年度以降、継続的に活動しており、その期間における全体の成果としては以下の通りである。

- 学内資源（居室や備品など）の有効利用に高く貢献している。
- 2020年度は地域のカフェの改装を行うことによって、それまでに当プロジェクトで蓄積してきた知識・技術力を使って、地域に貢献できた。
- リノベーション活動に伴って、室内の各種施工、木材加工・装飾、CAD図面の見方や書き方など、工学技術の体験学修効果があった。
- 正課として年度末に活動の報告書作成義務と成果発表があり、報告書作成能力とプレゼンテーションの能力を向上させることができた。
- チームで働くグループワークの力（協働力）、上級生には指導力を習得させることができたとともに、その難しさを体験的に学修させることができた。
- 正課で受講する履修生と、その活動を統率・指導・支援する先輩学生らとの交流機会が多くあり、よい情報交換の場となった。

#### 4. 地域からの評価

〈ゴマジェットカフェさんのInstagramより抜粋（原文ママ）〉

(2020/9/30) それから大阪電気通信大学さんとのコラボ企画。地域連携専攻の学生さんとゴマジェットカフェのテラス席を作ってます！ こんな感じで地域を盛り上げていけたらいいですねー。

(2020/10/6) 大阪電通大学さんとのコラボ企画。いよいよ、帆布を張って頂きました！ テラス席始動までもう少し！

(2020/10/21) とうとう大阪電気通信大学のカフェラボさんとのコラボで、テラス席が出来ました！ 大学生の皆様が頑張ってくれたおかげで、居心地良さそうなテラスに。今の時期だったらオープンテラスでのカフェ、夜も気持ちよく飲めそうです！

#### 5. 参考WEBサイト

- 大阪電気通信大学カフェラボ公式ホームページ <https://www.osakac.ac.jp/cafelabo/>
- ゴマジェットカフェさんのInstagram <https://www.instagram.com/gomajetcafe/>

#### 6. 活動メンバー

〈代表者（発表者は5名）〉

大阪電気通信大学 工学部 基礎理工学科 2年 藤井 愛美（リーダー）

同上 2年 齋藤 史翔

環境科学科 3年 清水 茉央

その他学部生 15名（正課・地域プロジェクト活動1・2受講生）

大阪電気通信大学大学院 工学研究科 工学専攻 2年 半原 綾乃

同上 2年 澤野 翔哉

#### 7. 担当教員

工学部環境科学科・教授／地域連携推進センター・センター長 中田亮生

教育開発推進センター・特任講師 斉藤幸一

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	大阪電気通信大学／地域連携推進センター・センター長	
所属先・職名	工学部環境科学科・教授	
氏 名	中田 亮生	
連絡先	電 話	072-824-1131
	メー ル	a-nakata@osakac.ac.jp

## 9. 活動の様子



# OECUカフェラボプロジェクト 2020&2021年度活動報告 ～地域のカフェリノベーション～

藤井愛美<sup>1</sup>・齋藤史翔<sup>1</sup>・清水茉央<sup>1</sup>

澤野翔哉<sup>2</sup>・半原綾乃<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪電気通信大学工学部

<sup>2</sup>大阪電気通信大学大学院工学研究科



## 発表メンバー(プロジェクトの代表)の紹介

- 藤井愛美  
工学部基礎理工学科2年 活動2年目(2020年～)
- 齋藤史翔  
工学部基礎理工学科2年 活動2年目(2020年～)
- 清水茉央  
工学部環境科学科3年 活動1年目(2021年～)
- 澤野翔哉  
工学部環境科学科→大学院修士2年  
活動5年目(2017年～)
- 半原綾乃  
工学部基礎理工学科→大学院修士2年  
活動5年目(2017年～)

その他のメンバー15名(2021年度)





廃研究室&廃品再生プロジェクト

～「古いものを愛でる、大切にする」～

- ▶学内で使われていない古い研究室(ラボ)や備品をリメイク、ガーデンの整備といった**カフェのような快適な空間**を創造するリノベーション活動
- ▶リノベーション活動に必要な木材加工や装飾技術、住環境デザイン、CAD図面の見方や書き方の学習
- ▶歴史的建造物や美術館、庭園・町屋のリノベーション事例の見学・研修
- ▶オープンキャンパスや大学祭、高校生向けの学内見学でカフェラボの活動紹介



カフェラボ1号店(2017年大阪電気通信大学キャンパス内)

3 地域連携学生フォーラム in Osaka 2021



Café Lab Archive

4 地域連携学生フォーラム in Osaka 2021

## Café Lab Archive

活動年度	主な活動内容
2016 (7人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃研究室の改装(カフェラボ1号店)</li> <li>・ 学内の廃品回収・再利用備品の仲介</li> </ul>
2017 (13人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カフェラボ1号店に昭和の間(和室)、Atelier(作業部屋)、くじらカフェ(屋上ガーデン)を制作</li> <li>・ オープンキャンパス、大学祭等で一般公開</li> <li>・ インテリアCADの勉強会</li> <li>・ 伏見稲荷(京都)、ならまち(奈良)などの見学</li> </ul>



5 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## Café Lab Archive

活動年度	主な活動内容
2018 (5人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生棟 1 階エントランスのリノベーションと自動販売機のオリジナルラッピング</li> <li>・ 大学祭において活動のポスター発表</li> <li>・ 京都北山にて美術館&amp;陶芸などの研修</li> </ul>
2019 (6人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガーデンラボの作庭</li> <li>・ 厚生棟 2 階に町屋風カフェを改装(途中)</li> <li>・ 五箇荘(滋賀)にて近江商人屋敷などの見学</li> </ul>



6 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021



## 学内の活動実績

7

厚生棟クラブ室(改装中) 2020~

町屋風カフェ(改装中) 2021~

厚生棟1階エントランス (2018)

ガーデンラボ2 (2020~)

ガーデンラボ (2019)

活動拠点(カフェラボ1号店) (2016~2018)

寝屋川キャンパス

リニューアル工事中

学生ホール/大学生1~4階

学生食堂

クラブハウス

学生自治会

学生センター

通川門

エシカルビジネス基礎研究室

新築調査研究施設

正門

大学事務局・売付

エコポ

## 2020年度の活動内容



## 2020年度の活動内容

1. 地域のカフェ「ゴマジェットカフェ」  
デッキテラス席のリノベーション(9~11月)
2. 学内厚生棟クラブ室の改装(11月~)

壁の修復、壁・天井の塗装  
収納兼展示台



9 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 地域のカフェとのコラボレーション企画

大阪府寝屋川市内の「ゴマジェットカフェ」とのコラボレーション企画  
デッキガーデンテラス席の改装

ゴマジェットカフェのデッキガーデンテラス席は、しばらく利用していなかったが、「GoToEatキャンペーン」に合わせて、2020年10月以降に運用を開始予定。本プロジェクトでは、放置されたテラス席を海沿いのオープンカフェをイメージさせる快適な空間に造り替え、地域に貢献する新たなコラボレーション活動を行う。



10 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021



## 問題点(現状)

- 椅子や机の大きさが場所に対して大きく、使いにくい状況
- テラス席が車道と面しており、人の目が気になって落ち着いて食事できない
- 隣の建物や電気版が見えている状態
- 使っていないものが置いてあり、放置している状態

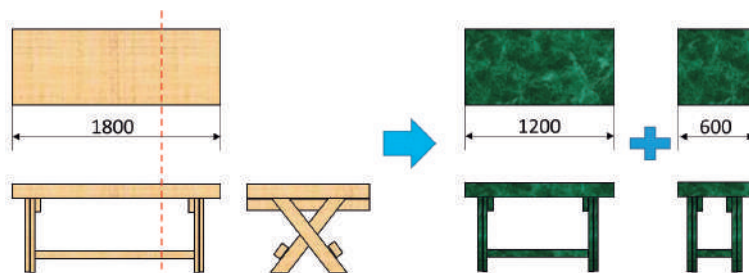


**デッキテラスとして  
使えない！**

11 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

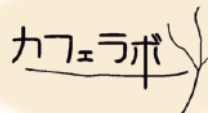


## 作業内容：テーブルのリメイク



12 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 作業内容：壁の塗装・帆布の取り付け



カフェラボの  
ロゴマーク

## Before





# After



15 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021



(ゴマジェットカフェ/ゴマジェットカフェキッチン(@yasukeai) • Instagram写真と動画)

16 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 2021年度の活動内容

17 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 2021年度の活動内容

### 1. 学内厚生棟クラブ室(1F)の改装

～南イタリア洞窟ホテル～

(2020年11月～)

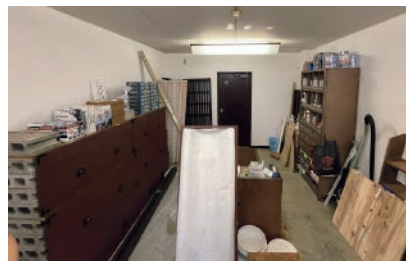
飾りドア, 格子目隠しの製作,  
机・椅子・扉の塗装,  
収納付き飾り棚の製作



### 2. 学内厚生棟クラブ室(2F)の改装

～町家風カフェ～

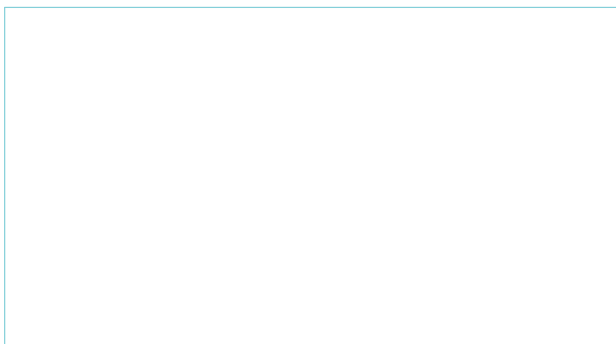
漆喰塗り, 扉の塗装,  
和風箆笥風パタパタ扉・  
蛍光灯ペンダントの製作



18 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

薄暗く壁なども汚れていた印刷室を「明るく使い勝手の良いものを作ってほしい」と学務課から依頼を受け、**南イタリア洞窟住居ホテル**を彷彿させる快適空間へ改装中。



19 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

世界遺産オンラインガイド、「洞窟住居サッシのホテル5選  
(マテララの洞窟住居と岩窟教会公園)」。  
<https://worldheritagesite.xyz/contents/sassi-hotels/> ,(2021.9.2 閲覧)

## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

2020年度 壁・天井塗り

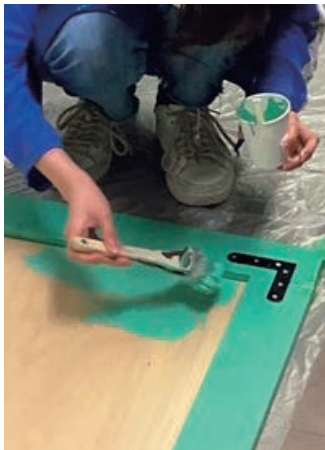


20 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021



## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

### 飾り扉の製作



21 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

### 格子目隠し



22 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

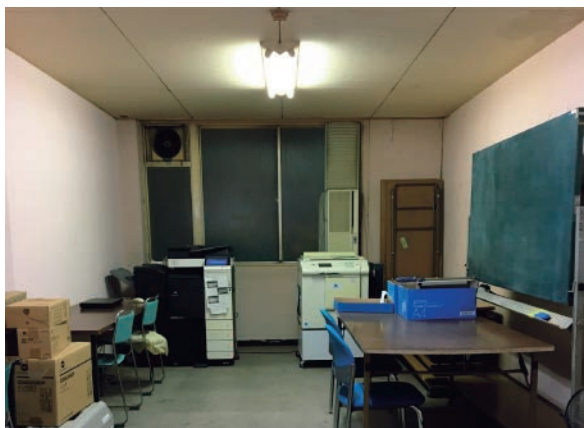
収納付き飾り棚 (教壇のリノベーション事例)



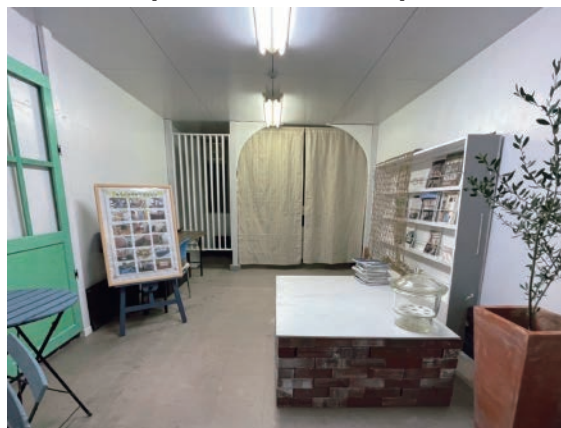
23 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(1F)の改装

before



after (2021/10現在)



24 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 2021年度の活動内容

### 1. 学内厚生棟クラブ室(1F)の改装

～南イタリア洞窟ホテル～

(2020年11月～)

飾りドア, 格子目隠しの製作,  
机・椅子・扉の塗装,  
収納付き飾り棚の製作



### 2. 学内厚生棟クラブ室(2F)の改装

～町家風カフェ～

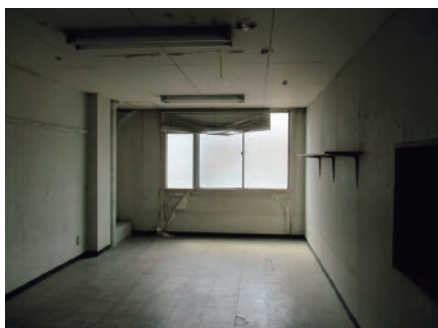
漆喰塗り, 扉の塗装,  
和風箆筒風パタパタ扉・  
蛍光灯ペンダントの製作



25 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

活動の拠点「カフェラボ1号店」が工事のため無くなるため、道具などの荷物の保管、作業やミーティングをするための新たな拠点「カフェラボ2号店」を厚生棟クラブ室2Fに設置。現在、町家風カフェへ改装中。



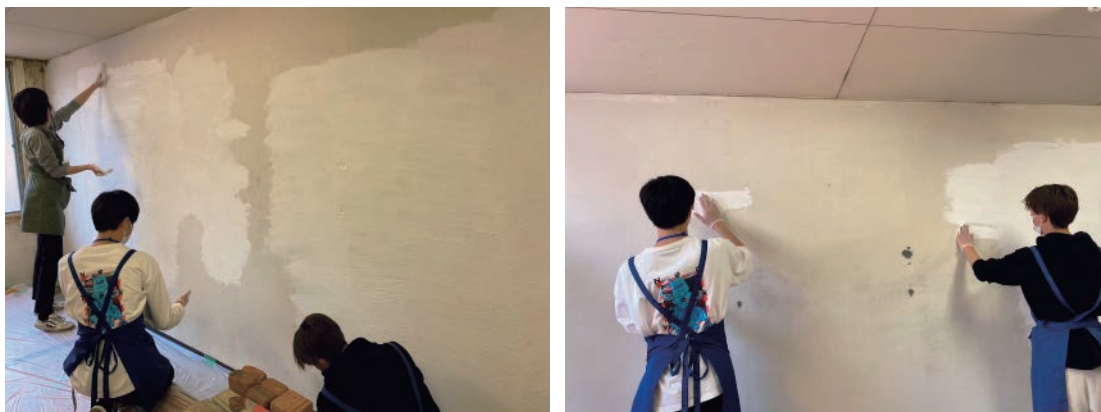
26 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

“ピアノと飛行機” 旅行好きな音楽愛好家のブログ. 「江戸時代から続く築180年の古民家カフェが素敵！奈良井「宿場Cafeいずみや」」.  
<https://pianotohikouki.com/cafe-izumiya-narai> ,(2021.9.2 閲覧)



## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

古い壁紙を剥がし、穴埋め材とパテを使い壁の修繕  
ゴム手袋をつけ、手で漆喰塗り



27 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

扉の塗装  
弁柄色に塗った上から赤、黒をかすれさせるように塗り  
小窓に金網を付けた



28 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

簡易整理棚 目隠しで和筆筒風パタパタ扉の製作



29 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

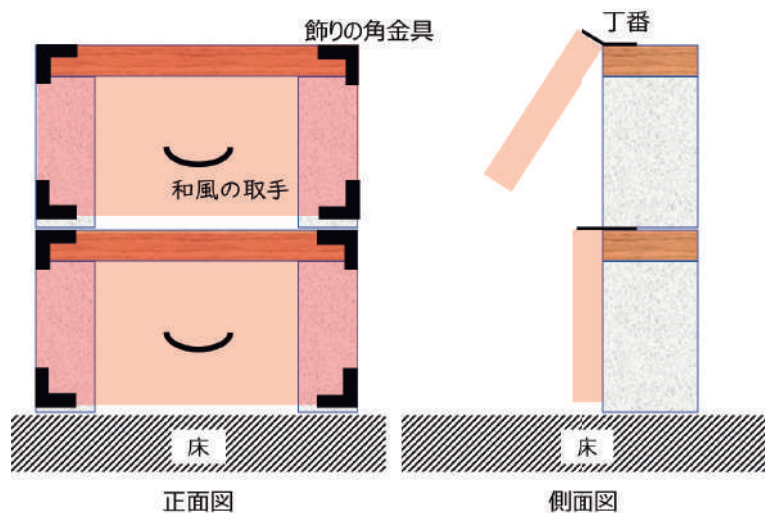
## 和筆筒風パタパタ扉

<目的>

コンクリートブックと棚板で作った簡易整理棚の収納を、すっきりかつ町屋のイメージに合うようにアレンジしたい。

<アイデア>

棚板にパタパタ扉を設置し、和筆筒(わだんす)風に仕上げる。



30 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

蛍光灯ペンダント製作



31 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

before



after (2021/9現在)

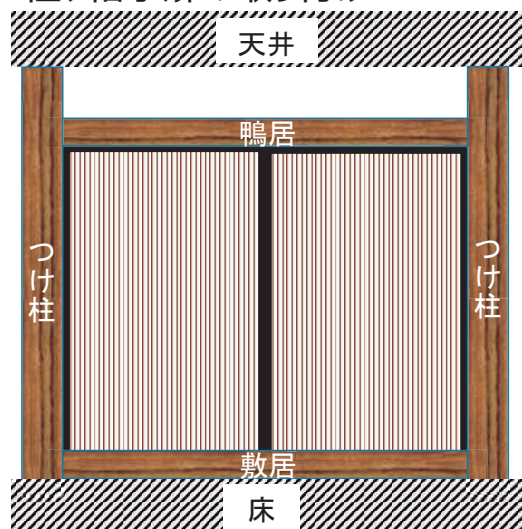


32 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021



## 厚生棟クラブ室(2F)の改装

10/12の活動  
柱、格子扉の取り付け



33 地域連携学生フォーラム in  
Osaka 2021

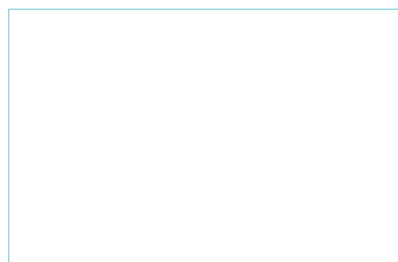




## 今後の予定

- ・学内厚生棟クラブ室(1F&2F)の改装
- ・大阪中央公会堂見学ツアー（11月）
- ・森のカフェ@寝屋川（仮称）企画を立案中

市の関係者から  
ログハウスの  
宿泊施設の活性化  
についての相談



(写真：上高地帝国ホテルのホームページより)

寝屋川市が所有する山の中のロッジ群を、**上高地帝国ホテル**をイメージしたスタイリッシュなカフェログハウスに改装する

35 地域連携学生フォーラム in Osaka 2021 “森のカフェ@寝屋川（仮称）企画” を計画！

## 森のカフェ@寝屋川（仮称）企画

- 1年目：ロッジ(小)6棟の外壁塗装
- 2年目：週末マルシェ企画
- 3～4年目：ロッジ(大)1棟をカフェレストランに改装  
カフェオーナーを募集



5年目

森のカフェ運営開始！！



# カフェラボプロジェクトを通じて

**地域との  
繋がり・貢献**

**カフェラボ  
プロジェクト**

**ものづくりの  
知識・技術  
創造力  
(デザインセンス)**

**協調性  
指導力  
チームで動く力**

**改装案概要  
(海治いのオープンカフェのイメージ)**

- 船倉とロブを使った目隠し
- 道をイメージさせる小スペースの設置
- 道をイメージさせる小スペースの設置
- マツリ物の設置
- 小スペースの設置
- 椅子のデザイン変更

**改装案のイメージ**

ヨーロッパの観光地で見られるような**河津住居**を改装した**パルクの一室**を彷彿させる快適空間を目指す。

**<改装のポイント>**

- 白い壁
- アークの天井
- アークと天井の隙間に照明を設ける
- 温かみのあるレトロな照明（間接照明）
- 白い椅子

**改装案のイメージ (イオリア・マカース)**

イオリア・マカースは、ヨーロッパの観光地で見られるような河津住居を改装したパルクの一室を彷彿させる快適空間を目指す。

「創る」楽しみ、バトンを繋ぐ

37 地域連携学生フォーラム in Osaka 2021

カフェラボ

大阪電気通信大学

**ご清聴ありがとうございました**

<https://www.osakac.ac.jp/cafelabo/>

## ■大阪商業大学フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ

活動テーマ	子どもや高齢者の集い場・居場所づくり
活動場所	東大阪市
連携先	東大阪市社会福祉協議会ボランティア市民活動センター 枚岡西校区福祉委員会 縄手校区福祉委員会 稲葉第一自治会 大阪ガス北東部導管部地域コミュニティ室大阪ガスなど
活動主体	大阪商業大学フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ

### 1. 活動概要

大阪商業大学のフィールドワークゼミナールは、課題解決型学習を取り入れたゼミナールであり、学外の協力機関と連携しながら、2～4年生の3年間、プロジェクトを実施するゼミナールである。宍戸ゼミでは、2010年から東大阪市内の行政、NPO、地縁組織および民間企業と協力しながら、高齢者・児童・障がい者など社会的排除に遭遇しやすい人々に焦点をあて、少子高齢化社会における包摂型のまちづくりにかかわる研究と実践的活動を行っている。

これまでに高齢者の分野では買い物難民の支援活動、孤立予防のための集い場づくりの支援、介護予防教室の支援などを行ってきた。子ども分野では夏休み中の子どもの居場所づくり（サマースクール）、児童養護施設に生活する小学生への学習支援、子ども食堂の支援などを行ってきた。障がいの分野では、一般市民と障がい者が交流できるスポーツイベントの実施や料理教室の実施などを行ってきた。

今回、「地域連携学生フォーラム in 大阪」への参加を通じて、学生のプレゼンテーションの貴重な機会を得るとともに、他大学の先生方や地域の方からご助言をいただき、よりよい活動への糧にしたい。本学の学生が他大学の学生と交流することで、学生の成長の機会になればと期待している。また、本ゼミナールの新たな協力機関と繋がれることも期待している。

### 2. 年間計画（2020年度の場合で書いています）

2月	学外で活動するためのマナー研修
4月	前期ゼミの開始・自己紹介・グループワークの練習など
5～6月	パソコンスキルの基礎の修得・班分け・協力機関との打ち合わせ
7月	地域コミュニティや少子高齢化に関するテキストの分担報告
8～9月	夏休み中のフィールドワーク活動（子どもの居場所づくりなど）
10～12月	高齢者の集い場づくりの支援、介護予防教室での調査など
1月	1年間の振り返りと成果報告会での報告

### 3. 活動成果

コロナ禍前の2019年度の主な活動成果は、高齢者の分野では、稲葉地区において、高齢者の集い場づくりを支援し、1～2カ月に1度のペースで集い場を開催することができた。1回あたり30～50名程度の高齢者に参加いただき、学生が考えた企画を実施した。子どもの分野では、児童養護施設に生活する小学生約20名に対して、毎月の学習支援活動を行うとともに、社会体験ツアーの企画を実施した。また市内で2カ所の子ども食堂の支援を行った。夏休み中の子どもの居場所づくりでは、瓢箪山と枚岡西の2つの地域で合計5日間サマースクールを実施し、延べ400名程度の小学生が参加した。障がい者の分野では、大阪ガスの協力を得て、市民と障がい者が交流できる料理イベントを企画し、実施した。30名程度の市民の参加を得た。

2020年度以降は、コロナの感染拡大の影響を大きく受け、いくつかの企画が中止に追い込まれている。高齢者分野の介護予防教室を少人数で実施したり、子ども分野においてオンラインで実施したりするなどして、ゼミナールの運営を続けている。

### 4. 地域からの評価

子どもの居場所づくりでは、参加した小学生にアンケート形式で満足度などを尋ねているが、8～9割の小学生から「楽しかった」、「満足であった」、「もっと回数を増やしてほしい」などの回答を得ている。地域の人々からは、自治会だけでは小学生の参加がなかなか見込めなかったが、学生のアイデアを入れることで、地域行事の活性化に繋がっていると評価を受けている。

高齢者の集い場でも同様で、学生のアイデアを企画の中身に入れ込むことで、内容のマンネリ化や参加者数の減少を防ぐとともに、世代間の会話が高齢者のよい刺激になっていると評価を受けている。

### 5. 参考WEBサイト

<https://ouc.daishodai.ac.jp/faculty/fieldworksemi/shishido/>

### 6. 活動メンバー

2年生25名、3年生25名

### 7. 担当教員

大阪商業大学 公共学部 教授 宍戸邦章

### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	大阪商業大学	
所属先・職名	公共学部 教授	
氏 名	宍戸 邦章	
連絡先	電 話	090-3895-9418
	メー ル	kuniakis@daishodai.ac.jp



## 9. 活動の様子



高齢者の集い場企画



子どもの居場所づくり



料理教室の企画

# 大阪商業大学フィールドワークゼミナールの概要

大阪商業大学のフィールドワークゼミナールは、課題解決型学習を取り入れたゼミナールであり、一般的にPBL (Project Based Learning) と呼ばれるものを本学独自にアレンジした取組である。グローバル化した現代社会のなかで、大学生の思考力や判断力を養成する実践的な教育がとりわけ産業界から求められている現在において、こうした課題解決型学習は効果的な教育手法のひとつと考えられている(図1)。

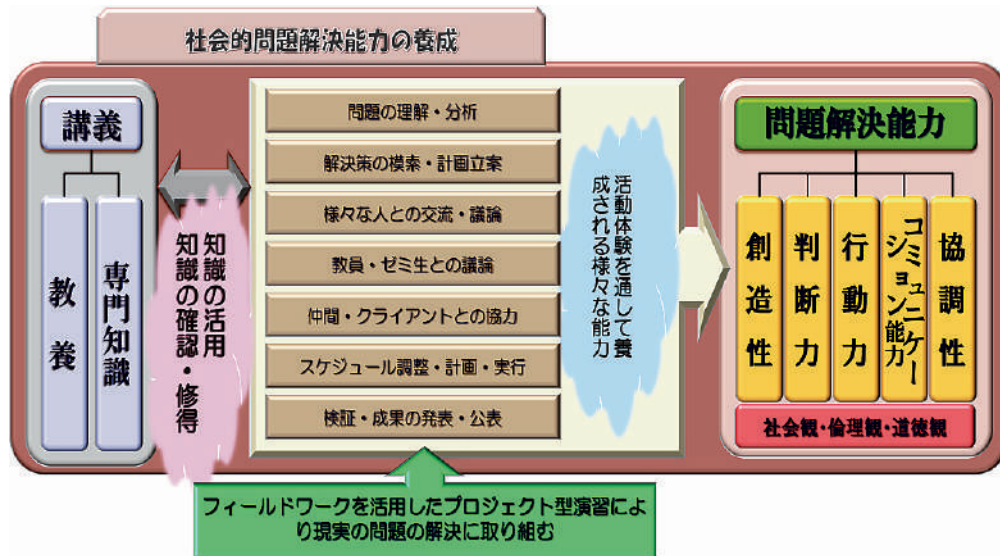


図1 フィールドワークゼミナールの目的と教育的効果

本学におけるフィールドワークゼミナールの教育目標は、「社会的問題解決能力の養成」である。本学では、建学の理念として「世に役立つ人物の養成」を掲げている。フィールドワークゼミナールは、学生が現実社会において社会的問題と対峙することで、こうした建学の理念が具現化されることを期待している。教室で学んだ理論を現実の社会で実践する「理論と実践の融合」を目指しながら、以下のサイクルにしたがって進められる。

- ①社会が抱える様々な問題（社会的問題）を学生が自らの力で発見（あるいは認識）する。
- ②教室で学んだ理論や知識を活かしながら、自らが発見した問題の解決策を考え出す。
- ③実際の社会（フィールド）において、その解決策を実行する。
- ④実行した解決策の事後評価をおこない、問題解決に有効であったかどうかを確認する。
- ⑤評価・確認の結果を踏まえて、解決策の更なる改善をはかり、その過程において新たな問題発見につなげていく。

フィールドワークゼミナールは、平成17年ごろから一部教員が演習科目（ゼミ）のなかで地域の団体と協力して、商店街の活性化など地域の抱える問題の解決に取り組むという活動を開始したことに端を発している。こうした取組が徐々に成果を上げ、発展してきたことを受けて、平成20年には、文部科学省による「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」に採択され、カリキュラムに組み込まれた全学的な取組として推進することとなった。令和3年度では、9つのフィールドワークゼミが開講され、2～4年次において、450名を超える学生が履修している。各ゼミナールの演習テーマおよび各ゼミナールが取り組んできたプロジェクトは、表1のとおりである。

表1 令和2年度 フィールドワークゼミ一覧

学部	学科	担当教員名	演習テーマ	クライアント（連携協力団体）名
経済	経済	豊山 宗洋	若者の目線で高齢社会の就業を考えるー学外調査にもとづいた提言ー	公益社団法人 東大阪市シルバー人材センター
				てづくり工場組合 株式会社 MACHICOCO 株式会社フセラシ レッキス工業株式会社 銭湯つきゲストハウス木雲 株式会社 木幡計器製作所
総合経営	経営	池田 潔	フィールドワークによる 地域中小企業と中小企業による まちづくりの研究	てづくり工場組合 株式会社 MACHICOCO 株式会社フセラシ レッキス工業株式会社 銭湯つきゲストハウス木雲 株式会社 木幡計器製作所
				布施公共職業安定所
	商	加藤 司	マーケティング思考による フィールドワークゼミナールの実践	小阪わいわい協議会
				奈良県葛城市 株式会社 総合計画機構 一般社団法人 関西観光人材育成協会
公共学部	公共	桑島 紳二	アートによる地域活性化 ーアートイベントの実践を通じて 「公共」のあり方を考えるー	西宮市文化振興課
				社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
		原田 禎夫	フィールドワークによる 河川環境保全の研究	NPO 法人 ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク 保津川遊船企業組合 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク 保津川漁業協同組合
				株式会社東大阪スタジアム 大阪府スポーツウェルネス吹矢協会 特定非営利活動法人 神戸アスリートタウンクラブ
		東山 明子	フィールドワークによる スポーツ支援の在り方を探る	株式会社東大阪スタジアム 大阪府スポーツウェルネス吹矢協会 特定非営利活動法人 神戸アスリートタウンクラブ

## 地域連携学生フォーラム in Osaka 2021

### 子どもや高齢者の集い場・居場所づくり



**大阪商業大学**  
Osaka University of Commerce

宍戸邦章ゼミナール



那木	悠哉	経済学部・4年
松山	優菜	経営学部・3年
石橋	清佳	経営学部・3年
清水	祐真	経営学部・2年
荻野	衣世	経営学部・2年



## 報告の構成

1. 大阪商業大学のフィールドワークゼミナール
2. 宍戸ゼミのテーマ
3. 宍戸ゼミの過去の活動例
4. コロナ禍前の2019年度の活動紹介
5. 地域連携学生フォーラムへの参加動機
6. 地域でつながりをつくる必要性の背景
7. コロナ禍の2021年度の活動紹介
8. 今後の活動展開について





## 大阪商業大学のフィールドワークゼミナール



## 宍戸ゼミのテーマ 少子高齢化と地域福祉

- ▶ 少子高齢化を背景とした社会的な問題に焦点をあて、多様な世代が参加できるまちにかかわる企画を立案し、実践する。
- ▶ 2010年度から宍戸ゼミは一般ゼミからフィールドワーク型のゼミに参加。主に大学が位置する東大阪市をフィールドに活動している。
- ▶ これまでに高齢者、児童、障がい者、子育て中の母親などを対象として、研究や実践的活動を行ってきた。
- ▶ 宍戸ゼミを履修する学生は、2～4年生まで75名。

## 穴戸ゼミの過去の活動例

### 高齢者分野

- ✓ 買い物弱者支援（ボランティア団体フレンドやイオン東大阪店と協力して）
- ✓ 高齢者の集い場づくり（稲葉地区の自治会と協力して）
- ✓ 介護予防教室での社会調査+体力づくり（地域包括支援センターなどと協力して）

### 障がい者分野

- ✓ 一般市民と障がい者が交流できる場づくり（東大阪市社会福祉協議会と協力して）
- ✓ 障がい者施設の夏祭りの支援（社会福祉法人若草会と協力して）
- ✓ 障がい者の運動会の支援（東大阪市手をつなぐ育成会と協力して）

### 児童分野

- ✓ 児童養護施設に暮らす小学生への学習支援および社会体験ツアー（児童養護施設と協力して）
- ✓ 夏休み中の子どもの居場所づくり（五条老人センターおよび縄手上四条や枚岡西の校区福祉委員会、大阪ガスと協力して）
- ✓ 子ども食堂の支援（東花園や南鴻池にある子ども食堂と協力して）

### その他

- ✓ 料理教室を通じた住民の交流会（大阪ガスと協力して）
- ✓ 防災教室の支援（大阪ガスや東大阪市危機管理室と協力して）
- ✓ ボランティア団体やボランティアの実態調査（東大阪市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターからの依頼で）

5

## コロナ禍前の2019年度の活動

「子どもの貧困」班



- A 児童養護施設での学習支援
- B 「子ども食堂」の活性化

「子どもの居場所」班



- C 瓢箪山サマースクール
- D 枚岡西サマースクール

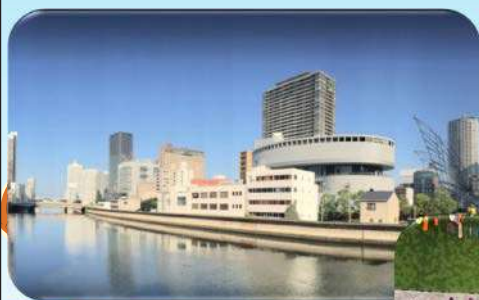
「つながりづくり」班



- E 高齢者の集い場づくり
- F 料理を通じた世代間交流

6

# 「子どもの貧困」班の活動



- ✓児童虐待の増加などにより、全国の約600の施設で、27000人の子どもが児童養護施設で生活
- ✓施設に生活する子どもの学力は低い傾向にあり、大学進学率は一般家庭の1/3程度
- ✓昨年度は施設内での学習支援活動や大阪市立科学館を利用した社会体験ツアーを企画

**秋の社会体験ツアー**  
～守屋に体験しよう～

**注意事項**

1. 集合時間、場所にお気を付けください。
2. 集合場所にお忘れ物がないようにお気を付けください。
3. 集合場所にお忘れ物がないようにお気を付けください。
4. 集合場所にお忘れ物がないようにお気を付けください。

※参加費：学費無料の場は別途お申し込みください。

※集合場所：大阪市立科学館（大阪市立科学館）

※集合時間：13時30分

※集合場所：大阪市立科学館（大阪市立科学館）

※集合時間：13時30分

※集合場所：大阪市立科学館（大阪市立科学館）

※集合時間：13時30分

子育て情報発信 **ぶらっとホーム**  
**子ども食堂** **ぶらっと亭**

**5月19日(日)**  
**11時半～14時**

こども (中学生まで) 200円  
おとな 300円

メニューは、お魚定食!!  
野菜たっぷりの味噌汁 など

アレルギーマスクには対応していませんが、万が一の為、連絡先はお聞かせ下さい。  
納品の量にご用意してお持ち帰り出来ます。

※夜ご飯は、8月26日(日)の開催を予定しています!

**場所：唐津邸**  
東大阪市南鴻池 1-2-39  
成和小学校 西門近く

お問い合わせ先  
子育て情報発信「ぶらっとホーム」  
090-1134-3233 (高田)  
090-3653-2815 (佐藤)

<https://www.facebook.com/prstthetac.jibohashin>



- ✓ 子ども食堂は、低額または無料で子どもたちに食事を提供する地域住民を主体とする活動
- ✓ また、市内2箇所の「子ども食堂」と協力して、子どもにとっての居心地のよい空間を検討



# 「子どもの居場所」班



- ✓ 夏休み中の子どもの居場所づくりとして、昨年度は2地域で5日間サマースクールを開催。
- ✓ 1日に100人を超える小学生が参加し、公民館に入りきらないことも。

**第1回 サマースクール**  
秋岡西校区  
宝福自治東会館で大学生と一緒に勉強しよう！  
※宝福は他地域のサマースクールの様子

**参加費無料**  
午前 10時～12時  
昼休み 12時～13時 (弁当不要)  
午後 13時～15時

対象者：小学生全学年  
場 所：宝福自治東会館  
(宝福地区公民館の隣にすの)  
持ち物：夏休みの宿題・工作  
ドリル・お茶など

**お昼カレーあるよ〜**

**8月8日(木)**  
午前：勉強・学習パスル  
午後：防災ゲーム

**8月23日(金)**  
午前：すし  
午後：お祭り

すし楽しかった、24.8  
とても楽しかった、67.3

宝福自治東会館



- ✓ 科学実験のスライムづくりや学生が教師をする授業などを組み込み、小学生の参加を増やす



## 「つながりづくり」班

- ✓ 自治会と協力しながら、稲葉地域や花園地域で高齢者の孤立予防の活動(右)
- ✓ 大阪ガスさんとコラボしながら料理を通じたつながりづくり(下)



11

## 地域連携学生フォーラムの参加動機

- ✓ 2020年4月からのコロナ禍の影響を受けて、A~Fまですべての企画の実施が困難に。
- ✓ 緊急事態宣言中は、ゼミもオンラインとなり、学内に学生が集まることも制限され、文献調査や、Zoom等でミーティングをする状態が続いた。
- ✓ 2021年度は、コロナ禍での活動のガイドラインを定め、最小限度の活動を再開。コロナ禍で試した児童と高齢者の分野での取り組みを紹介する。
- ✓ 他大学の先進的な学生の取り組みを学び、今後のゼミナールの活動に役立てていきたい。
- ✓ 学外の団体と新しいつながりができることも期待している。

12

## 地域でつながりをつくる必要性の背景

- ① 未婚化（家族関係の縮小と孤立）
- ② 非正規雇用の増加（企業コミュニティとの結びつきの弱さ）
- ③ 日本における子どもの相対貧困率の高さ（貧困の世代間連鎖）
- ④ 日本の高齢者の社会的孤立の高さ
- ⑤ 日本の近隣関係の疎遠化
- ⑥ 自治会・町内会の支え手の高齢化 など

### ■ 1970年以降の低成長期に生じた「新たな貧困」

- 従来の「日本型福祉社会」といわれる「家族」や「企業」に頼れない人々の社会的な孤立リスク、および基礎的な生活ニーズを満たせないリスクの高まり
- 一人ひとりが社会のメンバーとして「居場所と出番」を持って社会に参加し、それぞれの持つ潜在的な能力をできる限り発揮できる環境整備が不可欠（社会保障審議会,2011,「社会的包摂を進めるための基本的考え方」）

### ■ コロナ禍の打撃

- 高齢者では「閉じこもり」と「フレイル」の増加、子どもでは地域行事体験の消滅

13

## 子どもの居場所づくり（コロナ禍前）

- 公民館で夏休み中の5日間、2つの小学校区の公民館を利用して実施。
- 広報は自治会の回覧版を利用（A4判用紙1枚）
- 社会福祉協議会を経由して、校区福祉委員会とつないでいただいた。「スーパーの裏でゲーム機をもってたむろしている小学生に何かしてほしい」と言われたのがきっかけ。
- 今年度で8年目。1年目は7名程度の小学生しか来てくれなかったが、2019年度では1日に100人を超える小学生が来てくれる行事に。

### 午前2時間の勉強

- ✓ 夏休みの宿題をみる
- ✓ 学生が作成した算数のテストを実施
- ✓ 学生の15分間のプチ授業（ノートPCとプロジェクタを利用）

### 午後2時間のレクリエーション

- ✓ 学生企画：科学実験としてスライムづくりなど
- ✓ 自治会の企画：竹で水鉄砲づくり
- ✓ 民間企業企画：大阪ガスさんの防災教室など
- ✓ 社協企画：防災カルタや高齢者体験など

14

## 子どもの居場所づくり（コロナ禍）



## オンデマンド型地域イベントの実施

- クイズ班と絵手紙班と防災班に分かれて、動画を作成
- 小学生がなじみやすいように、アニメのキャラが案内する仕様に

動画作成で使用した無料（または体験版）ソフト

- ✓ DaVinci Resolve
- ✓ Recotte Studio
- ✓ CeVIO CS7

- 動画をYouTubeに限定公開し、そのURLをQRコード化して、回覧板のチラシに埋め込む
  - 動画を視聴して取り組んでくれた小学生に、公民館で参加賞や景品を渡す
- (当日、ここに動画を組み込む予定です)

## DaVinci Resolveの編集画面



## 参加賞・景品の受け渡し当日の様子



18





大阪ガスのポリエチレン管で万華鏡を作ってみよう！

1 2 3 4 5 6 7 8

ポイント  
鏡筒を大きく  
切ると、  
のぞき穴の  
大きさが  
異なる！

作り方の動画はこちら

QRコード

QRコード

完成!

# 高齢者の集い場づくり

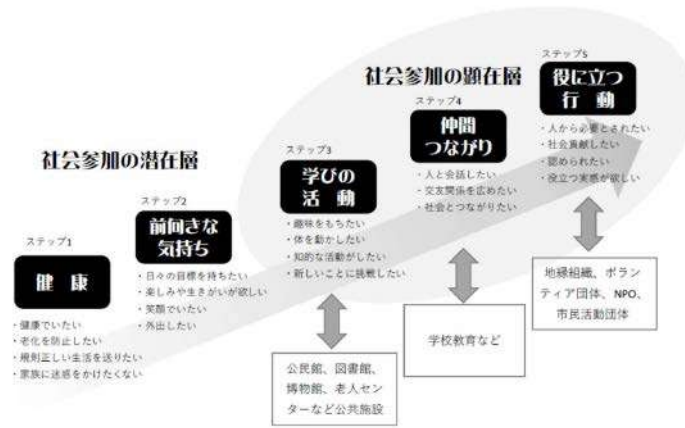


図8 社会参加のステップ  
齊藤 (2018:130) を筆者が若干加工

# 高齢者の介護予防教室での測定の様子



＜歩行能力レベル チェック表＞  
TUG : Time Up and Go Test (秒)

年齢	5~8 60歳代	8~10 70歳前半	10~11 70歳後半	11~13 ロコモ	13~15 転倒予防小	15~20 転倒予防中	20~30 転倒予防大
60~51 50歳代	レベルS 元気高齢者	レベルA 手はたぎらぬ要介護	レベルB	レベルC	レベルD	レベルE	転倒予防大
50~41 60歳代							
40~31 70歳前半							
30~21 70歳後半							
20~16 60歳代	少し衰え 危険度小						
15~8 ロコモ	ロコモタイプシンドローム (運動機能不安定)						
5~0 転倒予防							転倒要注意!

※閉鎖片脚立位保持時間は左右どちらか短い方の時間(秒)を長所してください。  
※TUGは最大歩行速度時間を使用してください。  
参考: 日本認知症学会 認知症予防実践ガイドライン

21

## 健康チェックシート(簡易版)

このチェックシートは学術的にシニアの方々の健康や体力を測定するものです。データは統計的に処理され、回答者様本人以外には誰が回答したかわからないように処理されますので、安心してご回答をお願いいたします。

あてはまる番号に○をつけてお答えください。



氏名	性別	1 男性 2 女性	生年月日	1 次正 2 昭和	年 月
〒					
項目1 お身体の状態	1 自立 2 二次予防事業対象 3 要支援1 4 要支援2 5 要介護1~5	項目2 集い場や地域のサークルに参加する頻度	1 月に2~3回以上 2 月に1回程度 3 2~3ヶ月に1回程度 4 半年に1回程度 5 年に1回程度 6 参加していない		

### ■介護予防基本チェックリスト

※は後期高齢者質問票との重複

Q01	バスや電車などで一人で外出していますか。	1 はい 2 いいえ
Q02	日用品の買い物をしていますか。	1 はい 2 いいえ
Q03	銀行金出し入れをしていますか。	1 はい 2 いいえ
Q04	友人の集を誘われていますか。	1 はい 2 いいえ
Q05	家族や友人の相談にのっていますか。	1 はい 2 いいえ

## いきいきチェック結果表

いきいきチェックの結果表です。この結果表を、今後の生活改善に役立てていきましょう。



項目	1回目 2021/10	2回目 2022/4	3回目 2022/10	4回目 2023/4
日常生活の動作	5 A			
運動面の機能	3 B			
栄養状態 (BMI 19.6)	2 A			
口腔機能	3 A			
非閉じこもり	1 B			
認知機能	3 A			
基本リスト総合得点 ※10点より高ければ二次予防事業の対象	17/20			
非抑うつ気分	5 A			
人とのつながり	5 A			

A: 良好 B: 改善の必要あり C: 要注意



### ■体力測定の測定結果

閉鎖片脚立ち	43.2秒	B			
TUG (Time Up and Go Test)	10.8秒				

S: 元気シニア A: 元気シニア B: 少し衰え気味 C: 運動機能不安定 D: 転倒の可能性大 E 転倒要注意!

22

## 課題と今後の活動の展望

### 子どもの居場所づくり

- 対面開催で子どもの参加者数が増えるポイント
- コロナ禍のオンデマンド型の地域イベントはどこまで有効？

### 高齢者の集い場

- 茶話会型と介護予防型の参加者層の違い
- 集い場の介護予防効果を検証する際の考慮点
- 孤立しがちな高齢男性の巻き込み方



23



ご清聴いただき、  
ありがとうございました。

宍戸ゼミとつながってくださる方は、  
下記までご連絡ください。  
宍戸ゼミへのアドバイスもよろしくお願いします。

指導教員：宍戸邦章  
✉ kuniakis@daishodai.ac.jp



24



## ■追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ

活動テーマ	見山の郷商品開発プロジェクト
活動場所	見山の郷 周辺 (〒568-0088 大阪府茨木市長谷1131)
連携先	農事組合法人 見山の郷 交流施設組合
活動主体	追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ

### 1. 活動概要

2013年に開始した見山の郷商品開発プロジェクト（以下、MSPに省略）では、大阪府茨木市の農事組合法人 見山の郷 交流施設組合（以下、「見山の郷」に省略）と産学官連携をおこなっている。これにより、本学の学生はPBL（課題解決型学習）の場を活用し「見山の郷」の課題である「従業員と顧客の高齢化」と「競合直売所の出現」の解決に取り組んでいる。

例年では商品開発やイベント運営を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりそのような活動が困難である。そこで、2020年度から動画配信サイトであるYouTubeにアカウント「追家（おうち）から見山チャンネル」を新たに開設し、連携先である「見山の郷」ならびに茨木市北部地域の魅力を発信する動画を配信している。

2021年度の活動内容としては、YouTubeへの配信を主としている。加えて、先んず、MSPの新規参加メンバー向けの「見山の郷」オンライン見学会・「6次産業と産学官連携」に関するセミナーを実施した。

### 2. 年間計画

2021年6月～2022年1月 YouTube「追家から見山チャンネル」の企画、撮影、編集の活動を実施  
撮影内容と投稿時期については、「見山の郷」にて販売される商品の野菜の収穫、販売時期に合わせて決定している。

#### 2021年

- 6月 蛍・紫陽花の動画撮影と配信
- 7月 見山あられ ASMRの動画撮影と配信  
zoomクイズ大会の動画撮影と配信  
ジェラート味あての動画撮影と配信  
BBQキャンプ・スウェーデントーチの動画撮影と配信
- 8月 見山の郷の米粉を使ったバイクドチーズケーキの動画撮影と配信  
野菜スタンプ（見山の郷の野菜で作ったスタンプを巾着袋に押す企画）の動画撮影と配信  
MSP新メンバー向けオンライン見学会を実施（8月2日）  
「6次産業と産学官連携」に関するセミナーを実施（8月2日）
- 9月 葡萄紹介（栽培・収穫風景や食りポ）の動画撮影と配信  
見山の郷の商品をおかずに新米を食べる企画の動画撮影と配信
- 10月 SNS映え対決inバラ園の動画撮影と配信  
竜王山 ハイキングコーデ・コース紹介の動画撮影と配信  
ルーレットで出た野菜を使った男気鍋の動画撮影と配信
- 11月 勝尾寺と見山の郷周辺の紅葉の動画撮影と配信  
見山の郷周辺 vlog対決の動画撮影と配信
- 12月 クリスマスツリーやケーキ作成の動画撮影と配信

#### 2022年

- 1月 見山の郷の野菜を使ったバレンタインお菓子作りの動画撮影と配信  
いちごプチツアー（いちごジェラートの食りポ後、提携先の“いちご農園ミライバナ”でのいちごの栽培風景）の動画撮影と配信
- 通年 大阪府北部の滑り台を滑り、一つの動画に繋げる滑り台企画の動画撮影と配信



### 3. 活動成果

2014年 「おうてもん赤しそ塩あんぱん」を見山の郷と共同開発し、追手門学院大学オープンキャンパス等で試食配布、また見山の郷で販売。

2015年 「茨木市 産学連携スタートアップ支援事業」を獲得し、産学官連携にて見山の郷の産品を活用した6次産業化商品「見山ジュレ」を開発。  
『朝日ファミリー』（8/28）、『日経新聞』（10/8）にMSPの活動が掲載。  
MSP第3期メンバーが、「地域連携学生フォーラム2015 in 大阪」に参加。

2016年 『サンケイリビング』（10/29）にMSPの活動と「おうてもん赤しそ塩あんぱん」が掲載。

2017年 『日本農業新聞』（9/4）ならびに大阪府のHP「おおさか農空間づくりプラットフォーム」にMSPの開発商品が紹介

2019年 「見山をにぎり」を開発し、MBS「おうてもんパビオン」フードゾーンにて試食配布。  
同商品を追手門学院大学オープンキャンパスにて販売。

2020年 YouTube「追家から見山チャンネル」を開始。

2021年 年間計画の内容に沿って、適宜動画を配信している。

### 4. 地域からの評価

--

### 5. 参考WEBサイト

Facebook「追手門学院大学 村上喜郁ゼミ」  
<https://www.facebook.com/467437760003413>

YouTube「追家から見山チャンネル」  
<https://www.youtube.com/channel/UCH2JTdqK07ARUVDISszebZQ>

### 6. 活動メンバー

経営学部3年  
北尾妃海果、近藤里美花、西谷海生、難波香奈、永田梨帆、内藤詩乃、白石陽葵、桑名優希花、松本郎、栗山聖希、田中美鈴、庄司和加、吉田蒼、入江一慶、泉晴人、松原颯希、池田大

経営学部2年  
河野雄太、竹原茉央

### 7. 担当教員

経営学部 教授 村上喜郁

### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	追手門学院大学
所属先・職名	経営学部 経営学科 3年
氏 名	北尾妃海果
連絡先	電 話 080-6122-5916
	メー ル kitao.himika@gmail.com

## 9. 活動の様子



おうち  
追家から見山チャンネルのYouTube ページです。

## 見山の郷商品開発プロジェクト

「見山の郷交流施設組合」と協力して「『食』を通じた茨木エリアの活性化」を目指すプロジェクトです。農業（1次産業）に携わる人が農産物を活用した商品を製造し（2次産業）、販売・サービス（3次産業）も行う「6次産業」の取り組みなどを実践的に学びます。



※2020年度は新型コロナウイルスの感染に配慮して、インターネット動画を通じて、茨木北部地域の魅力発信を行っています。

当大学の大学案内にも活動が紹介されました。

# 見山の郷 商品開発プロジェクト



2021.10.17 村上喜郁ゼミ

de愛・ほっこり

見山の郷

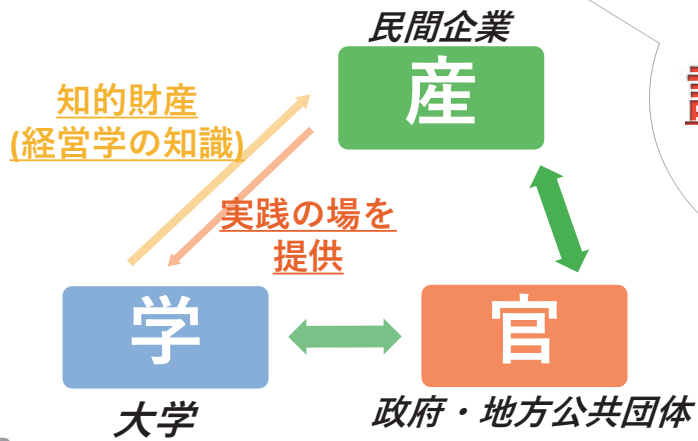


追手門学院大学

## 目次

産学官連携	3	ブランド戦略	15
見山の郷 の概要	4	コロナに対応する活動	16
六次産業	5	「投稿動画」アプリデータ	17
見山の郷 の目的	6	ターゲティング	18
見山の郷 の課題	7~10	動画投稿の工夫	19,20
MSPの活動のはじまり	11	今後の課題	22
例年のMSPの活動内容	12	まとめ	23
コラボ商品	13,14	プロジェクトメンバー	24

## 産学官連携



【PBL】  
課題解決型学習  
の実現

3

 追手門学院大学

## 「見山の郷」の概要



### ▶総合名称

農事組合法人 見山の郷交流施設組合

### ▶建設名称

“de愛・ほっこり”「見山の郷」

### ▶所在地

〒568-0088 大阪府茨木市長谷1131



4

 追手門学院大学



# 六次産業



5

 追手門学院大学

# 見山の郷の目的

- ①都市と農村の交流の場
- ②新鮮な商品 野菜・加工品
- ③安心・安全・地産地消

6

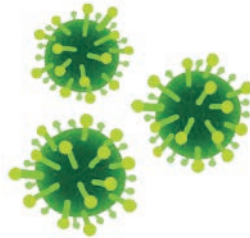
 追手門学院大学

## 見山の郷 の課題

①競合

②高齢化

③コロナ禍での経営



7

 追手門学院大学

## ①競合

▶ 商圈内に新しい店舗の出現

▶ 差別化



8

 追手門学院大学

## ②高齡化

- ▶担い手の育成
- ▶生産力/販売力の低下
- ▶常連客/従業員共に平均年齢60歳超



9

 追手門学院大学

## ③コロナ禍での経営

- ▶コロナ禍での集客
- ▶非接触型での宣伝



10

 追手門学院大学

## MSPの活動のはじまり

### 第1期（2013年度）

MSPは2013年7月に発足。当初からの商品開発は困難であったため、見山の郷の調査・研究を活動の中心とした。

### 第2期（2014年度）

第二期の活動は六次産業化を図るために、見山の郷の特産品を使用した製品開発を開始した。



11

 追手門学院大学

## 例年のMSPの活動内容

商品開発

イベント運営

見学会



写真：2021年8月 オンライン見学会の様子

12

 追手門学院大学



## コラボ商品

de愛・ほっこり  
見山の郷 × 追手門学院大学  
MI YAMA NO SATO



2014年

おうてもん  
赤しそ塩あんぱん

13



2015年

見山ジュレ

 追手門学院大学

de愛・ほっこり  
見山の郷 × 追手門学院大学  
MI YAMA NO SATO



2019年  
「おうてもんパビリオン」  
MSBちゃやまちプラザ  
フードゾーンにて試食配布

14



同商品を本学オープンキャンパスにて販売

 追手門学院大学

## ブランド戦略



15

見山ジュレ 赤しそとあまっこ 大阪府茨木市

2017年09月04日  
一村逸品



大阪府茨木市で直売所「de堂・ほっこり見山の郷」を運営する農事組合法人・見山の郷交流施設組合が販売するゼリー。特産の赤シソとミニトマト「甘っこ」を使った。赤シソの爽やかな香りやトマトの甘味が味わえる。柔らかい食感で、ストローで飲むこともできる。



見山ジュレ 赤しそとあまっこ

山間部にある見山地区では、昼夜の寒暖差を生かして赤シソの生産が盛ん。ゼリーは追手門

『日本農業新聞』掲載

(2017.09.04号)



『サンケイリビング』掲載

(2016.10.29号)

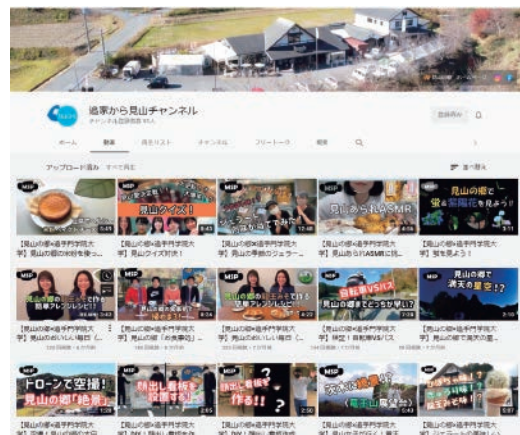
 追手門学院大学

## コロナに対応する活動

▶YouTubeチャンネル開設

「追家(おうち)から  
見山チャンネル」

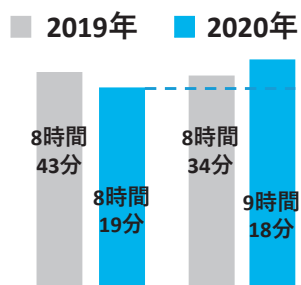
(2020.10.06開設)



16

 追手門学院大学

## 「投稿動画」アプリの1人あたりの 月間平均利用時間 推移



↑ 1 - 2 月平均と比べて**59分**増加

18-34歳(1,582万人) **2時間44分**増加

35-49歳(1,605万人) **20分**増加

50歳以上(2,095万人) **27分**増加

Source: ニールセン モバイルネットビュー アプリからの利用 ※18歳以上の男女  
※投稿動画アプリは利用者数上位3アプリ 「YouTube」 「TicTok」 「ニコニコ動画」

出典：新型コロナウイルスの影響で3～4月の投稿動画サービスの視聴時間が増加、  
若年層で2時間40分に - BCN + R (bcnretail.com)

17



## ターゲティング

## 各動画にターゲットを設定



～家族・カップル～  
見山の郷付近の名所



～20代女性～  
コロナ禍での  
おうち時間の増加

18





## 動画投稿の工夫



## トレンドに乗った企画



## シーズンに合わせた企画

19



## 応頂山 勝尾寺

〒562-0021 大阪府箕面市粟生間谷2914-1



## 若園公園 バラ園

〒567-0894 大阪府茨木市若園町23-1

20

出典：七転び八起き・大阪府箕面市の「勝尾寺」に行ってきました。(pinterest.jp),勝尾寺の紅葉のライトアップはすごく神秘的！開催時期駐車場アクセス(xsrv.jp),業務実績・公園緑地(kankyosekkei.co.jp)







チャンネル登録よろしくお願ひします！

21



## MSPの今後の課題



▶認知度向上による集客

▶ トレンドに乗った企画や  
差別化を図った動画を投稿

22



## まとめ



- MSPでは**産学連携**を行い、**PBL**を実践
- 「**追家(おうち)から見山チャンネル**」を開設し、**コロナウイルス感染症**に対応
- 動画配信サービス**YouTube**を利用し、**動画投稿**に取り組むことで**新たな年齢層の顧客を開発**

23



## プロジェクトメンバー

リーダー 北尾 妃海果      サブリーダー 近藤 里美花

メンバー

難波 香奈 白石 陽葵 田中 美鈴 庄司 和加 永田 梨帆 桑名 優希花

入江 一慶 西谷 海生 内藤 詩乃 栗山 聖希 吉田 蒼 松本 朗

松原 颯希 泉 晴人 池田 大 河野 雄太 竹原 茉央

24



## ■ 摂南大学ボランティア・スタッフズ

活動テーマ	コロナ禍における大学生の地域貢献活動
活動場所	寝屋川市・交野市
連携先	交野市教育委員会・寝屋川青年会議所
活動主体	摂南大学ボランティア・スタッフズ

### 1. 活動概要

摂南大学ボランティア・スタッフズは、青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促しながら自立した存在として育成するために、青少年（小学生・中学生・高校生）を対象にして、大人への準備となる人格の基礎を築き将来の夢や希望を抱いて自己の可能性を伸展させるとともに、自らの人生をどう設計していくかについて考えさせ実践させる活動を行っています。しかしながら、昨年と今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大阪府下では緊急事態宣言が何度も発出され、これに伴い大学はオンライン授業になり、課外活動も大きく制限されています。こういった状況下でも、感染防止対策をしっかりと行い大学生の地域貢献活動を行っています。内閣官房から受けた唾液式PCR検査を毎週1回（火曜日）行い、常に安心・安全を確認して、交野市いわふね忍者キャンプ、ねや川Smileフェスタ、オンライン音楽バンド演奏を実施しています。

### 2. 年間計画

老人介護施設向けオンライン音楽バンド演奏：5月下旬～現在進行中  
交野市いわふね忍者キャンプ：準備活動5月～8月初旬（本番8月8日）  
ねや川Smileフェスタ（寝屋川青年会議所主催）：準備活動7～9月下旬（本番9月26日）  
交野市教育委員会主催 アウトドア活動（山登り）：11月中旬  
内閣官房によるPCR検査センター：摂南大学の活動団体に対するPCR検査センターを毎週火曜日に開設（8月～10月末）

### 3. 活動成果

人が集まる機会に制限が加わる中、大学生生活も大きく変化したことで、社会問題を自分ごととして捉えるようになりました。さまざまな社会問題について「自分たちにできることは何か」という視点で考え、問題がたくさんある環境にはその分、行動を起こすチャンスも多いと考えられます。これこそが「ピンチこそ最大のチャンス」であると考え、どんな時も、どうすれば窮地を打開できるか、アンテナを張り、努力し続けることで道は開けていくのだと思います。ひとつの選択肢がダメだとわかったら、別の方法でのチャレンジをすればよいというチャンスに結び付けてきました。そうした活動から小さな成功体験を積み重ねていくうちに、コロナ禍の大学生生活も社会の誰かの役に立てるのだと気付き、さらに新しい行動をしてきました。不安定な社会だからこそ、状況に応じて柔軟に行動を変えていくことが大事だと感じています。

#### 4. 地域からの評価

交野市教育委員会：

子どもたちと年齢が近い、大学生による様々なサポートがあり、コロナ禍にあっても感染対策を講じながら、青少年育成活動が実施できており感謝している。

忍者キャンプ参加児童・アウトドア活動の保護者：

毎年実施している忍者キャンプやアウトドア活動は、子どもたちがとても楽しみにしている企画なので、今後とも継続して実施して欲しい。

寝屋川青年会議所：

大学生の若い力、創造力、行動力がこれからの地域づくりに役立てると思われる。

#### 5. 参考WEBサイト

<https://readyfor.jp/projects/neyagawasmilefesta>

#### 6. 活動メンバー

経済学部2年生 當捺希、伊藤圭太、大石真嘉、小山雄己、並河右京

農学部2年生 富岡まりあ

法学部2年生 宮田優希

理工学部2年生 谷川真

#### 7. 担当教員

外国語学部 浅野教授

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	摂南大学	
所属先・職名	経済学部・経済学科・2年生	
氏 名	小山雄己	
連絡先	電 話	080-4568-3120
	メー ル	milk.cocoa.0312@icloud.com



## 9. 活動の様子



交野市いわふね忍者キャンプ



オンライン音楽バンド演奏



VOLUNTEER  
STAFFS



SETSUDAI



## 学生の地域貢献活動

「ピンチこそ最大のチャンス」  
～コロナ禍を原動力に前進する～

発表者  
當搦希・伊藤圭汰・小山雄己  
谷川真・富岡まりあ

### 活動概要



オンライン音楽ライブ



交野市いわふね忍者キャンプ



ねや川smileフェスタ



PCR検査プロジェクト

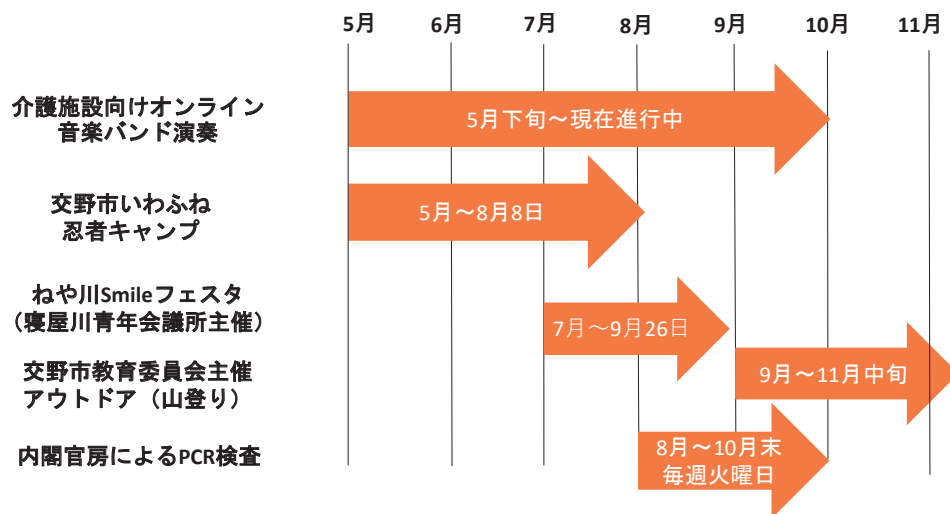
## ボランティア・スタッフズの活動内容



ボランティア・スタッフズの活動は  
大きく2種類の活動に分けることができる



## 年間スケジュール



# 交野市いわふね忍者キャンプ

星の里いわふねでの初めての忍者キャンプ

学生スタッフはゲームを通して小学生を対象に礼儀やマナーを伝授！



参加者の前に立ち子どもたちとゲームを楽しんでいる学生スタッフ



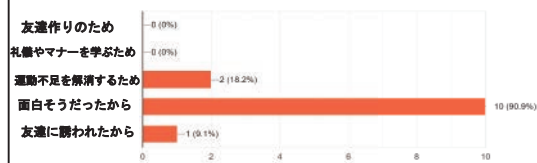
裏で活動を円滑に行えるように裏からサポートする学生スタッフ



### 参加児童の保護者の方からの意見（一部抜粋）

- ・子どもが帰ってきてからキャンプについて話しました。それを聞いて楽しかったということがとても伝わりました。
- ・これからも続けてほしいです。可能であれば宿泊を伴ったキャンプを開催してほしいです。
- ・感染対策も安心でした。夏休みどこにもいけてないので楽しめたようです。

Q.活動に参加された目的は何ですか



Q.来年度、このキャンプにお子様を参加させたいと思いますか？  
また、他の方におすすめしたいと思いますか？



## コロナ禍でも私たちの元気をとどけるための試行錯誤



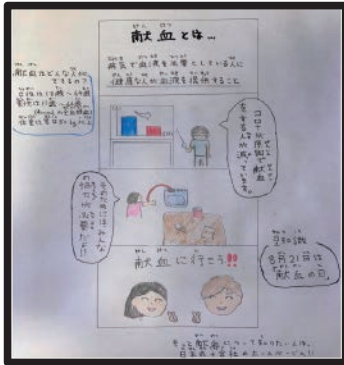
※ この写真は本活動ではありません

## ねや川Smileフェスタ

ねや川Smileフェスタとは  
コロナ禍で様々な催し物が中止され  
挑戦の場が少ない子どもたちのために  
活躍の機会を提供したい思いから始まった  
ニューノーマル野外イベントです

## 今活動で成長出来たと感じる点

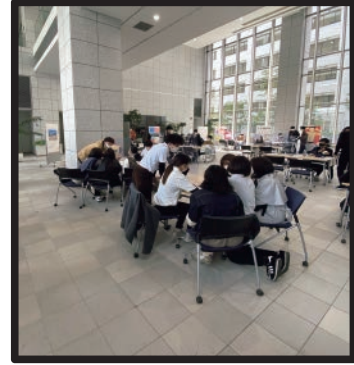
### 多角的な視点確保



### 資料作成能力



### 信頼関係構築



PCR検査プロジェクト



## 感染拡大の予兆の早期探知のための モニタリング検査

### 事業所・大学等の募集について

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室では、モニタリング検査に開催がいただける民間事業所、大学等（モニター）も募集しております。上記の本事業の趣旨・目的に御賛同いただき、モニターとなられることを希望する事業所等の方は、下記フォームより御登録いただきますようお願いいたします。

本モニターの募集に関しては、検査を受けることができる事業所等の方を対象とします。特に、密になりやすく、多くの人が入入りし接触する環境にある事業所や大学におかれては、積極的な検討をお願いいたします。

なお、高齢者施設の新築工事に対する検査については、既に厚生労働省より各都道府県に対してその徹底に係る要請がなされていることに鑑み、本モニタリング検査では、高齢者施設（委目団体の「高齢者施設の新築工事への検査の集中的実施計画」の対象となっているもの）は対象からは除くこととします。

御登録いただいた事業所等の方には、内容を内閣官房において確認の上御連絡させていただきます。御連絡については、本事業の管理団体からメールを送付させていただきます。また、御登録いただいた情報について、自治体及び本事業の管理会社と共有させていただきますことについて、あらかじめ御了承いただきますようお願いいたします。また、検査数に限りがあり、全てのご希望に添えられずお断りさせていただきます。いただいたご意見を参考にさせていただきます。

[登録はこちら](#)

モニタリング検査に関するお問合せ先  
TEL : 0570-071-907  
E-Mail : [info@pcr-monitoring.jp](mailto:info@pcr-monitoring.jp)  
営業時間 9:00~17:00 (土日祝含む)



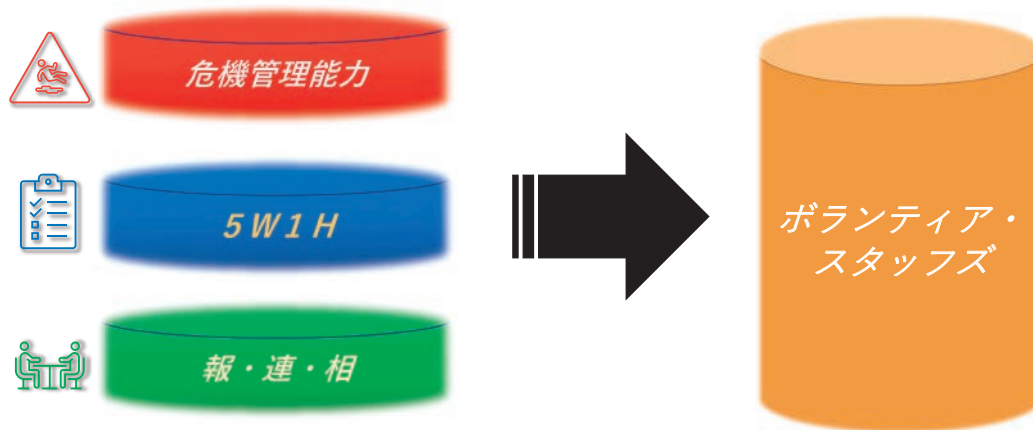
## 独自のPCR検査センター

- ・週に一度検査を実施することで、安心安全を確認することができる
- ・一週間の自分の行動が正しかったかどうか、今後どう行動すれば良いかの把握に繋がる





## 活動を通して得られる能力



ピンチこそ**最大**のチャンス！！



## ■大阪大学学生有志プロジェクト

活動テーマ	住民と大学院生の協働によるアイデア創出の場づくりと実現に向けた実践
活動場所	島根県隠岐郡隠岐の島町
連携先	隠岐の島町住民有志、任意団体「隠岐塾」ほか
活動主体	大阪大学学生有志プロジェクト

### 1. 活動概要

本プロジェクトの目的は、離島である島根県隠岐の島町において、地域内外の人々が手を取り合いながら、持続的に地域の課題を解決し、新しいことや面白いアイデアを生み出していくという理想的な状態を目指すことである（島田ほか2020）。そのための「場づくり」を行うにあたって、まずは地域住民と「よそ者」である大学院生、その他の多様なステークホルダーが協働することで、各人のやりがいと意義を見つけ、発展させていく場を醸成することを目標とする。具体的には、上述した人々が主体的に地域の課題について建設的な議論を繰り返す機会としてのワークショップを開催しながら、そこで出されたアイデアをさらに膨らませて実行に移すというプロセスを確立させていく。これまでの事例としては、地域住民有志で立ち上げた「隠岐塾」があり、今後も様々な取り組みを展開する予定である。

#### 【参考文献】

島田広之・田尾俊輔・小島晋一郎・中野将・岩泉達也（2020）「住民と大学院生の協働によるまちづくり活動の展開：一島根県隠岐の島町での活動報告一」『Co\*Design』 8：49-74.

### 2. 年間計画

#### 【2019年（1年目）】

- 2019/06 本プロジェクトの開始
- 2019/09 島根県立隠岐高等学校にて、高校生から大学院生への質問会の開催
- 2019/11 このまちの明日を語る workshop vol.0の開催
- 2019/12 このまちの明日を語る workshop vol.1の開催  
島根県立隠岐高等学校と大阪大学の合同研究発表会・座談会の開催  
隠岐塾（第1回）の開催

#### 【2020年（2年目）】

- 2020/02 このまちの明日を語る workshop vol.2の開催  
隠岐塾（第2回）の開催
- 2020/06 隠岐塾（第3回）の開催
- 2020/08 隠岐塾（第4回）の開催
- 2020/10 火おこしバトル（隠岐塾主催）の開催  
オンラインワークショップの試験的導入  
隠岐塾（第5回）の開催
- 2020/11 現地での打ち合わせ
- 2020/12 隠岐塾（第6回）の開催

#### 【2021年（3年目）】

- 2021/01 隠岐塾（第7回）の開催
- 2021/02 隠岐塾（第8回）の開催
- 2021/07 隠岐塾（第9回）の開催

※以下、2021年内の予定

- ・隠岐の島町内の中学校における学習活動支援
- ・大学院生のキャリアに資することも狙った、複数プロジェクトの開始

### 3. 活動成果

多様なステークホルダーが交わる場として、まずは隠岐の島町の高校生と大阪大学の大学院生が交流する場を試験的に設けた。そこでは勉強方法について相談するだけでなく、高校生にとって近い将来である大学生活や社会生活のイメージを喚起することも機能として働いており、高校生と大学院生が互いに影響を与え得ることがわかった。このイベントをもとに、今度は対象を地域住民に広げたワークショップを複数回開催した。そして、ワークショップで出された塾のアイデアが実現し、「隠岐塾」として展開することになった（島田ほか 2020, 山陰中央新報 2020a）。隠岐塾では、中学生を主な対象に学習スペースを提供するだけでなく、例えば自然学習の要素や大人の役割も取り入れて学びを深める機会を創り出すこともしている（山陰中央新報 2020b）。その他の活動やこれまでの活動の一覧については、上記2.の年間計画を参照されたい。

#### 【参考文献】

山陰中央新報（2020a）「中学生に自主学習の場を：隠岐の島住民有志が無料塾」、2020年7月11日朝刊。  
山陰中央新報（2020b）「漂着物だけで火おこせ！：隠岐の島 知恵絞り悪戦苦闘」、2020年10月11日朝刊。  
島田広之・田尾俊輔・小島晋一郎・中野将・岩泉達也（2020）「住民と大学院生の協働によるまちづくり活動の展開：一島根県隠岐の島町での活動報告一」『Co\*Design』8：49-74。

### 4. 地域からの評価

研究チームの学生さんたちには、（中略）島の暮らしの中にある魅力や課題にむき合いつつ、私達と共に『島の未来』を考えて頂きました。専門的で深い知識を生かした視点と発想は、小さなコミュニティの中で暮らす私達にとって大きな刺激となりました。具体的などころでは、ワークショップによって島への熱い思いを持つ人達が一堂に会して繋がりあう機会ができたこと。それはとても意義深いことでした。それをきっかけとして有志の若者達が決起、『島に塾を』という願いに寄り添う形で『隠岐塾』というボランティアの無料塾が動き出しています。島には大学がありません。塾に参加した中学生にとって、対面で、または遠隔で、大学生と関わりながら学ぶ機会ができたことは貴重な経験だったに違いありません。大学の学びがこうして遠く離れた地方に生かされること、その機会を頂けたことに、深く感謝しています。（※5.のWEBサイトより引用、一部改変）

### 5. 参考WEBサイト

島田広之・田尾俊輔・小島晋一郎「アクティビティ・プラスを超えた活動へ：一大学院生が住民と協働しながら離島・隠岐の島町でのまちづくりに関わる意義を求めて一」、大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムホームページ（最終アクセス：2021年8月23日）。  
<http://www.cbi.osaka-u.ac.jp/reports/アクティビティプラスを超えた活動へ一大学院生/>

### 6. 活動メンバー

島田 広之（大阪大学大学院文学研究科・博士後期課程2年／  
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ・特任研究員）  
田尾 俊輔（大阪大学大学院言語文化研究科・博士後期課程2年）  
小島 晋一郎（大阪大学大学院理学研究科・博士後期課程2年）  
花木 愛子（大阪大学大学院工学研究科・博士前期課程2年）

（※2021年8月23日現在）



## 7. 担当教員

なし（※島田が特任研究員の籍を有している）

## 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	大阪大学	
所属先・職名	文学研究科・博士後期課程 2 年	
氏 名	島田広之	
連絡先	電 話	—
	メー ル	shimada@ssi.osaka-u.ac.jp

【大阪大学学生有志プロジェクト】

# 住民と大学院生の協働による アイデア創出の場づくりと実現に向けた実践 — 島根県隠岐の島町での3年間の活動と今後の展望 —

田尾 俊輔<sup>1</sup>・花木 愛子<sup>2</sup>・小島 晋一郎<sup>3</sup>・島田 広之<sup>4,5</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院言語文化研究科 <sup>2</sup>大阪大学大学院工学研究科 <sup>3</sup>大阪大学大学院理学研究科  
<sup>4</sup>大阪大学大学院文学研究科 <sup>5</sup>大阪大学社会ソリューションイニシアティブ

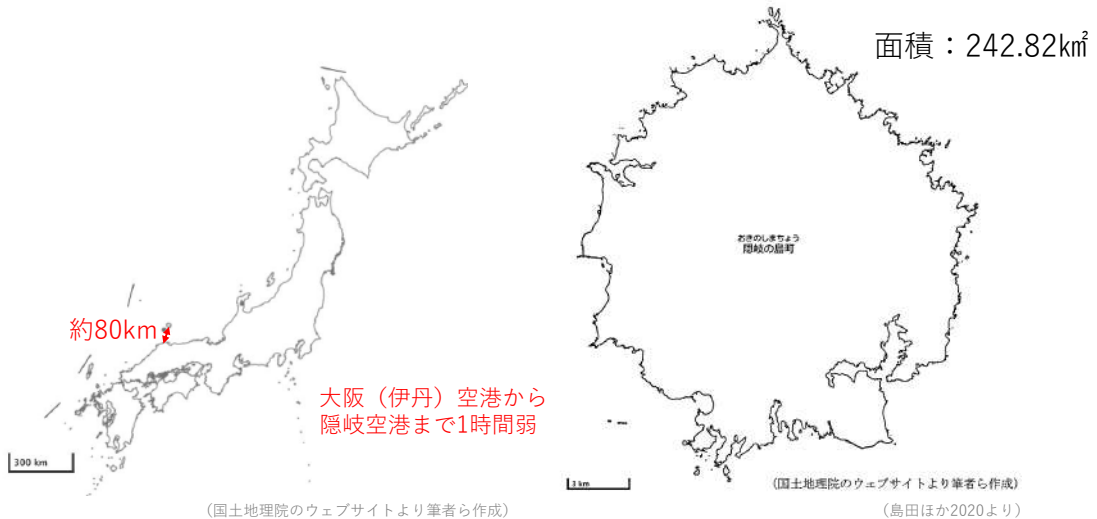
表紙・目次スライド各1枚，本文スライド17枚，参考文献スライド1枚

## 目次

1. 島根県隠岐の島町の概要
2. 活動背景
3. 活動目標
4. 活動成果
5. 今後の課題と展望

参考文献

# 1. 島根県隠岐の島町（概要）#1



2

# 1. 島根県隠岐の島町（概要）#2



遊覧船から見るローソク島

画像：隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」より  
([https://oki-dougo.info/data01/room/broom/see\\_boat\\_ro-soku.html](https://oki-dougo.info/data01/room/broom/see_boat_ro-soku.html))



シーカヤック

画像：隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」より  
([https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom\\_marine.html](https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom_marine.html))

3

## 1. 島根県隠岐の島町（概要）#3



油井の前の洲

画像：隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」より  
([https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom\\_only.html](https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom_only.html))



岩倉の乳房杉

画像：隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」より  
([https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom\\_nature.html](https://oki-dougo.info/data01/room/sroom/sroom_nature.html))

4

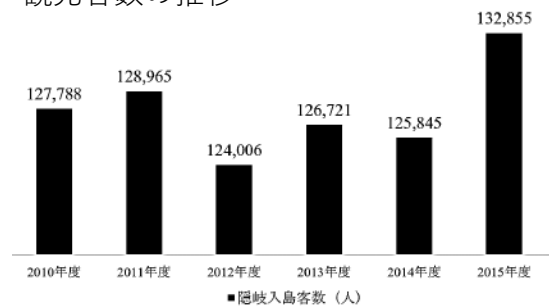
## 1. 島根県隠岐の島町（概要）#4



隠岐牛突き

画像：隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」より  
([https://oki-dougo.info/data01/room/broom/event\\_ushi2014.html](https://oki-dougo.info/data01/room/broom/event_ushi2014.html))

観光客数の推移



(隠岐の島町(2017)を参考にして筆者ら作成)  
(島田ほか2020より)

5



# 1. 島根県隠岐の島町（概要） #5

町内人口の推移



特に，中学校卒業や高校卒業のあたりで島外に出る傾向がある。

— 隠岐の島町・人口（人）  
（隠岐の島町役場総務課広報広聴係（2010-2019）を参考にして筆者ら作成）  
（島田ほか2020より）

6

## 2. 活動背景

現状：地域と都市の機会格差→特に若年人口の流出  
地域活力の維持・向上に工夫が必要。

活動の方針：

- ✓ 地域の良さをどのように活かし，地域にある様々な社会課題をどのように解決するか。
- ✓ その過程で多様な人々が島に集まることを目指す。
- ✓ そこに大学院生はどのように関わっていけるのか。

7

### 3. 活動目標：やりがいと意義

- 住民にとって

持続的に課題を解決して、新しいことや面白いアイデアをどんどん生み出す。多様な人々と連携しながらやりたいことを実現し、隠岐の島町を盛り上げる。

- 大学院生にとって

各自の専門性を活かし、地域で展開可能な活動を考えて実践する中で、将来のキャリアを構想する。同時に「よそ者」としての役割（敷田 2005）も考慮。

- その他ステークホルダーにとって

既存の活動をより強固なものにし、新規の活動の展開可能性を考える。あるいは、隠岐の島町に新たな関係人口として関わるができる。

8

### 4. 主要活動の記録 #1（2019年）

月	活動内容
9	・ 高校生から大学院生への質問会
11	・ このまちの明日を語るworkshop vol. 0
12	・ このまちの明日を語るworkshop vol. 1 ・ <u>島根県立隠岐高等学校と大阪大学との 合同研究発表会・座談会</u> ・ 隠岐塾（第1回）

↑  
ここでの発表を目標に、  
活動を設計



画像：大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムホームページより  
(<http://www.cbi.osaka-u.ac.jp/reports/アクティビティプラスを超えた活動へー大学院生/>)

9

## 4. アイデア創出の場づくりに向けて



参加者が互いに  
影響を与え合う

### 高校生と大学院生の交流

- 高校生にとって
  - ・ 勉強方法の相談
  - ・ 近い将来（大学生活・社会生活）のイメージを喚起
- 大学院生にとって
  - ・ 自らの経験を振り返って、目の前の高校生と相対化し、自身の位置づけを探索

10

## 4. アイデア創出の場づくりの実践



### ワークショップ

- ・ 軽い気持ちでフラットな情報交換の場
- ・ 自らの意思で集まった人々が参加
- ・ 自由に発言
- ・ 結論は出さなくてよい
- ・ やりたいことをやりたい人で

（参考：久「まちづくりラウンドテーブルのすすめ」）

参加者は住民，大学院生，観光客と  
さまざまな立場。  
2時間，話題が途切れることなく続く。

（島田ほか2020より）

11

## 4. アイデアの実現へ



### 任意団体「隠岐塾」の発足・展開

- 島内に学習塾がほとんどない中で、一緒に学ぶ機会を。
- 有志の住民 & 大学院生で運営。
- 発足初期は中学生を対象にして集まって学習できるスペースを提供。
- 次第に小学生（高学年）や高校生も対象に拡大。
- いわゆる「勉強」だけではない、様々な学びを大人も一緒に。

12

## 4. 主要活動の記録 #2（2020年）

月	活動内容
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• このまちの明日を語るworkshop vol. 2</li> <li>• 隠岐塾（第2回）</li> </ul>
6-10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 隠岐塾（第3回～第5回）</li> <li>• 火おこしバトル[隠岐塾主催]</li> <li>• オンラインワークショップ</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>現地での打ち合わせ</u></li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 隠岐塾（第6回）</li> </ul>

コロナ禍以前

コロナ禍において  
大学院生が現地に行けたのはこの1回  
(1人)のみ

→大学院生が主体で動くことが難しくなるケースも。(島田・田尾・小島2020を参照)

13



## 4. コロナ禍での活動 #1

### 例1：隠岐塾

オンライン（Zoom）で隠岐の島町と大阪とを繋ぎ、話の機会を確保。

（山陰中央新報2020も参照）



現地（隠岐の島町）



オンライン（隠岐の島町&大阪）

14

## 4. コロナ禍での活動 #2

### 例2：火おこしバトル

オンライン（Zoom）で現地の様子を見ながらコメント。



### 例3：ワークショップ

オンライン（Zoom）で現地と繋いで実施。



15

## 4. 主要活動の記録 #3 (2021年)

月	活動内容
1-7	・ 隠岐塾 (第7回～第9回)
9- (予定)	・ 隠岐の島町内の中学校における学習活動支援 ・ 新たな複数のプロジェクト (大学院生発案) 開始

コロナ禍により、オンライン参加が継続。

2020年と比べ、小規模・短時間でもオンラインで話す回数を増加。五感を伴うコミュニケーションができない分、やりづらさもあるが、定期的に話すことは情報交換や新たなアイデア産出のために重要。繋がりを維持する役割もある。

16

## 4. 活動成果 (まとめ)

- 高校生と大学院生との交流→参加者が互いに影響を与え合う
- ワークショップ→地域住民・大学院生・観光客による情報交換 & アイデア創出の場を展開
- アイデアの実現例「隠岐塾」：様々な学びの機会を提供
- コロナ禍での活動とオンラインコミュニケーションの難しさ
- こまめな情報交換・アイデア産出の機会を増加
- 新たな活動・プロジェクトの準備、開始へ

17

## 5. 今後の課題と展望

- ✓ コロナ禍の影響を受けない，ワークショップや交流の機会を継続するための基盤づくり。
- ✓ 「隠岐塾」に次ぐ，生まれてきたアイデアの実現。
- ✓ オンラインと現地の活動をうまく組み合わせながら，プロジェクトを通じた学びを最大限に得られるようなデザインを意識。(田尾・島田2021より)

「住民」「大学院生」「その他ステークホルダー」にとっての意義・やりがいを開発・維持・強化する。

18

## 参考文献

- 山陰中央新報（2020）「中学生に自主学習の場を：隠岐の島住民有志が無料塾」，2020年7月11日朝刊。
- 敷田麻美（2005）「よそ者と協働する地域づくりの可能性に関する研究」『江淳の久爾』50：74-85。
- 島田広之・田尾俊輔・小島晋一郎・中野将・岩泉達也（2020）「住民と大学院生の協働によるまちづくり活動の展開：一島根県隠岐の島町での活動報告」『Co\*Design』8：49-74。
- 島田広之・田尾俊輔・小島晋一郎（2020）「オンラインPBLによる社会課題解決の実践とその課題：一隠岐の島町での活動を通じて」，日本ソーシャル・イノベーション学会第2回年次大会（発表資料）。
- 田尾俊輔・島田広之（2021）「プロジェクト基盤型学習（PjBL）のオンライン化に向けた建設的検討」『Co\*Design』10：31-52。
- 久隆浩（n.d.）「まちづくりラウンドテーブルのすすめ」  
[http://www.voluntary.jp/img/u457/MI35145\\_060E.pdf](http://www.voluntary.jp/img/u457/MI35145_060E.pdf)（最終アクセス日：2021年9月10日）

## 参考ウェブサイト

- 隠岐の島町観光協会「Okikankou Web」<https://oki-dougo.info/>（最終アクセス日：2021年9月10日）
- 大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム「アクティビティ・プラスを超えた活動へ：一大学院生が住民と協働しながら離島・隠岐の島町でのまちづくりに関わる意義を求めて」  
<http://www.cbi.osaka-u.ac.jp/reports/アクティビティプラスを超えた活動へ一大学院生/>  
（最終アクセス日：2021年9月10日）

19

## ■ 摂南大学 PBL プロジェクト科目の受講生

活動テーマ	奥伊吹やまのさちプロジェクト（山間部の過疎高齢化地域での援農活動）
活動場所	滋賀県米原市甲津原地区
連携先	甲津原交流センター（つけもの加工部、営農組合）
活動主体	摂南大学 PBL プロジェクト科目の受講生

### 1. 活動概要

滋賀県米原市北部の姉川上流域に位置する甲津原地区を活動地域として、過疎・高齢化が進む地域社会の歴史・文化的背景や実態の理解、援農活動を通じての農事歴や地域生業の理解と技法の修得、地域資源（山のめぐみ）と在来知を活かす地域産品の形成などを地域住民と協働して行い、山間地集落の地域活性化のあり方を学びます。

とはいえ、地域活性化に直接取り組むのは10年早いと自覚しています。学生の本業は「学ぶこと」。現地のおばあさんやおじいさんが生き生きと土地のことを教えてくれる場と機会をつくるのが、学生らができる地域貢献です。知ったかぶりの提案ではなく、まずは生業活動のお手伝いをしながら「教え教わる」という関係の構築を目指します。

### 2. 年間計画

滋賀県米原市甲津原地区において、営農組合の農地の管理作業およびつけもの加工部での手伝いなどの援農活動を行います。作業の合間のフィールド観察や地域の人びととの会話も大切な取り組みの一つです。

4月：獣害対策用の電気柵の設置（水田）、フキの植え付け

5月：獣害対策用の電気柵の設置（水田）、山菜取り（ワラビ、コゴミ）、ヨモギ摘み

6月：梅の実の収穫、加工品（梅干し、味噌）のパッキング

7月：獣害対策用の電気柵の設置（ソバ畑）、赤紫蘇の葉摘み、加工品（梅干し、味噌）のパッキング、中間発表会（摂南大学）

9月：ミョウガの収穫と漬け込み、トチの実拾い

10月：バーク堆肥・燐炭の散布（水田）、獣害対策用の電気柵の撤去

11月：フィールド調査（土地利用の観察、インタビューなど）

12月：最終発表会（摂南大学）

### 3. 活動成果

新型コロナの感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、高齢者の多い対象地域での活動が大幅に制限されました。

これまでに実施できた活動は以下の2回です。

- (1) 6月19日～20日：甲津原交流センターにて打ち合わせ。漬物加工部にて梅干しの計量と包装、梅の実の洗浄と漬け込み、トチ餅の加工などの作業手伝い。米原市高番にある梅林での梅の実の収穫作業、甲津原交流センターでの収穫した梅の実の荷下ろしと計量。作業の合間の意見交流。
- (2) 7月10日～11日：つけもの加工部にて味噌の計量と包装、赤しその葉ちぎり。営農組合が管理するソバ畑での獣害対策用の電柵（ポール）や電線の設置の手伝い、ドローンによる農薬散布の見学、斜面地用自動草刈り機による除草作業の手伝い、ワラビ採り体験、ホタルの観察。作業の合間の意見交流。甲津原地区の営農組合の沿革に関する講義の受講。



#### 4. 地域からの評価

2021年度に開始したため、現時点で特にまとまった評価はありません。単発で「お客様」として訪問する団体が多い中、定期的（毎月1～2回）に訪問し援農活動を行うことで、地域の人びととの距離が近くなっている感触があります。

#### 5. 参考 WEB サイト

「<https://kozuhara.com/about/%e6%91%82%e5%8d%97%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e3%81%a8%e3%81%ae%e9%80%a3%e6%90%ba%e4%ba%8b%e6%a5%ad/>」を参照してください

#### 6. 活動メンバー

佐野遥輝（理工学部・機械工学科、4年）  
植達哉（法学部・法律学科、3年）  
古野友希（理工学部・機械工学科、2年）  
柴田琴未（外国語学部・外国語学科、2年）  
今中美里（法学部・法律学科、2年）  
當捺希（経済学部・経済学科、2年）  
久保侑希実（農学部・応用生物科学科、2年）

#### 7. 担当教員

摂南大学・農学部・教授・田中樹

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	摂南大学	
所属先・職名	農学部・教授	
氏 名	田中 樹	
連絡先	電 話	072-896-6409
	メー ル	ueru.tanaka@setsunan.ac.jp

## 9. 活動の様子

(1) 2021年6月19日～20日



梅干しの計量と袋詰め



トチ餅の加工の手伝い



梅の実の収穫



収穫した梅の実の洗浄



(2) 2021年7月10日～11日



獣害対策用の電柵のポール立て



赤紫蘇の葉の選別



ドローンによる農薬散布作業の見学



自動草刈り機による斜面地での草刈り作業



営農組合の沿革や稲作に関する講義



集合写真

摂南大学 PBLプロジェクト

# ▼ 奥伊吹 やまのさちプロジェクト

## プロジェクト概要・目的

地域の実態

援農活動

地域の課題  
解決提案

滋賀県米原市の姉川上流域に位置する甲津原地区をフィールドに、過疎・高齢化が進む地域社会の歴史・文化的背景や実態の理解、援農活動を通じての農事歴や地域生業の理解と技法の修得、地域資源（山の恵み）と在来知を活かす地域産品の形成などを地域住民と協働して行い、山間地集落の地域活性化のあり方を描く。



## スケジュール

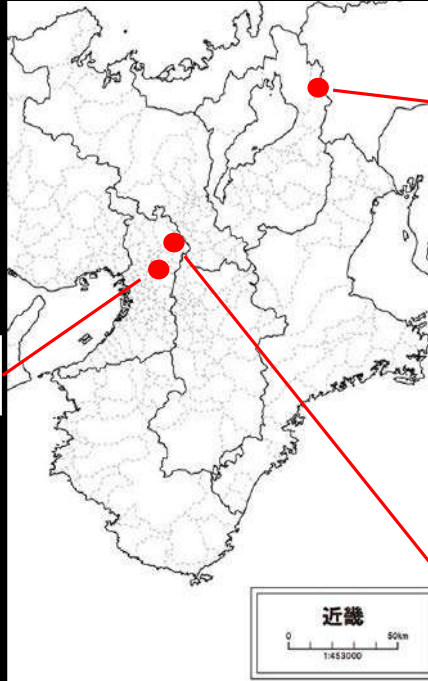
時期	予定	実際の活動
4月 5月	稲の育苗 獣対策電気柵ポール立て フキの植え替え 耕起・田植え 獣対策電気柵張り 山菜収穫	新型コロナウイルスの影響で実施せず
6月	梅の収穫・梅干し仕込み 獣対策電気柵張り	漬物の加工、軽量、梱包 梅の実の収穫
7月	漬物の加工（キュウリなど）	赤しそ葉ちぎり 獣対策電気柵設置 自動草刈り機による除草
8月	梅干しの天日あて	新型コロナウイルスの影響で実施せず
9月	ミョウガ採り トチの実拾い	新型コロナウイルスの影響で実施せず
10月	パークたい肥や燻製の散布 獣対策電気柵の撤去	パイの実収穫 サルナシ収穫 フキの植え替え 獣対策電気柵の撤去

## プロジェクト概要・目的



地域の実態①  
活動場所

大阪府(寝屋川市)  
摂南大学寝屋川キャンパス



滋賀県(米原市・甲津原地区)

特徴:過疎高齢化地域、山間地

生業:農業(稲、ソバ、ミョウガなどの栽培)、  
山菜採集(ワラビ、フキ、コゴミ、ヨモギ)、  
つけもの加工(梅干し、味噌、キュウリや  
カブの漬物、トチ餅)と販売、林業



甲津原交流センター  
(つけもの加工部、営農組合)

大阪府(枚方市)  
摂南大学枚方キャンパス



地域の実態②  
山の恵みを知る



ご飯が美味しい！



自然豊か！



## プロジェクト概要・目的

地域の実態

援農活動

地域の課題  
解決提案



援農活動



## 電気柵



## プロジェクト概要・目的

地域の実態

援農活動

地域の課題  
解決提案



## 地域課題解決 これまでの取り組み一覧

### 決算の状況（簡略図）

<b>貸借対照表</b>	資産合計	25110000円	
<b>R2損益計算書</b>	売上（米・そば）	9458000円	
	売上（加工部）	11499000円	
	売上原価	24389000円	
	一般管理費	2293000円	
	営業外収益	18158000円	
	コロナ関連助成金	3031000円	
	中山間・まるごと交付金	9345000円	
	そば生産助成金	1180000円	
	<b>当期利益</b>	4265000円	
	<b>従事分量配当</b>	3852000円	

## 見えてきた課題

### 高齢化による労力の低下

- AIで賄えるのはまだほんの一部

### 農業機械の更新費用

- 減価償却が激しい（7年） ・メンテナンスは必須

### 組合員のため労働時間に制限がある

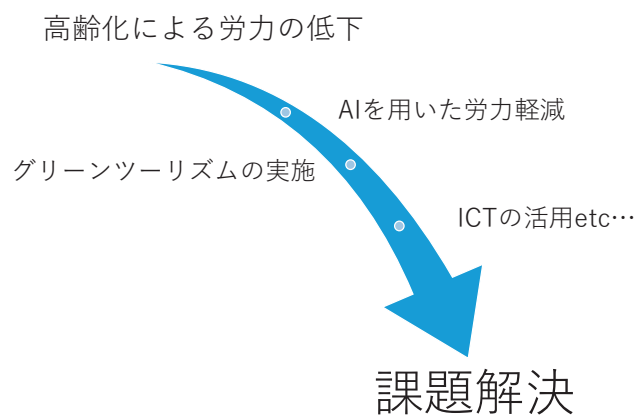
- 多くの方は兼業農家

### 交流センターにおけるお客さんの偏り

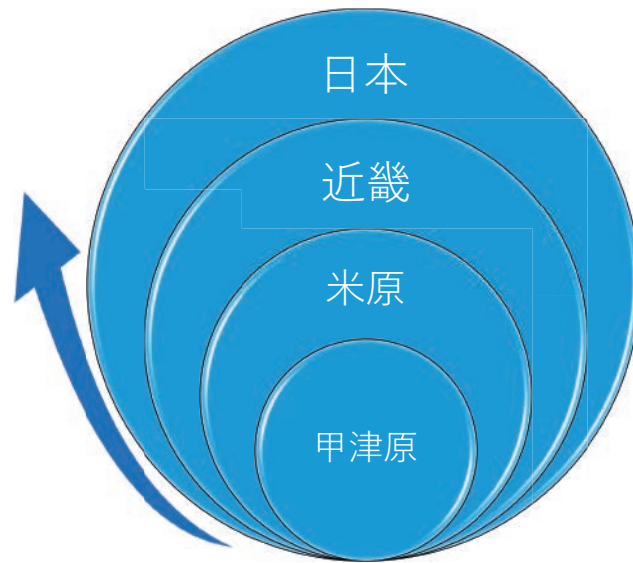
- 甲津原ならでの日本一を見出したい

## これからの展望

～高齢化による労力の低下の場合～



課題解決は  
広がる



**ご清聴ありがとうございました**



## ■摂南大学 地域貢献実践演習（講義） 3回生・4回生

活動テーマ	公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」の認知度向上（地域貢献実践演習）
活動場所	大阪府門真市
連携先	大阪府門真市役所 志塾フリースクール
活動主体	摂南大学 地域貢献実践演習（講義） 3回生・4回生

### 1. 活動概要

この活動は、前期と後期で1年間おこないます。前期は、講義やフィールドワークで身につけた知識を活用して、学生が主体的に取り組むための準備をおこないます。そして後期は、地域の方々と連携しながら課題解決までの計画を立て、現地で実習をおこない目的達成に向けた知識・技術の向上、責任ある行動を続けられる姿勢の確立を目的とします。

子ども LOBBY を利用する子どもたちには、勉強をする・友達と遊ぶ・悩みを相談する等、様々な利用目的があります。私たちは、子どもたちと一緒に勉強をしたり、読み聞かせやゲームをしたりして、子どもたち・保護者の方にとって居心地の良い環境づくりや、子ども LOBBY の認知度を高めるための活動に取り組んでいます。

参考:「地域貢献実習演習」シラバス

[https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbssbdr.do?value\(risyunen\)=2021&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=1KC1800100&value\(crclumcd\)=](https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbssbdr.do?value(risyunen)=2021&value(semekikn)=1&value(kougicd)=1KC1800100&value(crclumcd)=)

### 2. 年間計画

4月～6月：座学（実習に必要な知識を身につける。プレゼンテーション・統計など）  
7月中旬：連携先様との顔合わせ  
7月下旬：現地での実習開始  
8月上旬～下旬：緊急事態宣言発令のため活動休止  
8月下旬：今後の活動について・イベントの打ち合わせ（オンライン）  
9月～11月：イベント等の実施予定（ハロウィン・クリスマスイベント（予定））  
12月下旬：学内報告会

### 3. 活動成果

前期：実習前の座学を通して、次のような能力を身に付けることができました。

- ① 分析ツールを活用して、公開されている情報を分析し、その情報を活用して根拠のある発言をすることができる能力。
- ② グループワークで問題が発生したときに、相手の意見を聴いて状況を整理し、自分の意見を伝え課題を解決する能力。
- ③ プレゼンテーションをおこない、相手に効果的に情報を伝えることができる能力。

後期：連携先様と活動に関する打ち合わせをおこない、活動を開始したところです。前期に身に付けた能力を発揮し、後期の活動成果につないでいきます。

#### 4. 地域からの評価

地域（連携先様）から期待されていること

- 年齢が近い学生が関わることで、子どもたちが話しやすくなる。
- いろいろな話を通じて、子どもや保護者の悩み・困っていることを把握し、
- スタッフや市役所の人に伝えることで課題の解決につなぐ。
- 学生ならではのアイデアによるイベント等により、子ども LOBBY の認知度向上を図る。

上記3つが地域（連携先様）から期待されていることです。期待に応えられるように、全力で活動に取り組んでいきます。

#### 5. 参考 WEB サイト

門真市公式ホームページ『公民連携子どもの居場所「子ども LOBBY」』

[https://www.city.kadoma.osaka.jp/kosodate/kosodate/kodomonohinkontaisakujigyou/kodomo\\_lobby/index.html](https://www.city.kadoma.osaka.jp/kosodate/kosodate/kodomonohinkontaisakujigyou/kodomo_lobby/index.html)

#### 6. 活動メンバー

経営学部4年 加藤聖也（経営情報学科） 3年 山本歩乃佳（経営学科）  
理工学部4年 土居亮介  
経済学部4年 平塚悠人  
法学部3年 高浪直樹

#### 7. 担当教員

教務部 教育イノベーションセンター 水野 武

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	摂南大学	
所属先・職名	教務部 教育イノベーションセンター	
氏 名	水野 武	
連絡先	電 話	072-800-1038
	メー ル	mizuno@atf.setsunan.ac.jp

## 〈ソーシャル・イノベーション副専攻課程〉

### 〈地域貢献実践演習〉 公民連携子どもの居場所 「子どもLOBBY」の認知度向上

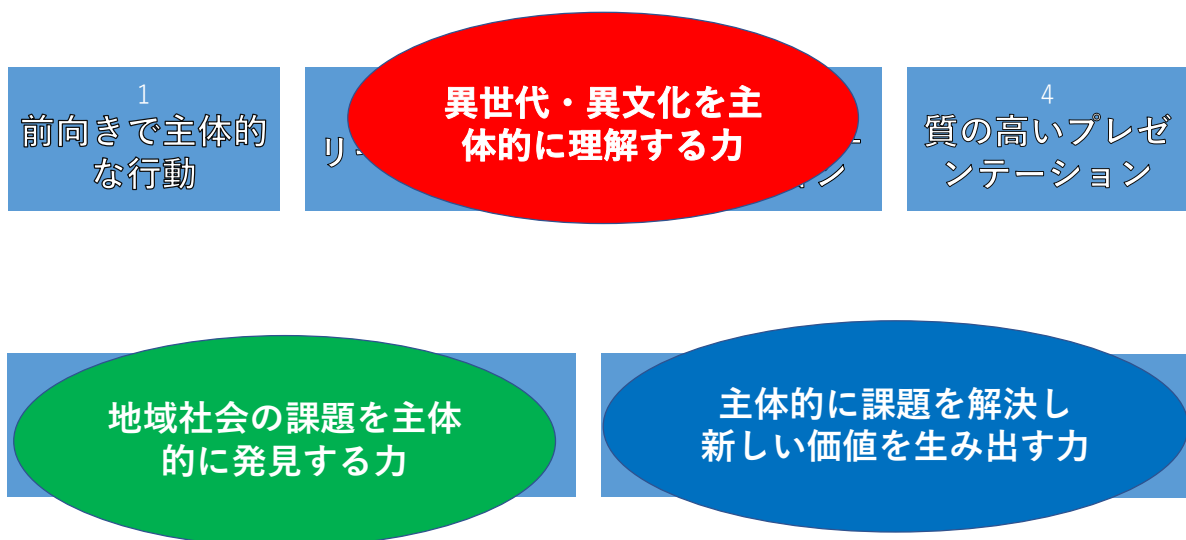
摂南大学 経営学部経営情報学科 加藤 聖也

## 目次

- ソーシャル・イノベーション副専攻課程
- 副専攻課程修了について
- PBLプロジェクトについて
- 地域貢献実践演習とは
- 年間スケジュール
- 公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」
- 活動目的
- 活動事例
- 最終目標

## ソーシャル・イノベーション副専攻課程

- 学部・学科の垣根を越えて、総合大学での幅広い知識・技能・態度を学修できるカリキュラム
- 「地域経済・経営」、「地域政策・文化」「地域環境・防災」「地域医療」を中心として、多角的な視点で地域の状況を分析した上で課題を発見し、持続可能なまちづくりに貢献できる人を育成するために設置
- 副専攻課程を修了すると、8つのcanと3つの力が取得できる





## 副専攻課程修了について

科目区分	必要単位数
コア科目	4単位
アドバンスト科目	12単位以上 <small>*選択必修科目2単位を含む</small>
演習科目	2単位
合計	18単位以上

上記の修了要件を満たしたら、「**ソーシャル・イノベーション副専攻課程修了証**」が発行される。

## PBLプロジェクトとは

- 本学の教育理念である「**自ら課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人の育成**」を実践するためのプログラム
- 一定期間内にプロジェクトの目標を達成するため、**学生が自ら課題を発見し、プロジェクトのメンバーと協働して、課題の解決に取り組む創造的・社会的な学び**である点にあります。

## PBLプロジェクト（活動紹介）



2019年度の活動の様子（一部）

# 地域貢献実践 演習の活動

## 年間スケジュール

- 4月～6月：座学
- 7月中旬：連携先様と顔合わせ
- 7月下旬：現地での実習開始
- 8月上旬～下旬：緊急事態宣言発令のため活動休止
- 8月下旬：今後の活動について打ち合わせ（オンライン）
- 9月上旬～下旬：緊急事態宣言発令のため活動休止  
(Slackやzoomでの情報共有など)
- 10月～11月：イベント等の実施予定（ハロウィン・クリスマス）
- 12月下旬：学内最終報告会

## 地域貢献実践演習とは

統計・分析  
グループワーク  
プレゼンテーション  
文章の書き方

前期

現地で実習  
活動報告会  
最終報告会

後期

## 公民連携子ども居場所 「子どもLOBBY」



出典：門真市「公民連携子供の居場所「子どもLOBBY」

11

## 公民連携子どもの居場所 「子どもLOBBY」

- 子どもLOBBYは、子どもたちの日常に寄り添う居場所になることを目的とする。子供だけでなく、保護者や子どもに関わる人たちに、様々な取組をしている。



12



	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
10時～13時	保護者相談支援	保護者相談支援	保護者相談支援	保護者相談支援	保護者相談支援	CLOSED	
13時～15時		非認知能力向上プログラム	CLOSED	非認知能力向上プログラム	非認知能力向上プログラム	非認知能力向上プログラム	キャリア教育イベント
15時～17時	子どもの居場所 保護者相談支援	子どもの居場所 保護者相談支援	子どもの居場所 保護者相談支援	子どもの居場所 保護者相談支援	子どもの居場所 保護者相談支援	子どもの居場所 保護者相談支援	

出典：門真市「公民連携子供の居場所「子どもLOBBY」

**開設場所** イズミヤ門真店3階（門真市新橋町3-1-101）  
**開設日時** 午前10時～午後5時  
**休館** 水曜日、祝日、年末年始

13

公民連携子供の居場所  
**子どもLOBBY**

非認知能力向上プログラム  
 子どもの居場所  
 保護者相談支援  
 キャリア教育イベント  
 くつろぎスペース  
 KODOMO LOBBY  
 子どもLOBBY  
 研修スペース  
 相談スペース  
 4月24日 OPEN  
 問い合わせ先  
 門真市こども部  
 こども政策課  
 ☎06-6902-1195  
 HADOMA.LOBBY  
 インスタグラム  
 市ホームページ

## 学生の活動

- 火、木、金、土の15時～17時の時間で、子どもたちと一緒に勉強をしたり、絵本の読み聞かせやゲームをしたりして遊ぶ。（研修を受ければ午前中から活動に参加可能。）
- 連携先様とSlackを用いて情報を共有している。
- 連携先様とイベントの開催などについて、オンラインで打ち合わせをした。（9月以降に開催予定）

## 学生の活動目的（連携先様からの期待）

- 学生ならではのアイデアによるイベント等により、子どもLOBBYの認知度向上を図る。
- 年齢が近い学生が関わることで、子どもたちが話しやすくなる。
- 色々な話を通じて、子どもや保護者の悩み・困っていることを把握し、スタッフや市役所の人に伝えることで課題の解決に繋ぐ

## イベント紹介（予定）



ハロウィンイベント



クリスマスイベント

## 参考文献

- 摂南大学シラバス「地域貢献実践演習」  
[https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbssbdr.do?value\(risyunen\)=2021&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=1KC1800100&value\(crclumcd\)=](https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbssbdr.do?value(risyunen)=2021&value(semekikn)=1&value(kougicd)=1KC1800100&value(crclumcd)=)  
(現在非公開：エントリーシート作成時は公開されていた)
- 門真市「公民連携子供の居場所「子どもLOBBY」」  
[https://www.city.kadoma.osaka.jp/kosodate/kosodate/kodomonohinkontaisakujigyou/kodomo\\_lobby/index.html](https://www.city.kadoma.osaka.jp/kosodate/kosodate/kodomonohinkontaisakujigyou/kodomo_lobby/index.html)  
(9月2日 閲覧)
- 摂南大学「PBLプロジェクト 活動報告書」  
[https://www.setsunan.ac.jp/pbl\\_project/](https://www.setsunan.ac.jp/pbl_project/) (9月2日 閲覧)
- いらすとや [http://www.irasutoya.com/2014/12/blog-post\\_26.html](http://www.irasutoya.com/2014/12/blog-post_26.html) (10月14日 閲覧)

**ご清聴ありがとうございました**



## ■摂南大学 松塚健康プロジェクト

活動テーマ	高齢化率の高い都市部における住民中心の健康づくり活動への支援
活動場所	交野市松塚地区
連携先	松塚地区連絡協議会、交野市社会福祉協議会
活動主体	摂南大学 松塚健康プロジェクト

### 1. 活動概要

本活動は、2017年度より行ってきた継続活動である。

活動場所となる交野市松塚地区は、高齢化率50%を超える都市部地域であり、健康調査の結果、①循環器症状のある者が多い、②自分なりの健康観を持ち、「自分の健康への自信」と「不安」の混在した感情を有している、③地域のつながりの希薄化と地区組織活動の担い手不足と担い手が高齢である、④子どもの減少による世代間交流や高齢者交流の減少を招いていることが分かった。そこで、本活動では①疾病予防（生活習慣病予防、フレイルの予防と早期発見・支援等）、②健康増進（健康な生活習慣、認知症・介護予防、健全な子育て支援等）、③安全安心な街づくり（世代間交流、高齢者交流、育児交流、環境整備・美化等）に焦点をあて活動を進めてきた。2021年度はCovid 19の状況を見ながら、地域福祉ネットワークの活動と大学の健康づくり活動をつなげ、小規模健康チェックなど住民中心の健康づくり活動の支援を行っている。

### 2. 年間計画

#### 1) 企画イベントの実施：

- ①アクティブエイジング健康チェック（体重、身長、体組成、握力、足指圧、血管年齢、口腔機能、血圧などのバイタルサイン）を小規模のものを年2回（5月、7月、2月）実施する。大規模なものを年1回（10月または11月）実施する。
- ②体力測定会を年1回実施する（9月）。
- ③子どもの夏休み学習支援（子どもの居場所づくり支援）を実施する（8月に2回）。
- ④フレイル予防のための健康講座・演習を実施する（12月以降）。

#### 2) 健康情報の提供：

- ①健康だよりを年4回（4月、7月、10月、1月）発刊する。
- ②健康学習会の開催（7月）

#### 3) 地域住民との交流：

- ①地行事（防災訓練）へ参加する。
- ②高齢者の継続訪問（7月、9月）

### 3. 活動成果

活動前に地域の既存資料の分析や地区踏査を行い、以下の活動を行った。

1. 健康だより7月号に「熱中症 しょっちゅう水に 熱中しよう」をテーマに水分補給の必要性、方法を掲載し全世帯に配布した。
2. 「スマホクラブ（会員29人）」を対象に健康学習会を7/14に開催。テーマ「スマホで健康！使いすぎの落とし穴～スマホとの上手なつきあい方～」とし、健康アプリの紹介、スマホ症候群の説明と予防の演習を行い20人が参加した。
3. 小規模健康チェックを7/23に実施。テーマ「目指せ長寿 健康を作る第一歩 さあ健康チェックへ！」とし、骨密度、体組成、握力、足指圧、口腔機能、血圧などの測定と健康相談を行った。募集を上回る32人の参加があった。
4. 夏休み子ども塾は8月に2回実施予定であったが、緊急事態宣言に伴い中止。代替えとして「自由研究シャボン玉づくり」の動画と子ども達にメッセージカード（17人）を作成した。動画はYouTubeで閲覧可能にし、子ども達に配信した。

#### 4. 地域からの評価

活動の参加者アンケート結果から抜粋する。

1. スマホクラブ会員対象の健康学習会では、「満足」の解答が88%あり、感想として、①高齢になると今出来たことが出来ない、改めて自分の生活を見直す必要がある。②スマホクラブにふさわしい内容だった。③スマホの事は奥が深く知らない事が多いが、チャンスがあれば少しずつ知識を得たい。④ITの中でシニア世代が取り残され敗北感を感じる高齢者がおり、何とか克服できないかと感じる。⑤出席したいと思っている方は多いと思うので回数を増やしてほしい。等があった。
2. 小規模健康チェックの参加者からは、「前回以後、健康に良い行動をしている人」は82.6%であり、参加者全員が次回も参加したいと希望していた。感想として、①90歳で年齢を感じるが健康に気を付けたい。②どなたも話しやすく親切だった。③毎年実施してほしい。要望として、血管年齢や認知度を知りたい。食・栄養・運動について知りたい。等があった。

#### 5. 参考 WEB サイト

--

#### 6. 活動メンバー

看護学部 4年 勝本藍、茶畑里帆、東田佳歩、平田雛奈、三島香、宮崎志穂、山本芽依、岡本凧、白石夏輝、中島優里  
摂南大学ボランティア部じょいふる 代表 看護学部 3年 渡辺さくら

#### 7. 担当教員

看護学部 講師 山本十三代、足立安正  
看護学部 助教 田中真佐恵、安田香、舟木友美  
薬学部 教授 高田雅弘

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	摂南大学
所属先・職名	看護学部・講師
氏 名	山本十三代
連絡先	電 話 090-4273-0109
	メー ル t-yamamo@nrs.setsunan.ac.jp

## 9. 活動の様子

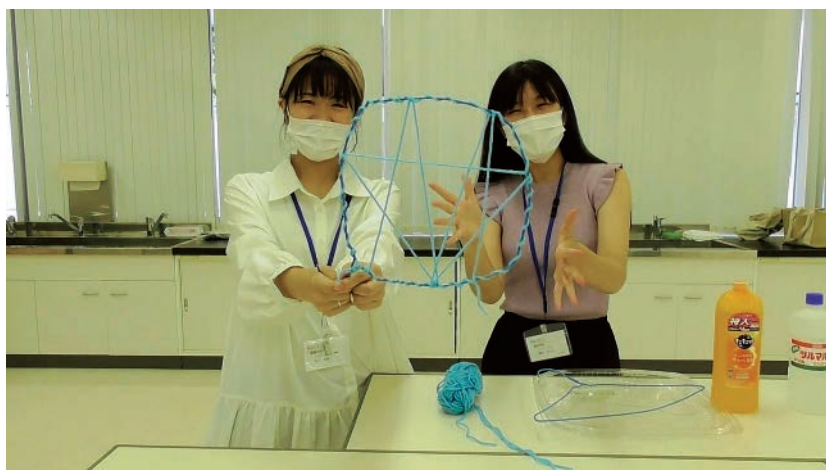
### 資料 活動風景の写真



スマホクラブの健康学習会の風景



小規模健康チェックの風景



夏休み子ども塾の動画撮影場面

## 熱中症

### しよっちゅう水に 熱中しよう



人は、汗をかいたり皮膚から熱を逃がすことで、体温調節をしています。しかし、環境の変化や、体調により、体温の調節機能がうまく働かず、体温が下がらないことで起こるのが熱中症です。

問：水分補給のタイミングは？

答：3つのタイミング

- ①**朝起きてすぐ** 就寝中にも呼吸や皮膚から水分を失います！
- ②**入浴前後** 入浴中は汗をかき、想像以上に水分が失われる危険性があります！
- ③**運動前後** 運動中は汗をかき、失われる体内の水分の量が多くなります！

日々の生活に取り入れ、こまめに水分補給をしましょう

気づかないうちに汗をかいていることがあります

塩分をとることも意識しましょう



問：どのような飲み物が水分補給に適しているの？

答：塩分と糖分を含んだ水分（スポーツドリンク、OS-1など）

〈代用品〉材料：水（1リットル）

食塩（ティースプーン半分約2g）

角砂糖（お好みの量）

方法：水に食塩と角砂糖を溶かす



文献：「京都茶の製法株式会社六圓ホームページ  
お茶の種類で選ぶ」  
[http://www.rokuten.co.jp/contents\\_04\\_smartphone.html](http://www.rokuten.co.jp/contents_04_smartphone.html)



苦手な方は水やお茶でも大丈夫です

お茶に含まれるカフェインは尿の量を増やす働きがあります

カフェインが少ない**麦茶、玄米茶、京番茶**を選びましょう

問：水分補給の目安は？

答：1日に**コップ約6杯**(1.25L/日)



コップ約6杯

## 水で守ろうみずからの命

(看護学部学生 勝本、茶畑、栗田、平田、三島、宮崎、山本)



## <健康学習会開催のお知らせ> スマホで健康！使はずぎの落とし穴 ～スマホとの上手なつきあい方～

とき 2021年 7月14日(水)13:00~15:00  
(内 30分程度)

ところ 松塚ふれあい館1階

対象者：スマホクラブ会員の方(どなたでも参加できます！)

スマホクラブの皆さん、こんにちは！

摂南大学看護学部で保健師を目指している学生 平田と宮崎です。よろしくお願ひします。

健康学習会では、スマホを用いて、健康アプリの紹介やスマートフォンによる健康問題と対策について、頭と身体を動かしながら皆さんと一緒に考えたいと思っています。

皆様とお会いできることを楽しみにしています。

一緒に軽い体操やアプリを使ってゲームを行います。



摂南大学看護学部 平田 雛奈・宮崎 志穂



小規模

2021年7月 松塚地区

# 健康チェック 参加者募集!

2021年7月23日(金) スポーツの日

会場：ふれあい館

皆さま、お久しぶりです。お待ちしております！  
摂南大学の学生が健康チェックを行います。  
お会いできることを楽しみにしています。

※健康ファイルをお持ちの方は、ご持参ください。

血圧・握力・足指筋力・口腔機能などを測ります。



募集人数・募集対象

20名程度の募集です。どなたでも参加できます。  
(年齢・性別は問いません)

応募方法

参加を希望される方は、別紙に必要事項をご記入下さい。  
(応募多数の場合は、厳正な抽選で決定いたします)

申込締切

2021年7月17日(土)  
\*申込用紙に記名の上、柳澤様宅ポストに投函してください。

主催：摂南大学看護学部・薬学部 松塚健康プロジェクト  
(お問い合わせは、070-6510-5196 山本十三代まで)

## ～松塚地区 夏休み 子ども塾～ 摂南大学 ボランティア部 じよいふる

「新型コロナウイルス」の感染が広がっている現状を受け、8月4日、8月18日に  
予定しておりました、子ども塾は開催を中止させていただきます。

ボランティア部及び、教員一同、開催にむけてわくわくしながら準備をして参り  
ましたが、緊急事態宣言の発令により中止の決断をせざるを得ない状況となりま  
した。そのため、すこでも夏休みが楽しくなるよう

『巨大シャボン玉の実験』をテーマに動画を撮影しました。  
ぜひご覧ください!!

[https://youtube.be/o8QCIB\\_70Ec](https://youtube.be/o8QCIB_70Ec)

検索



QRコードからも  
アクセスできます♪

※配信は、8月31日までとさせていただきます。

## 高齢化率の高い都市部における 住民中心の健康づくり活動への支援

看護学部4年 勝本藍、茶畑里帆、東田佳歩、平田雛奈、三島香、宮崎志穂、  
山本芽依、岡本凧、白石夏輝、中島優里

摂南大学ボランティア部じょいふる 代表 看護学部3年 渡辺さくら

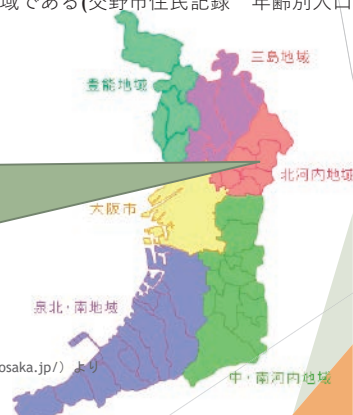


## 松塚地区について(地区踏査4月～5月と既存資料より)

- ▶ 交野市は大阪府と奈良県の県境に位置し、東側と南側が山に囲まれる地形となっており、市の中央部を天野川が流れている。天の川伝説がある。
- ▶ 松塚は枚方市との境にあり京阪郡津駅の東側に位置する。
- ▶ 幾野、郡津、梅が枝とともに「こうづ」地域とされる。
- ▶ 2021年3月の人口は1468人、世帯数734であり、郡津小学校区域では最も少ない。65歳以上の人口は714人であり高齢化率は48.6%で、交野市の中では最も高齢化率が高い地域である(交野市住民記録 年齢別人口集計表より)。

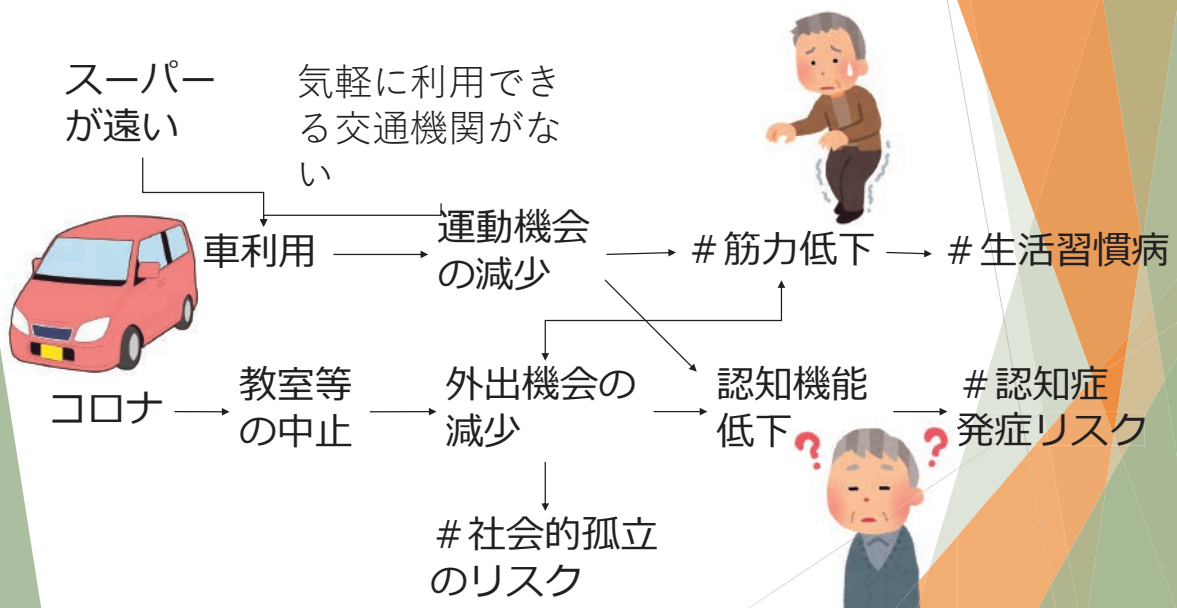


市HP (<https://www.city.katano.osaka.jp/>) より





## 松塚地区の現状から考えられるリスク



## 松塚地区の人口動態を分析した結果

- ▶ 出生率の減少、死亡率の増加、転出の増加から人口が減少している。
- ▶ 単独世帯、夫婦のみの世帯が増加していることにより世帯数が増加している。
- ▶ 旧新興住宅街の住民が高齢になっていることに伴い、老年人口が半数を占めていると考えられる。



## 健康課題

- ▶ 社会的孤立のリスク
- ▶ 生活習慣病
- ▶ 筋力低下
- ▶ 認知症発症リスク

## 活動の年間計画

2021年3月 松塚地区役員と2021年度の活動方針について検討会を持つ。

2021年6月 緊急事態宣言が解かれ、再度活動方針について検討会を持ち実施の具体的調整を行う。

### 1)企画イベントの実施：

- ①アクティブエイジング健康チェック(体重、身長、体組成、握力、足指圧、血管年齢、口腔機能、血圧などのバイタルサイン)を小規模のものを年2回((5月)、7月、2月)実施する。大規模なものを年1回(10月または11月)実施する。
- ②体力測定会を年1回実施する(9月)。
- ③子どもの夏休み学習支援(子どもの居場所づくり支援)を実施する(8月に2回)。
- ④フレイル予防のための健康講座・演習を実施する(12月以降)。

### 2)健康情報の提供：

- ①健康だよりを年4回(4月、7月、10月、1月)発刊する。
- ②健康学習会の開催(7月)

### 3)地域住民との交流：

- ①地行事(防災訓練)へ参加する。
- ②高齢者の継続訪問(7月、9月)





## 健康学習会(7/14)

### スマホで健康！使いすぎの落とし穴 ～スマホとの上手な付き合い方～

場所:松塚ふれあい館

対象者:松塚シニアスマホクラブの方々を対象とし、当日19名の方に健康学習会を実施した。

- ▶ 全国的にスマートフォンを利用する高齢者は増加【シニアスマホクラブは、29名(7月時点)のうち大半が70歳以上が参加しており、MMD研究所「2020年シニアのスマートフォン・フィーチャーフォンの利用に関する調査」でも述べられている】
- ▶ スマートフォンの長時間使用により、目の疲れ・睡眠不足や前屈みの姿勢による筋・骨格系への影響があるため、高齢者にもスマートフォンによる健康被害は増加すると考えられる。
- ▶ 会員の方々の中には「健康を維持するのに、どのようなアプリを活用したらよいか」などの質問がみられた。

#### 気軽に利用できる健康アプリの紹介と使用方法を説明

目標:自身の健康データを生活の中に取り入れ、管理することができる

脳を動かし、認知機能低下を予防することができる

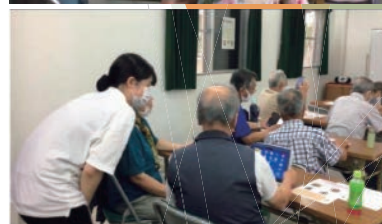
スマートフォンによる健康被害と対策を説明し、スマートフォン症候群を予防

### ～実施内容～

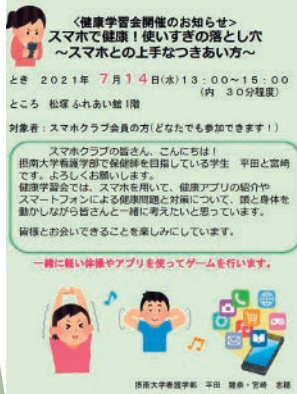
- ①自己紹介
- ②健康アプリの紹介(Dヘルスケア・単語パズル)
- ③スマホ症候群の説明
- ④スマホ症候群危険度チェックの実施
- ⑤スマホ症候群の原因①(スマホ使用時の猫背で前かがみの姿勢についての説明)
- ⑥スマホ症候群の原因②(スマホ画面の見すぎ・近づけてみること)についての説明
- ⑦予防方法の説明と実施(ストレッチ・スマホ使用時に意識して頂きたいこと)
- ⑧パンフレットの配布(スマホ症候群・予防方法・紹介した健康アプリの使い方やおすすめのポイントについて)
- ⑨おさらい

#### 留意点・工夫点

- ・専門用語を使わず、分かりやすく簡潔に、指さし棒を使用して説明する。
- ・聞き取りやすい声(大きさ・スピード、トーン)で行う。
- ・参加者が「問題に気づく」ことを目標とし、投げかけ・説明・指示を意識しながら実施する。
- ・気分不快がないか体調を確認する。
- ・はじめに、健康アプリ紹介を行い興味関心を高める。



## PR活動



**健康学習会開催のお知らせ**  
**スマホで健康！使いすぎの落とし穴**  
**～スマホとの上手なつきあい方～**

とき 2021年 7月14日(水)13:00～15:00  
 (内 30分程度)  
 ところ 松塚 ふれあい館1階

対象者：スマホクラブ会員の方(どなたでも参加できます！)

スマホクラブの皆さん、こんにちは！  
 田南大学看護学部で保健師を目指す学生 平田と宮崎です。よろしくお願ひします。  
 健康学習会では、スマホを置いて、健康アプリの紹介やスマートフォンによる健康問題と対策について、眼と身体を動かしながら皆さんと一緒に考えたいと思っています。  
 皆様とお会いできることを楽しみにしています。

一緒に軽い体操やアプリを使ってゲームを行います。

田南大学看護学部 平田 雅希・宮崎 悠希



**スマホ症候群について**

首背で荷がみの姿勢では...

【症状】  
 ・首が前傾で、顔が遠くなる。  
 ・首の筋肉が硬くなり、肩こりや頭痛が起きやすくなる。

【対策】  
 ・スマホを覗く時、首を前に倒さず、視線を水平にする。  
 ・スマホの画面を少し傾ける。目の負担が軽減される。

スマホ画面の見過ぎ、目を近づけすぎると...

【症状】  
 ・目の疲れ  
 ・ドライアイ



スマホで健康！使いすぎの落とし穴  
 ～スマホと上手な付き合い方～

自宅でできる簡単ストレッチ

【目のマッサージ】  
 ①右目を閉じて、反対の手で揉む ②反対目も同じように行う

【首と肩のマッサージ】  
 ①首を右に振る ②右まで左の肩をマッサージ  
 ③左目を閉じて、反対の手で揉む ④反対目も同じように行う

意識して頂きたいこと

・長時間連続して使うのを避ける  
 ・1時間ごとに10分～15分の休憩をとる  
 ・スマホの画面を少し傾けて目に負担を減らす  
 ・なるべく明るく照らす。暗闇でスマホを使用する  
 これらを意識して、上手にスマホと付き合いましょう。



**健康アプリの紹介**

① ロハスケア

おすすめポイント！  
 ・健康管理が簡単にできる  
 血圧 体重 体温 歩数  
 ・健康のお悩みに関する情報がたくさんある  
 食事 栄養 ストレッチなど  
 ・ミッションクリアでポイントがたままる

② 単語パズル

おすすめポイント！  
 ・操作が簡単  
 ・音楽カブト、脳トレクンになる  
 ・収録されている単語はなんと500以上  
 ・おのれが得意な単語で遊べる

### 【実施前】

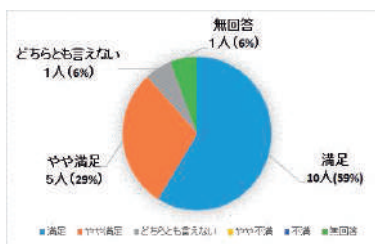
スマホクラブ会員全員へチラシを配布した。  
 内容：時間・場所・対象者  
 自己紹介  
 健康学習会の内容

### 【実施後】

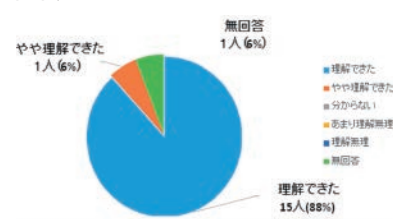
パンフレットを配布した。  
 内容：スマホ症候群について  
 ストレッチ方法・意識して頂きたいこと  
 健康アプリの紹介

## アンケート結果

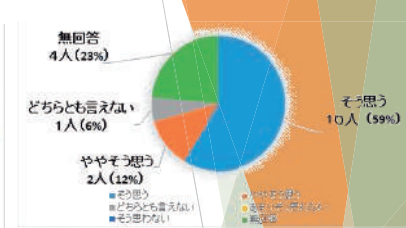
### ①満足度を5段階で教えて下さい



### ②スマホ症候群について理解できましたか



### ③紹介されたアプリを実際に活用していきたく思いましたか



### ④感想

- ・高齢になると今できたことが出来ない、改めて自分の生活を見直そうと思います。
- ・スマホの事は奥が深く知らない事が多いが、チャンスがあれば少しずつ知識を得たい。
- ・スマホクラブにふさわしい内容でした、短い期間で準備していただき、ありがとうございました。
- ・少しずつ知識として得ていきたいと思っています。
- ・若い方のご指導、若返ります、楽しい時間でした
- ・勉強になりました。分かりやすかった。

### ⑤ご要望

- ・ITの中でシニア世代が取り残されたり、敗北感なんかを感じる高齢者が、現代の現象を何とか克服できないかと思っています。
- ・出席したいと思っている方は多いと思いますので、できるだけ回数を増やして欲しい。
- ・健康アプリをたくさん教えてほしい。

## 健康だよりの作成

**熱中症**  
**しょっちゅう水に**  
**熱中しよう**

人は、汗をかいたり皮膚から熱を逃がすことで、体温調節をしています。しかし、環境の変化や、体調により、体温の調節機能がうまく働かず、体温が下がらないことで起こるのが熱中症です。

**問：水分補給のタイミングは？**  
**答：3つのタイミング**

- ① **起床後すぐ** 就寝中にも呼吸や皮膚から水分を失います！
- ② **入浴前後** 入浴中は汗をかき、想像以上に水分が失われる危険性があります！
- ③ **運動前後** 運動中は汗をかき、失われる体内の水分の量が多くなります！

日々の生活に取り入れ、こまめに水分補給をしましょう  
 気づかないうちに汗をかいていることがあります  
 水分をとることも意識しましょう

**問：どのような飲み物が水分補給に適しているの？**  
**答：塩分と糖分を含んだ水か（スポーツドリンク、OS-1など）**

〈代用品〉材料：水（1リットル）  
 食塩（ティースプーン半分約2g）  
 角砂糖（お好みの量）  
 方法：水に食塩と角砂糖を溶かす

**問：百手な方は水やお茶でも大丈夫です**  
 お茶に含まれるカフェインは尿の量を増やす働きがあります  
 カフェインが少ない**麦茶、玄米茶、宗憲茶**を飲みましょう

**問：水分補給の目安は？**  
**答：1日にコップ約6杯(1.25L/日)**

**水で守ろうみずからの命**  
（看護学部学生 藤本、英倫、栗山、平田、三原、西崎、山本）

健康だよりは2018年7月から松塚健康プロジェクトが年4回の季刊誌として松塚の住民に向けて発刊している。

○今回、学生は健康だより第13号(7月)に「熱中症 しょっちゅう水に 熱中しよう」をテーマに水分補給の必要性、方法を掲載した。

▶発刊の時期を考え、注意する健康障害の症状に焦点を当てたテーマとした。

○認知機能が低下した高齢者にも伝わりやすいような編集を意識して行った。

▶①イラスト：イメージが容易

②太字：重要な箇所

③Q&A⇒問答：アルファベットより、慣れている漢字を使用

④原色の使用：高齢者が認識しやすい色の選択

⑤内容：情報の取捨選択や言い回しを考慮し内容を変更した。

## 健康だよりの効果

・小規模健康チェック時のアンケートで、32人中29人が「健康だよりを知っている」と回答（約90%）。

また、自由記載欄に「いつも健康だより楽しく拝見しております。」との記載があった。

・現時点では、日常生活で熱中症対策に取り組んでいるかどうかの判断はできていない。

☞次回の健康調査時に「健康だよりの内容を日常生活に取り組んだか」を追加していく。

・対象者が関心のある健康課題についての情報提供を健康だよりを通して行う。☞ダイエット方法、栄養・運動指導等の声が寄せられた。

## 小規模健康チェック (7/23)

～目指せ長寿 健康を作る第一歩 さあ健康チェックへ!～

**小規模** 2021年7月 松塚地区  
**健康チェック  
 参加者募集!**  
 2021年7月23日(金) スポーツの日  
 会場: ふれあい館

皆さま、お久しぶりです。お待ちしております!  
 摂南大学の学生が健康チェックを行います。  
 お会いできることを楽しみにしています。  
 ※健康ファイルをお持ちの方は、ご持参ください。

血圧・握力・足指筋力・口腔機能などを測ります。



**募集人数・募集対象** 20名程度の募集です。どなたでも参加できます。  
 (年齢・性別は問いません)

**応募方法** 参加を希望される方は、別紙に必要事項をご記入下さい。  
 (応募多数の場合は、順正な抽選で決定いたします)

**申込締切** 2021年7月17日(土)  
 ※申込用紙に記名の上、……ご自宅ポストに投函してください。  
 主催: 摂南大学健康学部・健康科 松塚健康プロジェクト  
 協賛: 松塚地区公民館

・目的:  
 高齢者自身が健康状況の把握と見直しを行い、健康的な生活につなげる。

・募集人数: 約20名(申し込みは33名であった)。

・応募方法: 左記のチラシと申込用紙を小ブロック毎に回覧を行い、申込用紙に必要事項を書いて松塚連絡協議会会長宅のポストに投函する。

・健康チェックの項目:  
 ①血圧測定②酸素飽和度測定③握力測定④口腔機能測  
 ⑤足趾握力筋測定⑥骨密度測定⑦体組成測定⑧健康相談(アンケート)

・方法: 実施時間は2時間の予定であるため、密をさけるため30分に8人とし運営した。対象者には、電話で時間を伝え、早く来られた方には待合い椅子を設けた。



## 小規模健康チェック 実施風景





## ・アンケート結果

### 1.参加者の属性

- ▶ 性別:男性12名 (38%)、女性20名 (62%)
- ▶ 年齢:60歳代1名 (3%)、70歳代10名 (31%)、80歳以上21名 (66%)
- ▶ 現在の健康状態(主観的):健康である9名 (28%)、どちらかと言えば健康な方である17名 (53%)、あまり健康でない4名 (12%)、健康でない2名 (7%)

### 2.健康のために日頃から行っていること

	n32	非常にそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	空欄
・家庭で計測機器を使って、定期的に健康指標を測っている(体重や血圧など)		34%	28%	9%	9%	6%	12%
・バランス(内容、時間、量)の取れた食事をする		22%	50%	19%	6%		3%
・適度な運動をする(ウォーキング、ジョギング等)		34%	50%	9%	6%		
・睡眠を充分(時間、熟眠感)にとる		25%	47%	9%	13%	3%	3%
・規則正しい生活をする(生活にメリハリがある)		28%	50%	16%	3%	3%	
・便秘にならないよう気をつけている		31%	50%	13%	3%		3%
・健康補助食品(サプリメント)を摂る		9%	28%	19%	13%	28%	3%
・ストレスを溜めない		16%	41%	31%	9%		3%
・定期的に健康診断を受診する		34%	22%	28%	3%	3%	9%
・お酒を控える		34%	13%	13%	13%	16%	13%
・タバコを控える		47%	6%	6%	3%	13%	25%
・趣味を楽しむ		53%	21%	16%			9%

### 3.本日の健康チェックの結果について

	n32	非常にそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	空欄
・血圧測定の結果は良かったですか？		38%	34%	22%	6%		
・酸素飽和濃度測定(SpO <sub>2</sub> )の結果は良かったですか？		44%	41%	9%			6%
・口腔機能測定の結果は良かったですか？		31%	47%	13%	3%		6%
・骨密度測定の結果は良かったですか？		16%	28%	38%	19%		
・握力測定の結果は良かったですか？		16%	43%	28%	12%		
・体組成測定それぞれの結果は良かったですか？		19%	38%	28%	9%	6%	
・足指筋力測定の結果は良かったですか？		25%	40%	21%	6%	3%	3%
・健康チェックの結果について説明は良かったですか？		38%	34%	19%			9%
・健康相談をして少し不安や悩みが和らぎましたか？		22%	42%	28%			6%

### 4.健康チェックの必要性について

- ▶ 前回も健康チェックに参加した人の中で、「前回以後、健康に良い行動をしている人」は82.6%であった。
- ▶ 参加者全員が次回も参加したいと希望していた。

### 5.感想・要望について

90歳で年齢を感じるが健康に気を付けたい。どなたも話しやすく親切だった。毎年実施してほしい。  
 要望として、血管年齢や認知度を知りたい。食・栄養・運動について知りたい。

## 継続家庭訪問について(7月下旬)

単身高齢者世帯(2件)、夫婦高齢者世帯へ訪問(1件)

### 〈単身高齢者世帯〉

- ・毎朝4時から1万歩ウォーキングをしている。
- ・地域の活動でカメラクラブ・スマホクラブに所属している。
- ・自身で食事会とお家ギャラリーを主催している。
- ・旅行が趣味である。
- ・過去の医師の対応から必要以上に病院に行きたくない。→必要な病気の治療には受診するが、健診にはいかない。しかし、毎年摂南大学が実施する健康チェックには参加している。
- ・食事は自炊しバランスとか考えている。
- ・運動もしている。健康を意識して工夫した生活をしている。
- ・近隣の人や友人との交流している。

### 〈夫婦高齢者世帯〉

- ・病気や介護が必要になると自分の子どもに迷惑がかかるため、夫婦で支え合っていこうと話している。

そのために、

- ・普段健康を維持するために積極的に運動を行なっている。  
(毎朝のウォーキング、筋トレ、社交ダンス)
- ・自身で毎朝血圧を測定し、服薬管理も行い自己管理を行なっている。
- ・趣味は家庭菜園、盆栽、社交ダンスがある。

#### まとめ

それぞれの住民の方の価値観に合わせて、専門職が連携して健康の維持・増進のために、関わっていくことが重要だと考えた。

## 夏休み こども塾 (松塚地区福祉ネット企画) ～巨大シャボン玉の実験～ 動画配信

ボランティア部 じょいふるの活動

参加申込者:17名(1年生5名、2年生3名、4年生3名、5年生2名、6年生4名)  
内容:午前 宿題などの勉強、午後 巨大シャボン玉実験、チリモン研究  
しかし緊急事態宣言に伴い下記へ変更



じょいふるです♥  
松塚の子供たち、宿題も遊びも頑張ってるね

～松塚地区 夏休み 子ども塾～  
摂南大学 ボランティア部 じょいふる

「新型コロナウイルス」の感染が広がっている現状を受け、8月4日、8月18日に予定しておりました、子ども塾は開催を中止させていただきます。

ボランティア部及び、教員一同、開催に向けてワクワクしながら準備をして参りましたが、緊急事態宣言の発令により中止の決断をせざるを得ない状況となりました。そのため、すこしでも夏休みが楽しくなるよう

『巨大シャボン玉の実験』をテーマに動画を撮影しました。

ぜひご覧ください！！

[https://youtube.com/watch?v=0C1B\\_70Ec](https://youtube.com/watch?v=0C1B_70Ec) 検索

QRコードからもアクセスできます！

※配信は、8月31日までとさせていただきます。



・用意するものは、、、  
・針金と毛糸でこんなものを作ってみて、、、  
・洗剤と洗濯糊と水の割合を変えてみてやってみよう！

こんな感じ！  
ビックなシャボン玉ができた♥

## この活動を通しての思い・今後の展望

・健康チェックの参加者は後期高齢者が多かった。加えて、高齢者の方からも、「地区組織活動を担う人の高齢化が進んでいる」との発言があった。子どもが少ない地域であるからこそ、子どもたちを大切に子どもたち向けの活動も松塚福祉ネットで考えられていた。



・現在地区組織活動の中心となっている人は後期高齢者であり、若い人の担い手が少ないため、次の世代へ引く次ぐことが困難となっている。



そのため今後も絶えず、地区組織活動が継承されていくために、摂南大学看護学部・薬学部・農学部は松塚地区住民と各関係機関との協働でフレイル予防活動や子ども塾など住民中心の健康づくり活動を継続していくことが大切である。

ご清聴ありがとうございました。



## ■ 摂南大学 PBL プロジェクト

活動テーマ	大学生と地方自治体との SDGs 連携プラットフォーム活動
活動場所	和歌山県すさみ町・交野市・大阪府立長尾高校
連携先	すさみ町役場・交野市教育委員会・大阪府立長尾高等学校
活動主体	摂南大学 PBL プロジェクト

### 1. 活動概要

摂南大学 PBL プロジェクトは、自治体職員、自治会の役職者、市民（町民）などの組織・活動グループと学生が直接関わることで、社会人基礎力・人間力・就業力の向上を目指しています。必要な情報の収集方法や、技術の習得方法を行っています。実践で習得するものは「段取り」で、中長期的な役割や仕事について、締め切りを設定し、そこから逆算して、いつ何をやるべきか、仕事の道筋を立てる知識と技術、仕事全体をひとつひとつの細かいタスクに分割し、そこで必要な時間をゴール（締切日）から逆算しながら PDCA を循環させています。しかしながら、新型コロナウイルスが世界的なパンデミックなり、日本においても緊急事態宣言が何度も発出されました。フィールドワークを中心とした活動であるため、活動が大きく制限されています。With コロナという考え方のもとで、十分な感染防止対策を行い大学生の地域貢献活動を行っています。

### 2. 年間計画

4月：フレッシュマンキャンプのサポート（大阪府立長尾高校）  
8、2、3月：すさみ町お便りプロジェクト  
12、1月：交野市防災キャンプ（小学生対象）  
2月：交野市小学生の大学訪問プロジェクト  
2、3月：すさみ町活動（限界集落の活性化活動）  
通年：交野市発明クラブのサポート（2週間に1度、土曜日に開催）

### 3. 活動成果

PBL 活動は、プロジェクトの目標を達成するため、学生が自ら課題を発見し、プロジェクトのメンバーと協働して、課題の解決に取り組む創造的・社会的な学びです。コロナ禍以前、私たちは、対面式でコミュニケーションを取りながら活動を進めてきました。コロナ感染防止対策を最大にししながら、PBL 活動を進めて行くにはどうしたら良いのか、緊急事態宣言が出たらどのように対応していくのか、コロナ感染者がメンバー内に出たらどのような措置をしなければならないのか等、今までに経験したことが無い事象に対応していく「臨機応変対応力」と、不測の事態に備える「先読み能力」を身に着ける大切さを学びました。また、メンバー内、関係者との情報共有の重要性や、情報発信の正確性についても、様々な活動を通して実感しながら、自分たちの実力不足を感じることができました。オンライン授業では、学べないことを体験しながら、自分たちを成長させていくことが1つの成果と感じました。

#### 4. 地域からの評価

長尾高校の教員：この活動を通して、高校1年生は人との繋がりを大切にするのと同時に、自分たちも人前に立ってみたいという気持ちが芽生えていた、「意識→行動→失敗→改善」のサイクルが生まれた。

すさみ町役場：コロナ禍で活動をあきらめるのではなく、交流手段として手紙を活用し、地域との交流活動を、学生たちの創意工夫により継続することが出来た。地域住民からは喜びの声も上がっており、地域の活力を生み出した素晴らしい活動であった。

#### 5. 参考 WEB サイト

防災キャンプ：<http://xn--6kr28kk1be9o.jp/news/detail.html?id=3998>

発明クラブ：<https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2011072500020/>

#### 6. 活動メンバー

外国語学部 3年

久保萌佳、山本 壤、今井龍太郎、竹澤亮、鶴崎由真、土江理子、鳶崎太洋、浦上もも、佐々木菜帆

理工学部 3年

高橋竜也、辻中隆宏

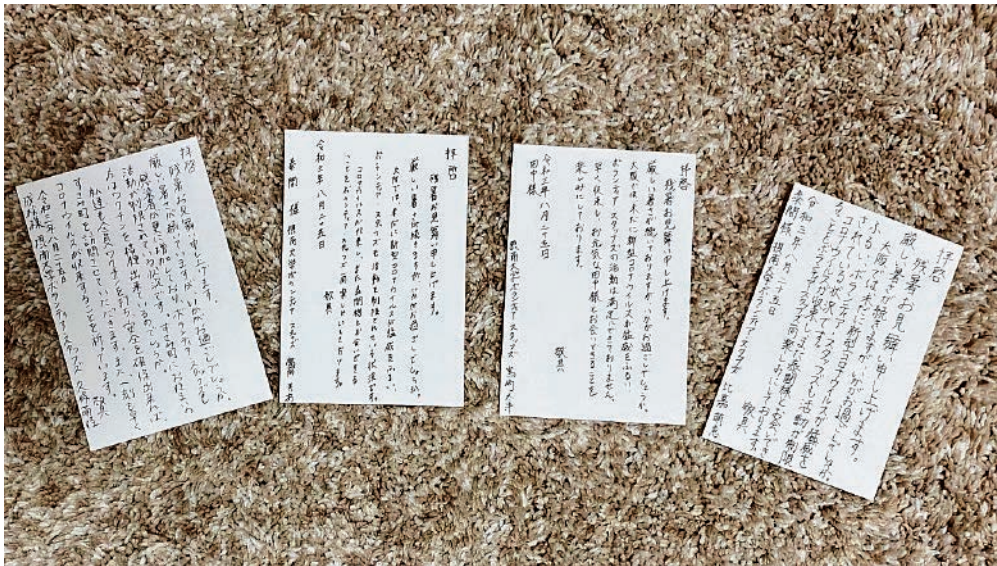
#### 7. 担当教員

外国語学部 浅野英一教授

#### 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	摂南大学 PBL	
所属先・職名	外国語学部・外国語学科・3年生	
氏 名	山本 壤	
連絡先	電 話	080-9128-6180
	メー ル	196217yj@edu.setsunan.ac.jp

## 9. 活動の様子



すさみ町お便りプロジェクト



防災キャンプ

# 大学生と地方自治体とのSDGs 連携プラットフォーム活動

摂南大学 PBLプロジェクト  
発表者:山本 壤 鶴崎由真 高橋 竜也 久保 萌佳 土江 理子

## 摂南大学 PBL の活動概要

人間力の向上

- ・自治体職員や市民グループなどと交流

PDCAサイクル  
を意識

- ・活動日から逆算をして、事前準備を行う

With コロナ

- ・徹底した感染症対策
- ・コロナ禍だからこそできる活動



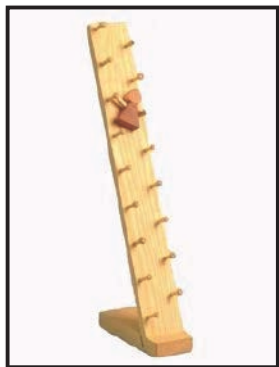
## 地域との関係

- ▶ **包括連携協定**:自治体と大学が協力し、互いの強みを生かして地域が抱えている課題の解決を目指す協定である。
- ▶ 摂南大学は交野市、寝屋川市、すさみ町と協定を結んでいる。

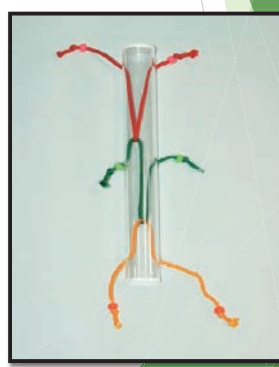
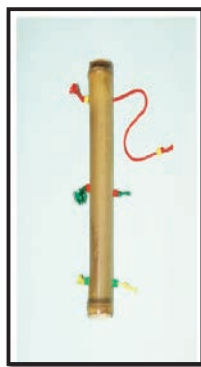
## 活動①:発明クラブ

- ▶ 発明クラブとは  
大阪府交野市で行われる、市内の小学生高学年を対象にした  
工作教室。

引っ込み思案



カタカタ人形



## 活動②：高学年・低学年防災キャンプ

交野市の小学生を対象に、楽しみながら、防災について学んでもらう。



### 低学年防災キャンプ

防災ダック



防災かるた



目的：子供たちの防災意識を高める



防災すごろく

## 高学年防災キャンプ

### DIG (災害図上訓練)

交野市全域の地図を利用し、実際に災害が起こったと想定した上で、訓練を行う

**目的: 自分の身は自分で守ると意識付ける。**



### トリアージ

助けられる命と、そうでない命を区別する



## 活動③:長尾高校活動

### 長尾高校活動とは？

→大阪府枚方市にある長尾高等学校に新しく入学した高校1年生が入学式前に仲良くなるイベントの手伝いをしています。



## 活動内容

新入生間の仲良くなるきっかけを作る。



コミュニケーション不足、  
いじめ問題、不登校の解決



高校2、3年生

相手を思う気持ちと  
人を動かしてまとめる力を養う

## 活動④:すさみ町ハガキプロジェクト

◆すさみ町ってどこ？

すさみ町とは和歌山県西牟婁郡  
(にしむろぐん)にある小さな町。







◆すさみ町ハガキプロジェクトとは

すさみ町に住む高齢者の方と学生がハガキ  
やお手紙を通じて、交流を図るというもの。





## プロジェクト背景

- ◆ 毎年2月、3月にすさみ町の佐本地区にお住いの方々の家に訪問しお手伝いをしていた。
- ◆ 昨年2020年から、コロナウイルスが蔓延し3月以降、すさみ町に訪問することが出来なくなった。
- ◆ 訪問できなくなり、直接交流を図ることが難しくなったが、10年以上続いている関係を途絶えさせないために、どのようなことをすればよいのかを考えた。
- ◆ そこで、ハガキを送ることで、関係を継続させることが出来るという考えになった。

## 活動を経ての学び・気づき

### 発明クラブ・防災キャンプ

事前準備の段階で、普段の大学生生活では関わることのない交野市職員の方と、話し合いの中で、自分たちの意見を提案することができた。

プログラムやスケジュールを作成することで、「前に踏み出す力」や「考え抜く力」、「チームワークの大切さ」など社会人になるうえで大切なことが何か気付くことが出来た。

### 長尾高校

#### Plan(計画)

新入生同士が仲良くなれるようなプログラムを考える。

#### Do(実行)

実際に長尾高校に行き下見を行う。

#### Check(評価)

実際に行ってみて、問題がなかったかを確認する。

#### Action(改善)

問題に対しての改善点を挙げ他の案を考える。

→「新入生同士が仲良くなる」という目標を達成し活動を成功させることができた。

## 活動を経ての学び・気づき

### すさみ町ハガキプロジェクト

デジタル化が進んでいる世の中で、メールやメッセージではなく、**手書きのハガキを真心込めて書き送る**ことで、より気持ちが伝わるということ。

コロナウイルスを理由に行動しないのではなく、**コロナ禍で何ができるのかを考える**ことが大切であるということ。

すさみ地域の方々との関係を継続させる目的は、「**次の世代への橋渡しである**」ということを明確にしプロジェクトを進めることが出来たこと。



## 各自治体からの評価

### 交野市教育委員会青少年育成課

参加者の小学生にとって普段関わる機会の少ない大学生と関わり、組織として活動に取り組む大学生の姿を間近で見るとは貴重な経験となる。

参加者にとって新鮮で楽しい時間として印象づけている。

実際に、この事業に参加した方からは「非常に楽しかった」「**次の活動も参加したい**」とのお声をいただくことがある。

### 長尾高校

大学生と共に新入生をサポートする側を経験したことによって、自分が真摯に取り組むことが学校の雰囲気を変える一歩になり、**より良い学校作りに繋がる**ことを理解し始めた。

この活動を通して、人の繋がりを大切にすると同時に、**自分も人の前に立ってみたい**との気持ちが芽生えた。

## 各自治体からの評価

### すさみ町役場

交流手段として手紙を活用し、地域とのつながりを、**学生たちの創意工夫により継続することが出来た。**

地域住民からは「孫からの手紙のようで嬉しい」等の喜びの声も上がっており、地域の住民に元気を与え、**活力を生み出した素晴らしい活動であった。**

学生と手紙のやり取りをした住民は、高齢者の方が多く、流行りのオンラインでの交流は難しく、アナログな手紙であったがゆえに**気持ちも一緒に届いたのではないか**と思う。

## PBL活動のまとめ

- ▶ 普段の学生生活では、関わることのない人たちと一緒に活動することができ、**社会人基礎力・人間力・就業力を身に付けることができる。**
- ▶ それぞれの地域の問題や課題に対して、**大学生ならではの視点で、解決策を考える。**
- ▶ 外部の方々からも活動に対して**評価をいただき、また効果を実感していただいている。**

ご清聴いただきありがとうございました。



## ■追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ

活動テーマ	北摂地域の活性化・認知度向上
活動場所	北摂地域
連携先	北おおさか信用金庫、株式会社サイネックス
活動主体	追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ

### 1. 活動概要

本活動は、北摂地域の活性化を目的に、北おおさか信用金庫×追手門学院大学×株式会社サイネックスに北摂地域7市3町の行政が加わった産官学連携プロジェクトである。具体的には、SNS、紙、動画の三つの媒体に分かれ、北摂地域を活性化させるために北摂地域の魅力を紹介するプロジェクトである。SNSではInstagram、Twitter等を使い、北摂地域のお店やスポットを取材し、写真や動画を投稿している。

2021年度の活動は、第1に、ほくせつの魅力を発信するために「特産品」、「店舗」、「自然環境」、「寺社仏閣」など分かれて取材し、本活動のInstagramなどで発信する。第2に、北摂地域の飲食店を取材し、北おおさか信用金庫様のサイト「きたしんマッチングもーる」の中にある「ほくせつ食マッチング」に取材した店舗の情報や動画を掲載することである。

### 2. 年間計画

本活動の年間計画は以下のとおりである。今年度は緊急事態宣言などのため、変更がある。

- 4月 前期計画の策定、新しい参加者向けに活動説明など
- 5～7月 取材の実施・コンテンツの制作
- 8月 北おおさか信用金庫主催「北摂広域市町村産業振興連携会議」で活動報告
- 9～11月 取材の実施・コンテンツの制作
- 11月 北おおさか信用金庫主催「きたしんマッチングフェア」に出展
- 12～2月 取材の実施・コンテンツの制作
- 3月 北おおさか信用金庫主催「北摂広域市町村産業振興連携会議」で活動報告

### 3. 活動成果

- 2018年 北摂地域7市3町のリーフレットを作成し、北おおさか信用金庫などで配布した。
- 2019年 茨木市の「茨木活性化プロジェクト」で茨木市をPRするリーフレットを作成した。
- 2020年 Expo 観覧車合同会社と共同してExpocity（吹田市）内でイベント「」を実施し、「北摂ゆるキャラ総選挙」などに取り組んだ。

### 4. 地域からの評価

--

## 5. 参考 WEB サイト

HP : <https://hokusetsumpj.wixsite.com/mpj-1>

Twitter : <https://twitter.com/hampj2016>

Instagram : <https://www.instagram.com/hokusetu.university/>

## 6. 活動メンバー

経営学部 4 回生 : 阪東竜也、平野虎太郎、中安志華、長岡泰成、青山桃花、伊藤怜士、宮永 留伍  
経営学部 3 回生 : 栢原来未、藤田爽太郎、小湊拓真、上坊美優、三木友実、浜田梨乃、満生明日香、  
森本和真、石本達也、森本紗規子、中谷幸輝、城菜摘、山口笑希、播磨駿介、  
野島胡々、鈴木伸梧、李由衣、田里媛菓、林亮伍、伊藤大地、沖原 優衣

## 7. 担当教員

経営学部 准教授 宮崎 崇将

## 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	追手門学院大学	
所属先・職名	経営学部 経営学科 3 回生	
氏 名	田里 媛菓	
連絡先	電 話	072-641-9608
	メー ル	hokusetu.mp@gmail.com

## 9. 活動の様子



北摂広域市場村産業振興連絡会議



観覧車コラボ企画活動写真

# ほくせつ探検大学

～北摂エリアマッププロジェクト～

追手門学院大学 水野ゼミ 宮崎ゼミ  
2021年10月17日

 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネッス

1

## 主な取り組み

### 1. ほくせつ探検大学とは

**活動**：北摂7市3町を活性化させる地方創生プロジェクト  
2017年から活動を開始し、今期(2021年度)で6期目

**目的**：北摂地域の活性化  
北摂地域の魅力を多くの人に発信  
北摂地域への誘致

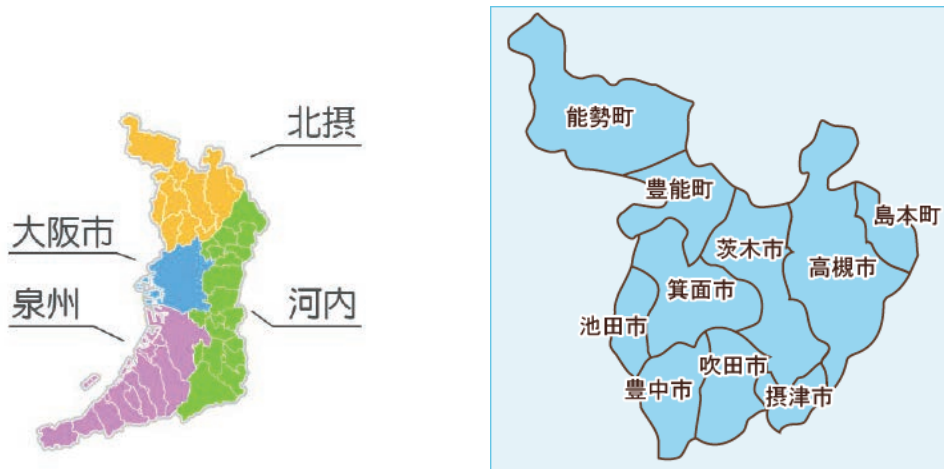


 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネッス

2



## ほくせつ探検大学の活動範囲



 北おおさか信用金庫 × 
  追手門学院大学 × 
  サイネックス

3

## 主な取り組み

北おおさか信用金庫、株式会社サイネックス、追手門学院大学、北摂7市3町の行政で構成される産官学連携プロジェクト



北おおさか信用金庫

活動費のご支援



サイネックス

プロレベルの技術提供



追手門学院大学

ほくせつ探検大学



行政

北摂地域に関する情報提供

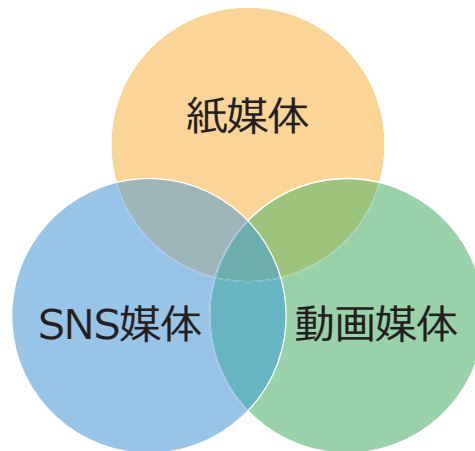
2020/9/9

 北おおさか信用金庫 × 
  追手門学院大学 × 
  サイネックス

4

## 主な取り組み

情報発信媒体について



 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

5

# SNS媒体

 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

6

## 取材に行ったお店を Instagramに投稿、 ストーリー更新



北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

7

## Instagramのフォロワー数 を増やすために行っている工夫

- 特集を作る
- 北摂地域に関する投稿にいいねを押す
- 週毎にフォロワー数を確認し、分析



北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

8

# 動画媒体

北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

9

大学生が動画に出演し  
北摂の魅力を紹介



北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

10



## 【動画】 取り組み

### IGTV (Instagram TV)

#### ○特徴

- 1分以上の動画を投稿できる
- Instagramアカウントから誰でも視聴可能
- 投稿内にリンク (URL) が貼れる



## 紙媒体

## 【紙媒体】 茨木市活性化プロジェクト

茨木市活性化プロジェクトとは…  
「いばらき・学生等連携事業」

茨木市の魅力を発信するプロジェクト

ほくせつ探検大学の経験を生かした  
学生ならではの目線からの魅力を発信



表面

北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

13

## 【紙媒体】 茨木市活性化プロジェクト

学生自ら茨木市内の飲食店や施設、  
観光地などの取材

観光地と飲食店を関連させて1日で  
巡ってもらえるような掲載店の選定



裏面

北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

14

## リーフレットの配布、動画の放映中！

北おおさか信用金庫  
本支店 合計65店舗



追手門学院大学  
総持寺キャンパス 食堂



 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

15

## リーフレットの配布、動画の放映中！

EXPOCITY 観覧車



 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

16

# きたしんマッチングもーる

北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

17

## ほくせつ探検食マッチング

コロナ禍の影響を特に受けている  
飲食店の支援を目的に、  
ほくせつ探検大学メンバーが取材した  
北摂地域の飲食店の情報を掲載



北おおさか信用金庫 × 追手門学院大学 × サイネックス

18



## ほくせつ探検食マッチング 掲載店舗リスト(一部)

店舗名	場所(市町)	業種	動画	動画URL
野乃鳥 茨木椿之本陣	茨木	居酒屋	有	<a href="https://youtu.be/YMbN7Kf0K3E">https://youtu.be/YMbN7Kf0K3E</a>
祥 (カレーうどん)	茨木	うどん	有	<a href="https://youtu.be/pUu5oumyOtc">https://youtu.be/pUu5oumyOtc</a>
エナジーガーデン	茨木	ドリンク	有	<a href="https://youtu.be/u9v2kzpzGBo">https://youtu.be/u9v2kzpzGBo</a>
カルマ	茨木	イタリアン		
ぶいえいと	茨木	カフェ		
パティスリーほんだ	高槻	ケーキ		
Sakura's Café	高槻	カフェ		
un+	高槻	焼き菓子		
デンスケ食堂	摂津	レストラン		
GEORGE BAGEL	箕面	ベーグル		
CADENCE	豊中	ハンバーガー		
ライスミールスフォータン	豊中	和食		
ハルカフェ	島本	カフェ	有	<a href="https://youtu.be/Z5cLtmqV3E">https://youtu.be/Z5cLtmqV3E</a>
喫茶 離	島本	カフェ		

 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サインックス

19

## ほくせつ探検食マッチング掲載内容

### お店の紹介 (400字以内)

- 実際に行ってみて感じたこと
- 頼んだ料理の味の感想と値段
- お店の詳細

### 写真3枚

- 外観
- 内装
- 料理

### 動画

(許可が下りた店のみ)

- 入店時
- 食べているところ
- メニュー

 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サインックス

20



 北おおさか信用金庫 × 
  追手門学院大学 × 
  サイネックス

21

## オリジナルマスクケースの作成



 北おおさか信用金庫 × 
  追手門学院大学 × 
  サイネックス

22

## マスクケースの目的

- ・お店に来たお客様に使用していただく
- ・きたしんマッチングもーるとほくせつ探検大学InstagramのQRコードを掲載しお客様に認知

## 現状の成果

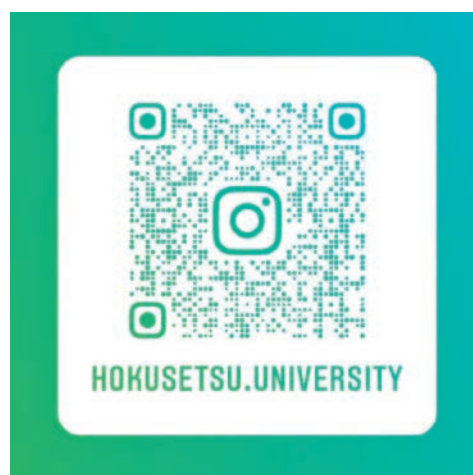
- ・掲載協力店舗 約40店舗
- ・マスクケースの配布枚数 約8600枚

 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

23

## ご清聴ありがとうございました

Instagramフォローお願いします！！



 北おおさか信用金庫 ×  追手門学院大学 ×  サイネックス

24

## ■学生舞洲プロジェクト

活動テーマ	舞洲の魅力発信・知名度向上を目指したプロジェクト
活動場所	大阪市此花区 舞洲
連携先	学生舞洲プロジェクト
活動主体	学生舞洲プロジェクト

### 1. 活動概要

私たちは、「常に一歩先へ～関わる人を「笑顔」にするために」という理念を掲げ、2017年から活動している学生団体です。活動内容といたしましては、大阪市にある舞洲を盛り上げるため、学生ならではの視点からイベントの立案・運営を行っております。私たちがフィールドとする舞洲には大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪といったプロスポーツチームの活動拠点があることから「スポーツの島」とも呼ばれているため、スポーツの要素も積極的に取り入れながら舞洲の魅力発信、引いては来島者増加を目指し様々な活動を行っております。さらに、そうした活動を通じて大阪市やプロスポーツチームの関係者方など多くの社会人と交流することができるため、ボランティアとしてのスキルだけでなく社会に出て即戦力となるようなスキルも身に着けられています。

### 2. 年間計画

- 6月27日 おこしセミナーの開催  
オリックス・バファローズの洞井様を講師にお迎えし、スポーツビジネスに関するお話を聞いた後、参加者でグループワークを行い、大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪の3チームのファン感謝イベントを企画。3チームの社員の方々に講評をいただいた。
- 8月1日～9月30日 謎解きイベント第2弾開催  
謎解きイベントの第二弾を開催。緊急事態宣言の発出を踏まえ、現地問題と自宅問題をご用意し、第1弾を上回る方の参加を目指す。
- 5月～ データ分析プロジェクト  
7月23日、8月15日、9月11日の3日程において舞洲内外の球場でアンケート調査を実施。集められた結果をもとに新イベントに提案を目指す。

### 3. 活動成果

2019年度実施の舞洲アクセス改善プロジェクトでは、大阪エヴェッサの試合でのアンケートとフィールド調査を行った。予想を超えてアクセスに関する不満が大変多く、解消できればより舞洲に来やすくなることが数値をもって明らかにできた。

2020年度に実施の舞洲PR動画プロジェクトでは、我々が撮影・編集・公開を行うことで、学生目線での舞洲の魅力を多くの人に発信できたとともに様々な舞洲施設の関係者方とつながりを持てた。

2020年度よりスタートした舞洲謎解きイベントでは、1から企画運営を行う経験を得た。3カ年計画として、前年度を超える内容での実施を行い、本イベント全体を通じた舞洲の魅力発信や舞洲へのリピーター増加を目指す。

2020年度に舞洲プロジェクト内の新たな人材育成事業「おこし」の立ち上げに参加。キックオフイベントでは100名近くご参加いただき、GMPの認知度向上も実現。今後も継続的なイベント開催での協力を目指す。

#### 4. 地域からの評価

謎解きイベントでは、舞洲の様々な施設の方から舞洲をPRしたいという我々の活動に賛同していただくことができ、景品の提供だけでなく、宣伝ポスターの設置などにもご協力していただきました。ホテルロジ舞洲などいくつかの施設はSNS等での発信にもご協力いただきました。

また舞洲のPR動画撮影の際には、舞洲のBBQ場やアスレチック施設、プロチームの施設など様々な場所で撮影を行わせていただきました。多くの方々が撮影に快く協力して下さり、出演までしていただいたこともあった。動画の公開後には、各施設の方々や大阪市、プロチームの方々に動画の完成度を褒めていただき、PR動画としての効果も期待できるとのお声をいただきました。

さらに、「エッサヤー」と呼ばれる大阪市立大学と大阪市立大学教育後援会が連携して、学生の自主的な活動を応援する事業で、我々の活動の地域活性化への貢献が認められ、活動予算の支援をしていただいている。

#### 5. 参考WEBサイト

<https://maishima.osaka/okoshi/>  
<https://pando.life/maishima-shima>

#### 6. 活動メンバー

大阪市立大学	商学部公共経済学科 3年	田淵真羽
大阪市立大学	経済学部経済学科 3年	森島康太
大阪市立大学	生活科学部人間福祉学科 3年	湯原歩乃美
同志社大学	経済学部経済学科 3年	鈴木粹
大阪国際大学	人間科学部人間健康科学科 4年	藤原隆弥
武庫川女子大学	生活環境学部食物栄養学科 4年	森長彩夏
大阪成蹊大学	スポーツマネジメント学部 3年	鳥谷亮太
大阪成蹊大学	経営学部 3年	浜辺雄大
同志社大学	スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 3年	今西英理佳
びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツ学部 3年	塩貝溪大
大阪大学	外国語学部 2年	小山実玲菜

#### 7. 担当教員

舞洲プロジェクト 人材育成事業担当  
株式会社立成社  
代表取締役 上原光徳

#### 8. 本活動に関する連絡先

大学名	大阪市立大学	
所属先・職名	経済学部経済学科 3年	
氏名	森島康太	
連絡先	電話	
	メール	<a href="mailto:gakusei.maishima@gmail.com">gakusei.maishima@gmail.com</a>



# 学生舞洲プロジェクト とは

2021年10月17日(日)  
学生舞洲プロジェクト

## GMPとは

GMP 学生舞洲プロジェクト 2

### 理念

常に一步先へ  
～関わる人を「笑顔」にする為に～

### 行動指針

- ・ やってみる精神を持つ
- ・ 想いやアイデアを実現させる
- ・ 個々の社会に出る力をつける

## 舞洲の現状



3球団(オリックス・セレッソ・エヴェッサ)  
が本拠地を置いている

レジャー施設がたくさんある  
(ホテル、BBQ、グランピング…)



学生の認知度が低い

アクセスしにくい

## 舞洲の現状



# 舞洲の現状 ○



# 舞洲の現状 △





## 課題

① 舞洲の認知度向上

② GMPの規模拡大

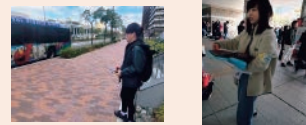


## 活動実績

2017年度  
陸上教室でのボランティア活動

2018年度  
小学生対象のスポーツキャンプ開催

2019年度  
アクセス改善プロジェクト(調査)



2020年度  
謎解き(2回)

以下の文字列はある規則性に従って並んでいる  
?に入るアルファベット1文字を答えよ。

S K T K ? D T K

おこし



舞洲PR動画撮影



## 今年度の活動

### 謎解き

昨年の経験をもとに  
パワーアップした  
謎解きイベントを制作！

### おこし

スポーツ業界の魅力を  
伝えるイベントや  
スポーツ体験イベント  
等を制作！

### データ分析

オリックス・バファローズ  
の試合を調査・分析  
↓  
舞洲の球場で  
集客イベント開催！

## 謎解き

### 〈目的〉

近年人気急上昇中の「**謎解き**」を通して  
舞洲の **魅力発信** と **知名度向上** を目指す

### 〈特徴〉

問題、景品、コースに **舞洲のアピールポイント**  
が盛り込まれている





# 謎解き

## 3カ年計画で実施

2020年度

問題、システム作成  
→イベント開催

2021年度

昨年度の反省点  
→改善  
→2倍の集客を目指す

2022年度

今年度の結果を踏まえ、  
更なるイベント内容の発展・  
集客を目指す

## 〈昨年度の反省と今年度の特徴〉

- ①想定外の緊急事態宣言  
→現地問題と**自宅問題**の2つを用意
- ②ターゲット変更  
→内容を**スポーツ**に特化し、ターゲットを舞洲に拠点を持つ「**プロチームファン**」に設定
- ③問題の質向上  
→**関西の謎解きサークル**に問題作成を依頼

# おこし

## 「ファンイベント企画会議！プロチームに採用されるかも!?!」

日時 : 2021年6月27日(日) 14:00~16:45

場所 : Zoom

対象者 : スポーツビジネスに興味のある学生

内容 :

### 第一部 洞井様による講義

オリックス・バファローズ事業企画部の洞井様による、  
プロスポーツチームでのイベント企画や実施に関する質疑応答形式でのセミナー

### 第二部 参加者によるグループワーク

オリックス・バファローズ、大阪エヴェッサ、セレッソ大阪の3チーム合同ファン感謝祭でのイベント企画を  
グループで取り組み、発表し、審査員が優秀賞を決定する

## おこし

### 〈目的〉

よりスポーツ業界を知ってもらいたい

×

LIVE感を演出したい

↓

「グループワーク」形式を用いたイベントを開催  
スポーツ業界の「企画職」をグループワークを  
通じて知ってもらう

## おこし

### 〈成果〉

11名の学生が参加し、

第二部のグループワークでは3グループに分かれてイベントを企画

### 優秀賞「ファンからの挑戦状」

内容：

3チームの選手でドリームチームを

結成。ファンと様々な競技で対決。

会場だけでなくオンラインでの開催も。

発表の様子⇒



## データ分析

### 〈目的〉

舞洲の オセアンバファローズスタジアム舞洲  
大阪シティ信用金庫スタジアム  
の観客数増加を目指す。



そのために…

オセアンバファローズスタジアム舞洲  
ほっともっとフィールド神戸  
(外部との比較)  
の2スタジアムで調査を行った。

## データ分析

### 〈概要〉

- ・ 場所 …オセアンバファローズスタジアム舞洲  
ほっともっとフィールド神戸
- ・ 調査方法…QRコード読み取り  
→Googleフォームでアンケート回答  
(新型コロナウイルスの影響のため)



観客の方々の興味・関心を分析  
オリックス・バッファローズに対し新イベントの提案を  
目指す。

## GMPの目指す先

2021年度～

**3つのプロジェクト始動**

**舞洲の魅力の発信・知名度向上**

**新規来島者増加**

**舞洲がより良い場所になる  
舞洲の魅力をより多くの人に伝える**

## GMPの魅力

**学生主体で  
企画・運営できる！**

**社会にでるスキル  
を身につけられる！**

## GMPの魅力

**学生主体で  
企画・運営できる！**

思いついたプロジェクトを  
実現できる！

Ex.アクセス改善、謎解き、舞洲PR動画...

## GMPの魅力

大人の方々からスキルを  
教えてもらえる！

Ex.企画書作成、社会人との交渉、宣伝、  
予算管理...

**社会に必要なスキル  
を身につけられる！**



ご清聴ありがとうございました！

学生舞洲プロジェクト



## ■大阪成蹊大学公共政策コース地域研究グループ

活動テーマ	地方創生に向けた川西市への政策提案プロジェクト
活動場所	兵庫県川西市
連携先	川西市
活動主体	大阪成蹊大学公共政策コース地域研究グループ

### 1. 活動概要

兵庫県川西市は、人口減少や高齢化、空き家の増加など活性化に向けた取り組みが必要とされている。本活動では、関連データの収集・整理や市職員に対してヒアリングをするとともに、市内を視察するなど当市の現状の把握を行うとともに、他地域の先進事例等を参考にして課題解決のための政策アイデアをリストアップし、優先度の高い政策アイデア（①まちの顔づくり、②新しいワークスタイルの実現、③市内空き家のとことん活用、④若者を惹きつけるPBL学園都市の実現、⑤豊かな自然を活かしたセラピー都市の実現）をリーディングプロジェクトと位置づけ、提案としてまとめた。新しいワークスタイルの実現など「Withコロナ、Afterコロナ」時代に必要な取り組みも含めた。最後に、少しでも政策アイデアの実現に近づけるため、政策実施の最高責任者である川西市長に対して直接、提案を行った。

### 2. 年間計画

2020年7月 活動開始、情報収集など  
2020年8月 川西市役所訪問・市職員へのヒアリング、市内視察、情報収集など  
2020年9月 提案資料の作成作業  
2020年10月 同上  
2020年11月 川西市長への政策提案

### 3. 活動成果

政策提案を行うためには、さまざまな情報やデータを収集し、整理・分析を行ったうえでわかりやすい発表資料の作成やプレゼンが必要となるため、準備プロセスの中で関連スキルの向上を図ることができた。  
また、市職員等とも議論をしながら実際に地域課題の解決につながる政策提案を作成することができた。

### 4. 地域からの評価

政策提案を受けて越田川西市長から、「Withコロナ時代に対応した新たな政策アイデアをいただいた。市として取り組むべきと考えている政策も多く参考としたい。今後、政策のターゲットの深掘りや実現可能性を高めるために何が必要なのか等を考えてもらうなど、本市とのつながりも調査・研究を通じて深めてほしい。」とコメントをいただいた。

## 5. 参考 WEB サイト

<https://univ.osaka-seikei.jp/news/1017>

## 6. 活動メンバー

経営学部 4 年 水口拓人  
2 年 喜多村航己、落合琉、黒川将吾、奈須恵美里、西村香穂、橋本夏澄、林田健太郎

## 7. 担当教員

経営学部 教授 大島博文

## 8. 本活動に関する連絡先

大 学 名	大阪成蹊大学	
所属先・職名	経営学部 教授	
氏 名	大島 博文	
連絡先	電 話	06-6829-2633
	メー ル	oshima@osaka-seikei.ac.jp



## かわにし幸上(こうじょう)プラン ～日本一市民が幸せなまちを目指して～



大阪成蹊大学経営学部 地域研究グループ

1

## 川西市はどんなまち

兵庫県南東部の「阪神地区」にある15.8万人の街。大阪・神戸等からアクセスがよく「住宅都市」として発展。

※大阪成蹊大学と、地域社会の発展を共に考えるため「包括連携協定」を締結

川西市の位置



川西市へのアクセス



2

# 川西市の特徴

北部は山岳の起伏が多い自然が広がり、中部は清和源氏発祥の地として史跡が点在する中、丘陵地には住宅地が形成されている。また、平坦な南部には中心市街地が広がっている。市南部ではいちじくや桃、北部の山林では栗の栽培が盛んで、川西市を代表する特産品となっている。

国内いちじくの大部分を占める柵井ドーフィン種の発祥の地

源満仲像 (多田源氏の祖)

他地域より一月早く収穫できる早生(わせ)桃

黒川ケーブル

多田神社

川西能勢口駅

3

# 川西市の現状・課題(1)～人口減少・高齢化

人口は減少傾向にあり、今後も減少が見込まれる。  
ファミリー世帯は流入しているが相対的に高齢化が進んでいる。



4

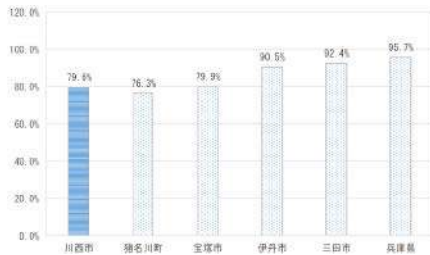


## 川西市の現状・課題(2)～市外で働く人が多い

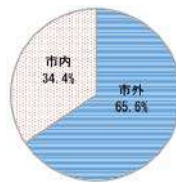
大阪市など他都市への通勤者が多く、昼夜間人口比率が低い。共働き世帯が増え、女性の就業者が増加している。(他自治体へ通勤する女性の就業者も増加している。)



昼夜間人口比率(自治体間比較)

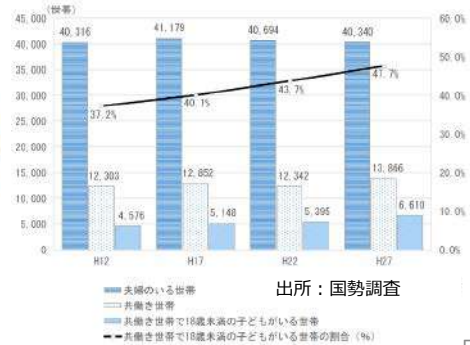


川西市内在住者の就業場所比率



出所: 国勢調査

共働き世帯の推移



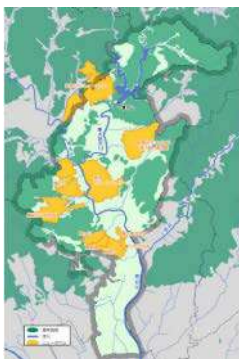
出所: 国勢調査

5

## 川西市の現状・課題(3)～団地の老朽化・空き家の増加

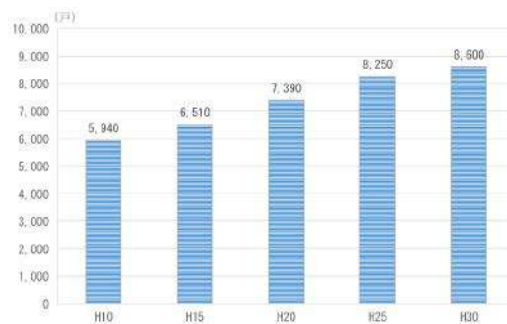
1970年代から造成されてきた開発団地(ニュータウン)が多数存在し、一部は老朽化している。また、団地やその他の地域において空き家が増加している。

川西市内のニュータウン



ニュータウン名 開発事業者	住所表示	開発面積 (㎡)	竣工 開始年
夢田グリーンハイツ (株) 西洋環境開発	緑台 南陽台 大畑	239.0	1942
第1期、第2期 阪急北千里ニュータウン 大畑団地(株)	大畑西 大畑東	169.0	1943
第3期 阪急北千里ニュータウン (株) 住友物産	大畑東	12.8	1956
南約台 南約不動産(株)	南約台西 南約台東	172.3	1945
南約台 南約不動産(株)	南約	20.2	1947
緑台 南約不動産(株)	南約台西 南約台東	49.0	1947
勝ヶ丘 フジエス(株)	勝ヶ丘	42.0	1948
南約台団地 南約不動産(株) 三豊地産(株)	南約	12.8	1956
阪急北千里ニュータウン 日本生命保険相互会社	南約台 丸山台	115.8	1960
南約台団地 (株) 三井物産	南約台	131.1	1959
南約台 南約不動産(株)	南約台	22.8	1942

川西市内の空き家数の推移

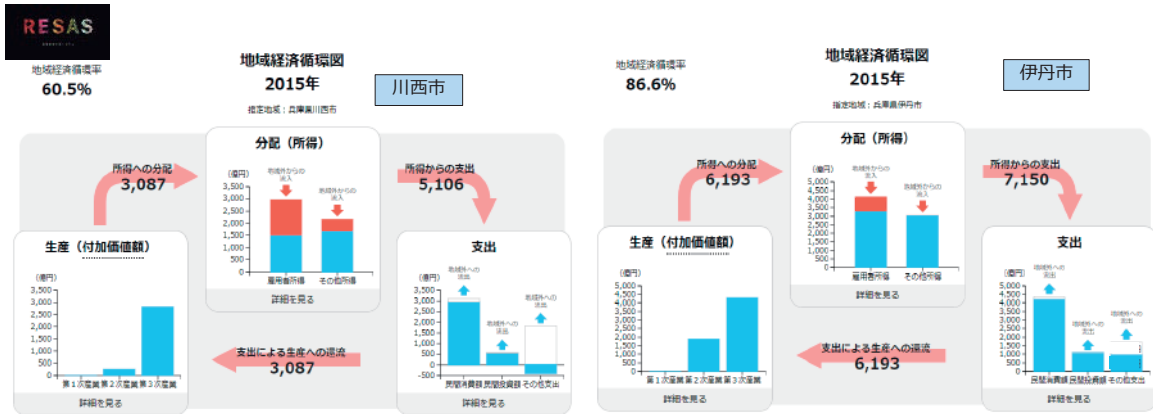


出所: 住宅土地統計調査

6

# 川西市の現状・課題(4)～地域経済自立度が低い

隣接する伊丹市と比較すると、地域経済の自立度を測る「地域経済循環率(生産額÷分配所得)」が低い。



7

# 川西市の現状・課題(5)～財政状況が厳しい

<b>一般会計決算 (H29年度)</b>	<b>歳入</b> 約563億円	<b>歳出</b> 約560億円
<b>財政状況</b>	<p>&lt;ポイント&gt; このうち市税の内訳 199億円 ... <b>個人市民税 46%</b> 固定資産税 37% その他 17%</p> <p><b>個人市民税が市税収入全体の約半分</b></p>	<p>&lt;ポイント&gt; 民生費: 高齢者福祉や子育て支援、生活保護など 総務費: 文化・スポーツ振興や選挙、市税賦課徴収など 教育費: 小・中学校教育や生涯学習、文化財など</p> <p><b>増</b></p>
<b>経常収支比率</b>	比率が高いほど、財政運営の自由度が低いと言える。 <b>臨時的に投資できる資金が少ない。</b>	<b>川西市 97.7%</b> 県内の市平均 95.6%
<b>基金</b>	市の貯金に当たる基金残高。お金が不足したり、災害時に備えて積み立て。	<b>川西市 約35億円</b> <b>兵庫県内市町の中でも厳しい状況</b>

8

# 市の「顔」を求める意見～かわにし市民会議報告より

隣接する宝塚市には「宝塚歌劇場」、池田市には「安藤百福発明記念館(カップヌードルミュージアム)」、伊丹市には「大阪国際空港」など全国的にも著名な施設があるが、川西市には「川西市と言えば○○」という市民が他地域へ誇りを込めてアピールする施設がないことがイメージの弱さにつながっている。

## かわにし市民会議での市民の意見

「川西市の象徴」をつくることで市への愛着や誇りをこれまで以上に持てる。

「宝塚市の隣り」ではなく「川西といえば○○」といった川西市の象徴をつくり、市内・市外へ魅力を伝えていく。

(かわにし市民会議からの提案より抜粋)



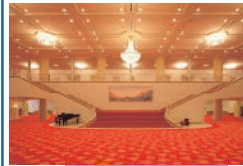
目立ちにくい

## 周辺都市はキャラが強烈！



安藤百福発明記念館

出所：安藤百福発明記念館



宝塚歌劇場

出所：宝塚国際観光協会



大阪国際空港(伊丹空港)

出所：大阪航空局

# 川西市の取り組み(1)～市ヒアリングより

団地再生  
→空き家有効活用

【空き家活用リフォーム助成】  
【親元近居助成制度】 など



中心市街地活性化  
→まちの顔づくり

【中心市街地の活性化】  
キセラ川西地区回遊性向上 など



女性起業支援  
→市内雇用の創出

【女性が起業しやすい環境創出】  
川西女性起業塾の実施 など



## 川西市の取り組み(2)～市ヒアリングより

### 子育て・教育→ファミリー世帯の支援

【相談支援施設の整備】【認定こども園の整備】  
【教育指導へのICT活用】など



こども・若者ステーション



加茂こども園

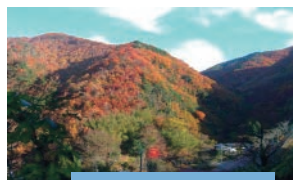


タブレットを使用し、  
部活動を支援

協力:ソフトバンク(株)

### 地域資源の発掘・活用→まちの魅力PR

【『日本一の里山』黒川での活動支援】  
【源氏まつりを通じたまちのPR】  
【三ツ矢サイダーを活用したまちPR】など



黒川地区の里山



川西市発祥の  
三ツ矢サイダー

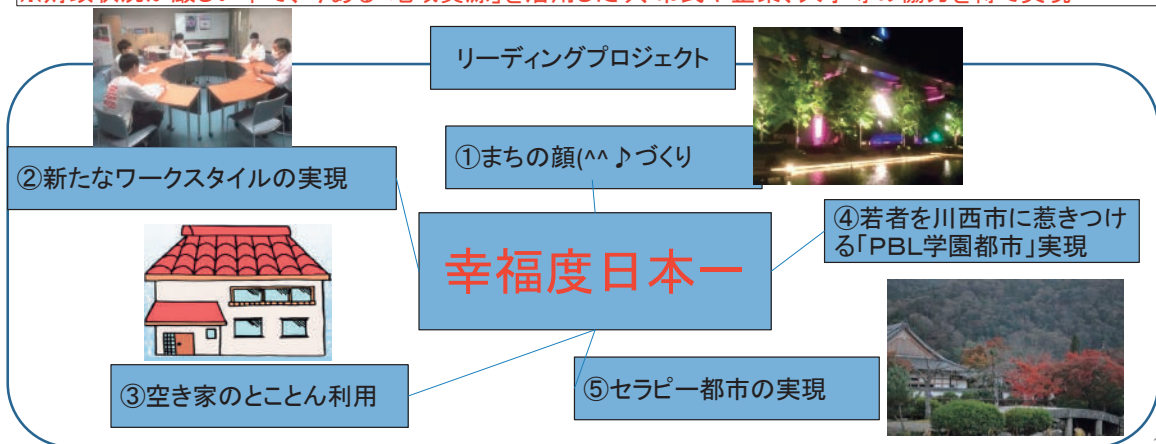


源氏まつり

11

## 政策アイデア～かわにし幸上(こうじょう)プラン

かわにし新時代に向けた5つのリーディングプロジェクトを展開し、市民の幸福度が日本一高いまちを目指す。  
※財政状況が厳しい中で、今ある「地域資源」を活用したり、市民や企業、大学等の協力を得て実現



12

## アイデア1 まちの「顔(^\_^♪)」づくり

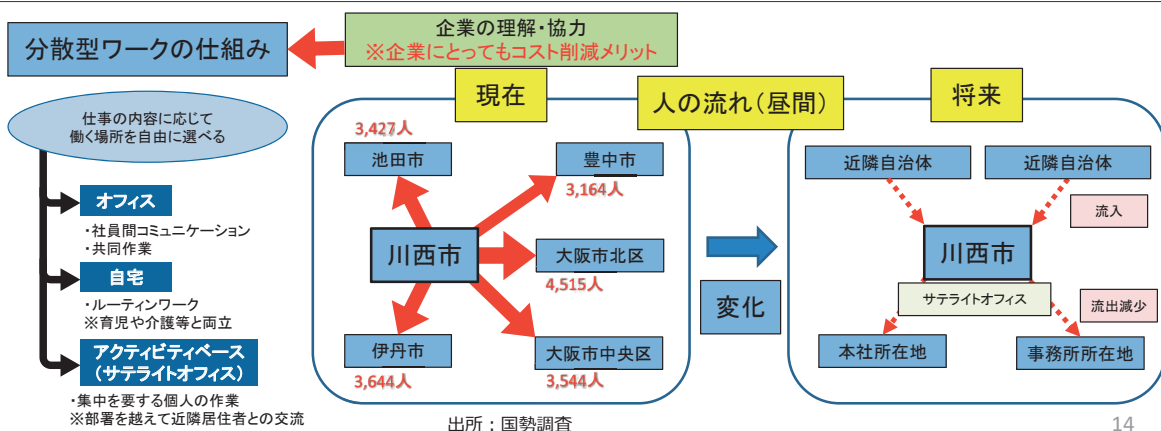
市街地の中心にある市のランドマーク「アステ川西」を、市内外から人が集まる「まちの顔(^\_^♪)」と位置づけ、低利用となっている「屋上部分」について、①ライトアップ、②エドヒガン(桜)やイチジク畑等の植栽、③特徴ある遊具の設置、④イチジクなど市特産品を使ったスイーツ売り場、⑤歴史を紹介する小ミュージアムを整備し、ここに行けば川西市の魅力をすべて理解できたり四季の風情やグルメを味わえる象徴的なスポットとする。また、アステホールで週末ごとに地元出身者等の協力を得てシンボルイベントを開催する。



13

## アイデア2 新しいワークスタイル(ABW)の実現

Withコロナ時代に急激に広がりつつある、オフィスでもない自宅でもない「第3の働く場所」で働く「アクティビティ・ベースド・ワーキング(ABW)」が可能となるサテライトオフィスを中心市街地にあるビルの空きスペース等を活用して整備し、現在は市外に働きに行っている人が、企業の協力・理解を得て、自宅に近い市内で働けるようにする。

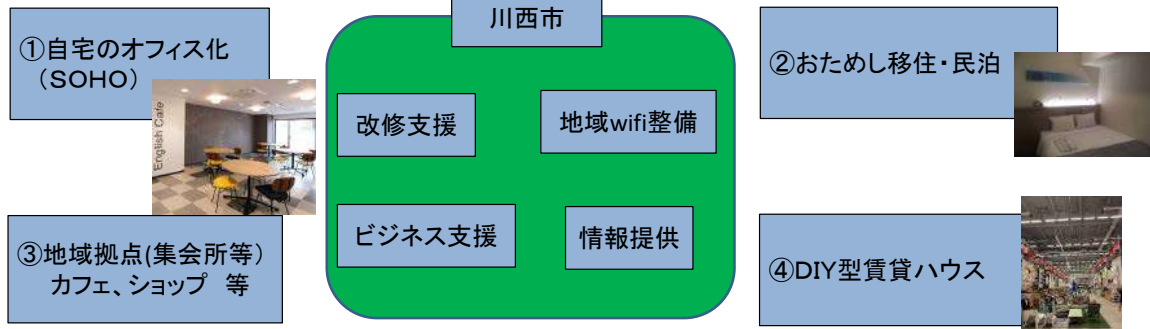


14



## アイデア3 市内空き家のとことん活用(Withコロナ時代)

川西市内で増加している**空き家をとことん活用**する。①Withコロナ時代にニーズが高まっている「**自宅のオフィス化**」を確保した新タイプの住宅への改修支援を進めるとともに、「**地域Wifi**」を構築してテレワーク支援環境を整備する。また、②Withコロナ時代に東京圏からの人口流出傾向がある中で、川西市出身者でUターンを考えている世帯を対象に「**おためし移住・民泊**」として活用するとともに、③**地域拠点**や**カフェ**など住宅以外の転活用の支援を行う。また、④Withコロナ時代に通勤等の利便性選好から居住性選好に変化する中で、自分が使いやすいように「**改装・改築フリー**」とする新しいタイプの賃貸住宅「**DIY型賃貸ハウス**」が普及するよう支援制度を創設する。



15

## アイデア4 若者を惹きつける「PBL学園都市」実現

関西圏を中心に、PBL(課題解決型学修)を重視する大学など教育機関と川西市が連携して**コンソーシアム**を立ち上げ、市内全域をステージとして、地域問題を解決するために学修する**PBL学修(課題解決型学修)**を展開する。中央会場として、アステ川西ホールで市民等も参加できるオープン型の講義、セミナー、シンポジウム等を開催(**まちなか大学**)するとともに、空き家等を活用して、個別テーマごとのゼミ、ワークショップ等を開催(**地域寺小屋**)する。まちなか大学や地域寺小屋は若者主体で運営し、自分たちの思いのこもった「**地域課題を解決する理想の市**」として、他地域からの移住も促進する。



16

## アイデア5 豊かな自然を活かした「セラピー都市」を目指す！

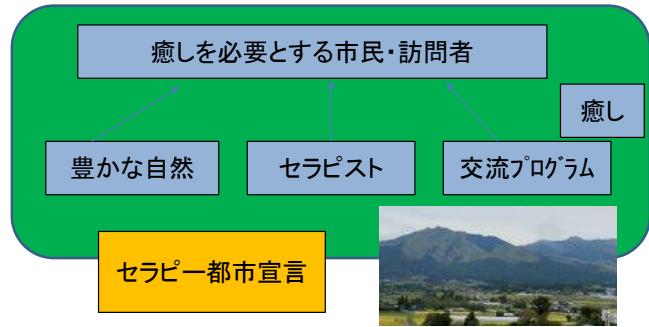
大都市近郊の豊かな自然を活用して、多忙な日常で癒しを必要とする都市部の住民が川西市を訪れることで心安らぐ「セラピー都市宣言」を行う。

セラピー都市として機能するため、①市北部キャンプ場等を活用した「セラピー拠点」の整備、②セラピストの育成、③都市部の住民と農村部に住む住民の収穫体験やスイーツづくりなど交流プログラムを開発する。

市民・訪問者に精神的な幸せを！



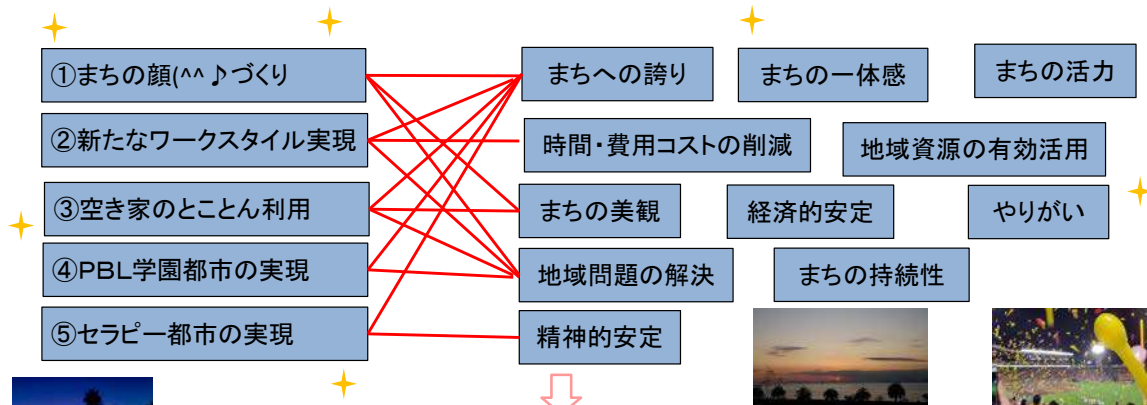
豊かな自然に恵まれた北部地区



17

## 期待される効果

5つのリーディングプロジェクトにより、川西市民は重層的に多くのメリットを得て、幸福度が高まる。



市民の幸福度が高まる(日本一)

18

## 想定される課題

5つのリーディングプロジェクトを実現するためには、事業に必要な①体制、②施設、③資金が必要であるとともに、④事業主体となる共同体の設立や目的を共有化する⑤「共同憲章」の制定が必要である。

①体制(ヒト):市民、企業、行政、大学等の人々がそれぞれ担い手になる

※「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」構成機関が母体となる。



②施設(モノ):建物・土地等の資産、ノウハウ等が協力的に提供される必要がある。

※公共施設や企業の遊休施設などを積極的に提供し合う。

③資金(カネ):企業も含めコストを応分に負担する仕組みをつくる。(収入の増大も図る)

④事業共同体の設立

※例:かわにし幸福創生株式会社

⑤共同憲章の制定

※例:かわにし幸福日本一宣言



19

## ご協力いただきありがとうございました！

- 川西市 総合政策部 政策創造課 様
- ソフトバンク株式会社 CSR推進部 様



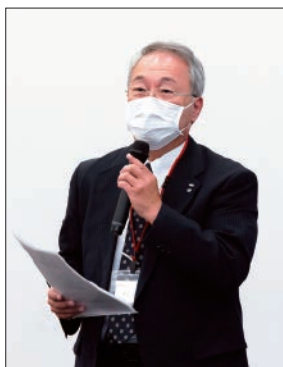
市民幸福度  
日本一宣言



大阪成蹊大学経営学部 地域研究グループ  
水口・喜多村・落合・黒川・奈須・西村・橋本・林田

20

## 当日の様子

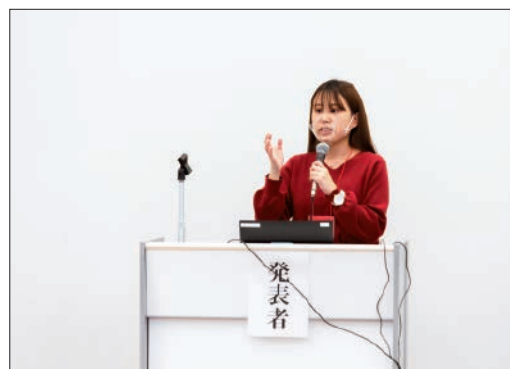


開会挨拶



講評

### 【発表】



全体の様子



質疑応答



【交流会の様子】



漢字一文字企画 みんなで記念写真



全体記念写真



## 学生企画運営メンバー 活動の様子

### 活動スケジュール (実績)

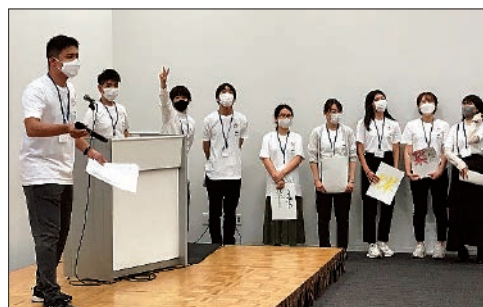
回	開催日	検討内容等
第1回	5月18日	キックオフミーティング
第2回	6月7日	プレストミーティング
第3回	6月15日	テーマおよび今後の運営方針を検討
第4回	6月22日	チーム分け
第5回	8月30日	事前交流会の企画 検討
第6回	9月30日	当日の企画 検討
第7回	10月10日	当日の役割分担

- ・全体の活動のみ記載
- ・全ての活動はオンラインにて実施

### 学生企画運営メンバー (6大学9名)

氏名	大学名	学年
鈴木 登晟	大阪大学	2年生
勝沼 結理	大阪教育大学	3年生
川原 早貴	大阪教育大学	4年生
高野 杏華	大阪教育大学	2年生
山根 愛世	大阪教育大学	1年生
西本 百花	追手門学院大学	3年生
森岡 大成	大阪商業大学	4年生
井上 温子	近畿大学	3年生
和田 一真	摂南大学	1年生

(大学名五十音順)



### 1回以上参加したメンバー

氏名	大学名	学年
上野 峻太	大阪教育大学 大学院	M1
橋本 琴奈	大阪教育大学	3年生
松尾 早彩	大阪教育大学 大学院	M1
木村 陽実	四天王寺大学	2年生

## 活動の様子

<p>キックオフミーティング（第1回）</p> 	<p>企画運営メンバーの初顔合わせ。 Zoomによるオンラインにて開催しました。 自己紹介シートを使って、まずお互いを知り合うことからスタートしました。 学生フォーラム当日までのスケジュールを確認しながら、今後の方向性について情報を共有しました。</p>
<p>フォーラムオリジナルロゴ</p> 	<p>今年のテーマは、「繋がる・広がる・変化する～コロナを原動力に前進していく地域～」に決定！ コロナを前向きにとらえて未来に向かって前進していこう、という意味を込めました。 テーマをイメージして、フォーラムオリジナルロゴも作成しました。手で繋がり、渦で広がりと変化を表現しました。</p> <p>広報チームと企画チームに分かれて、広報手法・事前交流会の内容、フォーラム当日の進行等について、ミーティングを重ね、事前交流会とフォーラム当日の企画検討を進めました。</p>
<p>事前交流会（10月10日）</p> 	<p>学生発表者が、フォーラム当日をスムーズに迎えられるよう、事前交流会を開催しました。 Zoomによるオンライン開催は地域連携学生フォーラムとしては初の試み！ フォーラムの発表順のくじ引きや、ブレイクアウトルームに分かれての自己紹介、またitoゲームやさかさま伝言ゲームなどを上手に活用してオンラインでも楽しく盛り上がりました。当日の発表を控えた発表者の緊張感もほぐれたのではないのでしょうか♪</p>
<p>フォーラム当日（10月17日）</p> 	<p>学生フォーラム当日を迎えました。 今年度の発表団体は13団体！ フォーラムでは学生による発表をはじめ、それを受けた参加者間による質疑応答の時間を設け、お互いの活動に対する理解を深める貴重な機会となりました。</p> <p>また、発表後には学生企画運営メンバーが企画発案した名刺交換会やクイズ大会、漢字一文字企画を行い、発表者同士の交流を深めました。</p>

## 学生企画運営メンバー 当日の活躍ぶり



司会



受付



企画



会場案内



発表者誘導



タイムキーパー



スライド投影



メンバー 9名

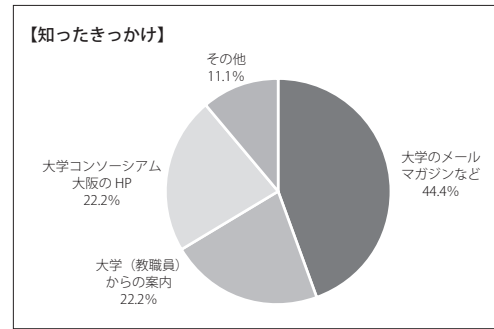
# 学生企画運営メンバー アンケート集計

## 1. 企画運営メンバー募集を知ったきっかけ

1. 大学のメールマガジンなど	4
2. 大学（教職員）からの案内	2
3. 友人知人からの紹介で	0
4. 大学コンソーシアム大阪のチラシ	0
5. 大学コンソーシアム大阪のHP	2
6. その他	1

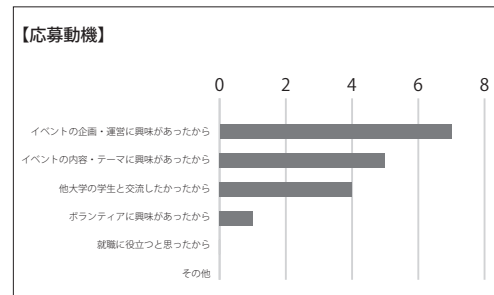
### 【その他】

- ・Twitter



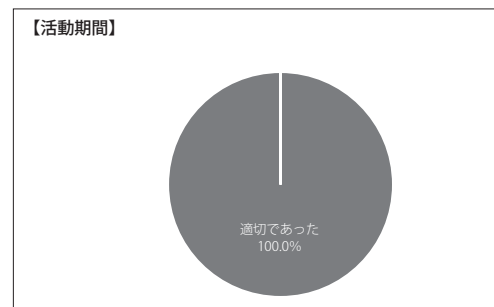
## 2. 企画運営メンバーに応募しようと思った動機（複数選択可）

1. イベントの企画・運営に興味があったから	7
2. イベントの内容・テーマに興味があったから	5
3. 他大学の学生と交流したかったから	4
4. ボランティアに興味があったから	1
5. 就職に役立つと思ったから	0
6. その他	0



## 3. 活動期間について

1. 適切であった	9
2. 適切でなかった	0
3. どちらとも言えない	0



## 4. 活動頻度について

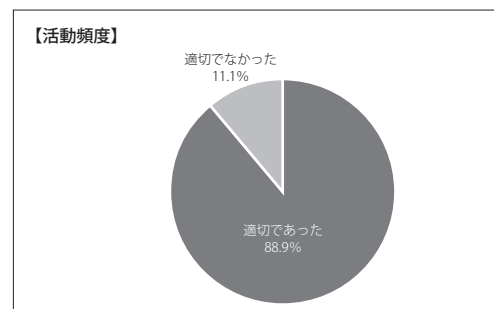
1. 適切であった	8
2. 適切でなかった	1
3. どちらとも言えない	0

⇒その理由《適切であった》

- ・特に苦になる頻度ではなかったから。

⇒その理由《適切でなかった》

- ・最初はミーティングが多かったが、次第に少なくなっていました。なので、全体会議は月一で行った方がいいと思いました。





## 5. 活動を通じた自身の満足度

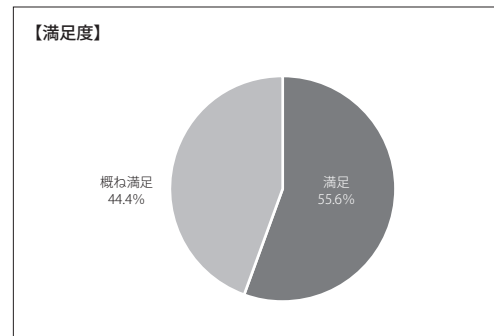
1. 満足	5
2. 概ね満足	4
3. 普通	0
4. 概ね普通	0
5. 不満	0

⇒その理由《満足》

- ・助け合い助けられながら運営という重要な任務を果たすことができたから。
- ・学外の人と関わることで自分自身がとても刺激を受けた。
- ・成長する機会となり、とても充実した期間でした。
- ・自分のやりたいことに挑戦できたから。

⇒その理由《概ね満足》

- ・楽しく運営でき、学んだことも多かったため。
- ・対面で会えない回数が少なかったので少し残念でしたが、活動自体は非常に楽しかったです。
- ・全体で共有すべきことに対しての質問や意見などを出しきれていない気がしたから。全体会議で、どのように決まったか、全員に共有できている気がしなかったから。

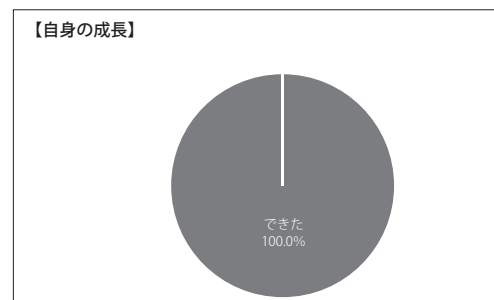


## 6. 活動を通じて、自身を成長させることができたか

1. できた	9
2. できた	0
3. どちらとも言えない	0

⇒その理由《できた》

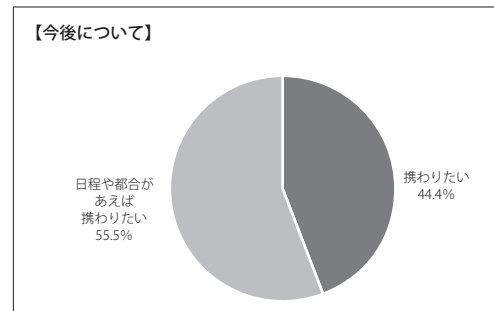
- ・計画力や、対応力が身についたと感じたため。
- ・私生活と両立できていたから。
- ・やったことのない役をする機会がとても良かったです。
- ・自分が経験してこなかった運営の仕事や知識を得ることができたから。
- ・初めて企画運営の裏側を知れたから。
- ・初めての運営や学生活動ではあったが、自分が何をすれば良いか考えながら行動することができたから。
- ・様々な企画をしたりするなかで、現在の情勢を踏まえ考えることが多かったので、とても自分自身成長できたと思います。





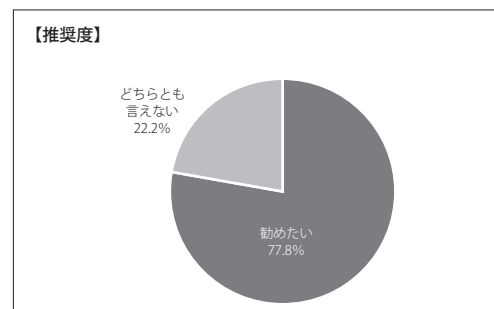
### 7. 今後もこのようなイベントの企画・運営に携わりたいか

1. 携わりたい	4
2. 日程や都合があえば携わりたい	5
3. 携わりたくない	0
4. その他	0



### 8. この活動を友達や後輩に勧めたいか

1. 勧めたい	7
2. 進めたくない	0
3. どちらとも言えない	2



### 9. この活動に参加した感想や上記で回答した以外の意見

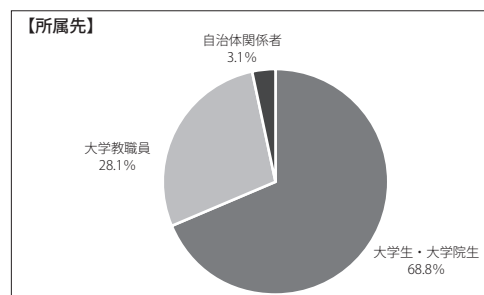
- ・貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。コロナ禍で中々出会いが少ない中、刺激を沢山くれる仲間に出会えたと感じております。また機会があればよろしくお願いします。
- ・楽しかったです！！

# 参加者・観覧者アンケート集計結果

(回答者32名)

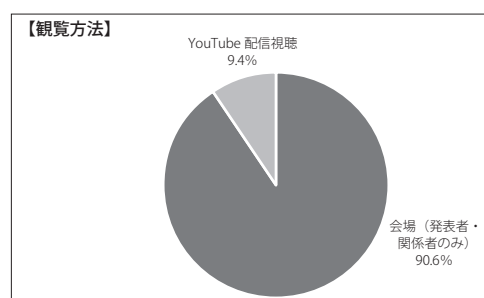
## 1. ご自身について

1. 大学生・大学院生	22
2. 大学教職員	9
3. 発表者関係者（友人、知人、家族等）	0
4. 自治体関係者	1
5. 一般	0
6. その他	0



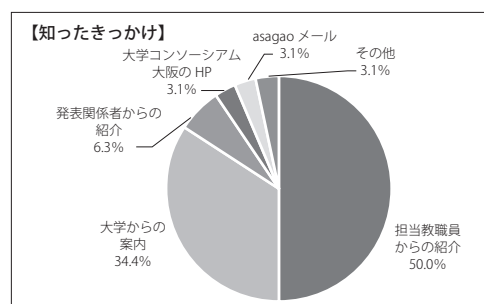
## 2. 発表の観覧方法

1. 会場（発表者・関係者のみ）	29
2. YouTube 配信視聴	3



## 3. イベントを知ったきっかけ

1. 担当教職員からの紹介	16
2. 大学からの案内	11
3. 発表関係者からの紹介	2
4. 大学コンソーシアム大阪のHP	1
5. asagao メール	1
6. チラシを見て	0
7. その他	1

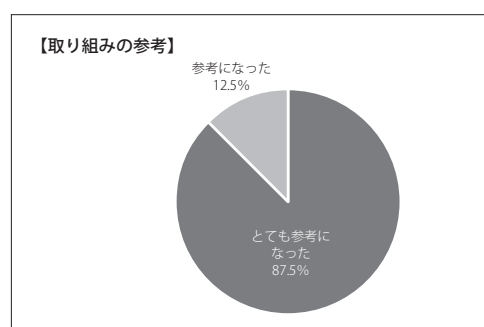


### 【その他】

- ・関係者（推進委員として）

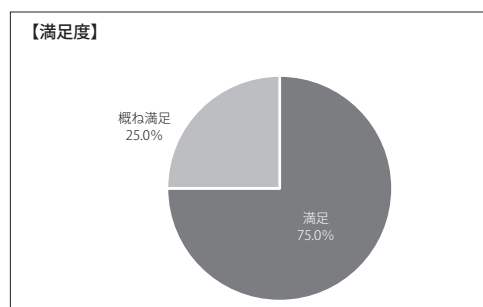
## 4. 今後の研究や地域連携の取り組みの参考になったか

1. とても参考になった	11
2. 参考になった	27
3. あまり参考にならなかった	2
4. その他	1



## 5. フォーラム全体の満足度について

1. 満足	24
2. 概ね満足	8
3. 普通	0
4. 不満	0
5. その他	0



### ⇒その理由《満足》

- ・発表者としての態度を学べたから。
- ・進行はスムーズで、質疑も活発に行われていたため。
- ・自分では考えつかないことが学べたから。
- ・様々な団体が参加しており、それぞれにそれぞれの良さがあつたことと今後の参考になったから。
- ・各々のチームが自分たちの目的に向かい真摯に取り組み、成果を実感していたことが一番私の心に響きました。また、他のチームのプレゼンを拝聴し、参考になる点が多々あり、学生にとっても刺激になったことと思います。学生同士が大学を超えて交流し合い、互いに成長し合うきっかけとなる素敵な企画ですので、今後も継続していきたいと思いました。
- ・同じ学生なのにレベルが高いから！
- ・コロナ禍で活動という活動を行っていませんでしたのでほかの大学生がどのような活動を行っているかいい参考になった。
- ・グループワークが楽しかったです。もっと他の人とも関わりたいと思いました。
- ・自分を成長させるようなことばかりだったから。
- ・色々な発表を聞けたし、自分のグループへの意見も聞けたのですごく勉強になりました。
- ・様々な団体、学生との交流ができたからです。
- ・Youtubeのライブを併用してくれたので、発表者以外のゼミ生をオンラインで参加させることができたのがよかった。協力機関の職員の方も視聴いただけました。
- ・同学年の学生のみなさんが、様々なアイデアを出し合い、自主的に積極的に地域の課題に取り組んでいる姿勢がよく感じ取れました。
- ・コロナ禍でも積極的に地域連携活動を行えることを学生から学べ、また、勇気づけられた。
- ・色々な交流の機会があり、大変貴重な経験をさせていただいたから。
- ・コロナ禍の中、各発表学生らがそれぞれに創意工夫した活動を展開していたため。
- ・さまざまな取り組み事例の中に本学の今後のプロジェクト活動のヒントになった。
- ・インスタグラムの発信の仕方、ヒアリングの重要性など、今自分が取り組んでいる活動に関連して参考になることが多かったから。
- ・時間が長いと思わなかったから。
- ・地域連携という視点で各大学の大学生の取り組みが分かり、その活動が多岐にわたっていることが理解できたため。

### ⇒その理由《概ね満足》

- ・学生の一生懸命さが伝わりました。地域創生に学生がかかわることを期待していたから。
- ・いい感じに発表できたから。
- ・時間をしっかりと守っていたので大きな遅れなどもなく、進行されていたため。
- ・意見交換できる時間がもう少しあればと思いました。
- ・他大学の取り組みを聞き、今後の参考になると感じたため。

### 6-1. 関心をもったチーム発表（最大3つまで選択可）

学生発表① 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ	3
学生発表② 大阪電気通信大学カフェラボプロジェクト	9
学生発表③ 大阪商業大学フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ	2
学生発表④ 追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ	10
学生発表⑤ 摂南大学ボランティア・スタッフズ	5
学生発表⑥ 大阪大学学生有志プロジェクト	5
学生発表⑦ 摂南大学 PBL プロジェクト科目の受講生	2
学生発表⑧ 摂南大学 地域貢献実践演習（講義）3回生・4回生	4
学生発表⑨ 摂南大学 松塚健康プロジェクト	6
学生発表⑩ 摂南大学 PBL プロジェクト	8
学生発表⑪ 追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ	12
学生発表⑫ 学生舞洲プロジェクト	14
学生発表⑬ 大阪成蹊大学公共政策コース地域研究グループ	14

### 6-2. 上記のチームを選んだ理由

<b>学生発表① 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・純粋に素晴らしいので。</li> <li>・来年から看護師として働く上で、地域の高齢者の情報共有をデジタルで発信できるシステムを知れてよかったため。</li> <li>・今のIoT社会に興味があったからです。</li> </ul>	
<b>学生発表② 大阪電気通信大学カフェラボプロジェクト</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使われていない研究室をカフェにするという発想が斬新で、自分の大学でも似たような取り組みができないかと思ったから。</li> <li>・古くなって使われなくなったものをリメイクして再利用するというコンセプトに興味を持ったからです。</li> <li>・大学特有の強みを活かしており、何に対しても積極的に動く姿勢が見られ、興味深かったため。</li> <li>・身近なところでとても共感が持てたから。</li> <li>・プロジェクトを通して自分たちの創意工夫をしっかりと表現することができていたため。</li> <li>・一から作り直し、経営をするところに関心を持ちました。</li> <li>・取り組みが参考になったため。</li> </ul>	
<b>学生発表③ 大阪商業大学フィールドワークゼミナール 宍戸ゼミ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な地域活動を長期間展開していて、コロナ禍での工夫もなされていたため。</li> <li>・健康チェックリストは興味深い。</li> </ul>	

#### 学生発表④ 追手門学院大学 経営学部 村上喜郁ゼミ

- SNS で多くの人に知ってもらうための工夫や分析をされてたため。
- 目的と課題を明確にしたうえで、それに沿って活動していました。また、ユーチューブ配信などに工夫を凝らしていました。
- 大学、地域、行政との連携が上手くいっていると感じました。
- 発表の仕方からスライドまでわかりやすく、興味をひく発表だったから。
- 提案したビジネスプランが地域にうまく取り入れられて貢献出来ている点を評価した。
- 産・学・官の連携で、見山の郷の強みを活かし商品開発に尽くしていたため。
- スライド及び発表が整理され、分かりやすかったから。
- 地域での継続活動展開の中、コロナ禍での新たな展開など発表が聴きやすかったため。

#### 学生発表⑤ 摂南大学ボランティア・スタッフズ

- 具体的な説明がたくさんあったから。
- 自主的な活動を行っていて、すごいと感じた。
- ボランティアが好きだからです。
- コロナ禍であっても積極的にさまざまな活動を進めており、参考になりました。
- 大学内にPCR検査センターを設けた活動は素晴らしいと思うため。

#### 学生発表⑥ 大阪大学学生有志プロジェクト

- 小学生、高校生、高齢者と、それぞれに合わせた活動を工夫しており、かつ、その評価をきちんと出そうとしている点が大変良かったと思いました。
- 他の学部学生と違い、大学院生としての立場からの実践報告であったため。
- 取り組む姿勢がとても学びになった。
- 住民からアイデア創出のために直接意見を求め、そこで出た意見を実現させるという実行力が非常に素晴らしいと思いました。

#### 学生発表⑦ 摂南大学 PBL プロジェクト科目の受講生

- とても興味深かったから。
- 取り組みが参考になったため。

#### 学生発表⑧ 摂南大学 地域貢献実践演習（講義） 3 回生・4 回生

- 授業の一環とはいえ、私たちと同じような環境に置かれて活動しているところに共感したため。
- 発表内容が自分の知識向上に貢献できたからです。

#### 学生発表⑨ 摂南大学 松塚健康プロジェクト

- 高齢者問題について自身の行っている活動と似た点があり、参考になった。
- 健康についての関心があったからです。
- コロナ禍でありながらもしっかりと活動できていたから。
- 看護の専門的なノウハウをお持ちなので、コラボさせていただければありがたい。
- データをしっかりと集めて分析しながら、活動を展開している。



### 学生発表⑩ 摂南大学 PBL プロジェクト

- ・事前準備から評価までしっかり出来ていたから。
- ・プロジェクトの内容にとっても興味があったからです。
- ・専門の違う学生が協働して取り組んでいる内容を評価した。
- ・発表がとてもわかりやすかったから。
- ・コロナ禍であっても様々な活動が行えており、そこから様々な学びや評価を頂いていたため。
- ・複数の自治体をはじめ高校との連携活動を展開して先方からの評価説明が明確であった。
- ・新入生の友達作りに大学生が関わることを斬新に感じるとともに、未来の地域を担う高校生の環境づくりの大切さを知ったから。
- ・コロナ禍に負けず、頑張っていることを感じたから。

### 学生発表⑪ 追手門学院大学 経営学部 水野ゼミ・宮崎ゼミ

- ・完成度が高く学ぶことが多かったため。
- ・幅広く活動してすごいと思った。
- ・規模感が良かった！
- ・SNSの拡散の話が印象に残った。
- ・様々なネットツールを用いての地域活性化の取り組み。
- ・動画のクオリティが高く、今後学生らしい企画でどのような動画ができるか面白そうです。
- ・楽しそうなので今後も続くように感じました。
- ・ビジネスに活かせる広告の検討がなされていたため。
- ・SNS、動画、紙媒体とうまく使い分けて情報を発信している。また、大学生が入り込む余地が多く、今後の活動の展開可能性が広がっていくように感じた。
- ・Instagramのフォロワー数が増えるとなぜ増加したのかを分析し、フォロワーを増加させるために様々な工夫もされており、とても参考になりました。
- ・チームメンバー35名、6期目の活動ということで、産学官連携でしっかり出来ている取組でした。プレゼンを聞く限りでは、タウン情報誌との差別化が出来ていないように感じました。北摂の自治体にヒアリングをして課題を深掘りすることで、アプローチが変わってくるように思いました。

### 学生発表⑫ 学生舞洲プロジェクト

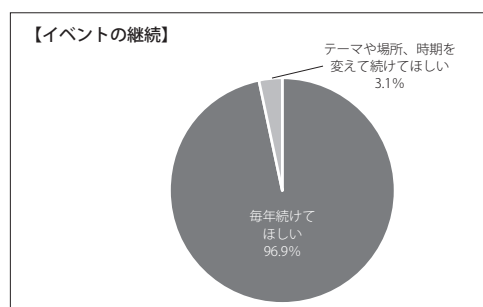
- ・PDCAサイクルが明確だったから。
- ・取り組みが幅広く、多くの方が関わっており、活動に対しての熱が大きく感じられたため。
- ・学生主体の活動を展開する際のヒントがたくさん詰まっているように思った。
- ・質疑応答がスムーズにできていて素晴らしかったからです。
- ・舞洲を魅力ある場所にしていくために、学生さんが考えたアイデアを社会人にぶつけていく姿勢は素晴らしいです。どんどんチャレンジして行って欲しいと思いました。
- ・積極的にプロジェクトの拡大をしようとチラシなどを配って頑張っていたため。
- ・このチームは、立成社という企業の代表者が担当教員として位置づけられており、発表内容も他のチームとは違っていました。企業色が強く、学生の地域連携活動とするには少し違和感がありました。ですが、若い学生が起業することは良いことだと考えます。これからの日本に必要な組織かなとも思いました。
- ・課題に対してどう立ち向かうべきかという姿勢がいい！
- ・プロの球団と協力して活動しており、大阪の他大学の有志が集まって活動していることに驚いた。
- ・質疑応答がとてもスムーズであった。
- ・舞洲を勤める気持ちがすごく伝わってきたからです。
- ・舞洲について興味を持ったから。

## 学生発表⑬ 大阪成蹊大学公共政策コース地域研究グループ

- 現状分析と政策提案、自治体からのフィードバックがしっかりできており、自分たちの取組について真摯に振り返っておられました。ここで終わらず、市に採用されるまで政策をとことんブラッシュアップして行ってほしいと思います。
- 実際に市長や市の偉い方々に自分たちの考えを提案していたため。
- 5つのアイデアも多種多様でした。特に空き家に関しては川西市の課題を逆手に取ったアイデアだったので、大変興味深かったです。
- ヒアリングをすることで、地域の方の意図を汲み取る重要性がわかり、自分の活動にも活かそうと考えたから。
- アイデアが充実してたから。
- 市長に頼むということがすごかったから。
- 具体的なアイデアや連携部署について挙げていただけでなく、市長からコメントを貰い計画実現に向けて学生自身でヒアリングを行っていた。
- 空き家プロジェクトが印象に残った。
- とてもスライドが見やすく、内容が入ってきやすかったからです。
- 発表内容に興味関心を惹きつけられたからです。
- 地域の施策策定の困難さを感じ取れました。
- 市の厳しい目にめげずにビジネスプランを積極的に提案している様子に感銘を受けた。
- 考えるだけでなく、現場の人に体当たりでぶつかっていくことが大事だと再確認できました。

### 7. イベントの継続について

1. 毎年続けてほしい	31
2. テーマや場所、時期を変えて続けてほしい	1
3. あまり続けてほしいと思わない	0
4. その他	0



## 8. フォーラム全般の感想や意見

- とても有益な会であったと感じております。  
発表者側からの刺激もありましたが、運営側の学生からもやりがいを持って行っているように感じ、刺激を受けました。参加させていただきありがとうございました。
- コロナ禍という難しい状況の中で、沢山の発表を生で聴くことができ、そこから自分達の活動に活かせる内容なども得ることが出来たため、嬉しかったし、面白かった。
- 他大学のプロジェクトを知る良い機会になりました。可能であれば、もう少し多くの方と名刺交換する時間を設けていただけるとありがたかったです。
- 今回の体験から自分は何も行動できていないと感じさせられた。この悔しい気持ちを埋められるように、またこれをバネに頑張っていこうと思います！
- 自分たちの活動を他の大学や関係者に聞いていただけるいい機会だった。またいいプレゼン練習になったほか、他大学の活動についても知ることができ、有意義な時間でした。
- YouTubeで配信するのはとても良いと思います。
- 今回は、大変お世話になり、ありがとうございました。気づいた点をいくつかコメントさせていただきます。この企画がよりよいものになりますように、応援しております。
  - ①20分×13報告は長いと感じました。可能ならテーマにそって報告グループを分けれたらよかったですかもしれません。
  - ②会場に来るのは大変ですので、Youtubeライブは今後も続けてほしいと思いました。当日までYoutubeライブの申し込みを許可してくれれば、さらに視聴者は増えたと思います。または限定公開にせず、一般公開にしてしまうなど。
  - ③報告数が多いのでピンポイントで視聴できるように、プログラムは学生の事前交流会で決めるのではなく、もっと早い段階で事務方で決めてしまってもよいと思います。プログラムを早く公開することで、視聴者は増えると思います。
  - ④ゼミや授業の一環で報告を行っていたグループがいくつかありました。教員の交流会もあれば色々情報交換やコラボレーションしたいことがあるかもしれません。
- 今回、はじめて参加させていただきましたが、内容も濃く、とても刺激を受けました。
- コロナ禍ということもあり、私たちも活動を行うとなるとかなりの制限がありました。そのため、他団体の方々はどうのような活動を行なっているのか興味深かったですが、私たち同様にコロナ禍だからこそ出来ることというのを最大限に発揮している姿を目にすることが出来ました。今後の活動も他団体の方々のように頑張ろうと勇気づけられました。参加させていただきありがとうございました。
- 関係者の皆さまには、コロナ禍の中、事前オンライン発表学生交流会の開催、当日のハイブリッド開催などご苦労様でした。
- 非常にさまざまな取り組みを知ることができて、大変有意義な時間でした。
- ほかの発表者の凄さに圧倒される時間でした。また、自分の知識力向上に貢献したので、大変満足しています。このような機会を設けていただきありがとうございました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- スムーズな会の運営であったと思います。大学と大学の活動コラボができると良いなと感じました。

## 9. 学生企画メンバーへのメッセージ

- 円滑な運営をしていただきありがとうございました！
- 10日の事前交流会があったおかげで話が聞きやすくなった。
- 皆さんの笑顔がとても印象的でした。事前交流会でも、当日の交流会でも面白い企画を考えてくださりありがとうございました。
- 企画していただいたメンバーの皆さん、何ヶ月も実施に向けて準備をしてくださったと思います。ありがとうございました。スタッフさん方のような働きがあることを私も知らなかったので驚きました。コロナ禍だからこそできることとして今回のような発表会を開くことができ良かったです。
- 学生フォーラムの運営お疲れ様でした。企画もとても楽しかったです。
- 学生が主体的に行動しており、その姿勢に好感が持てました。いろいろと大変なことも多いと思いますが、今後も継続して皆が主体的に活動できるこのような場が広がることを期待いたします。本日は大変有意義な機会をいただきありがとうございました。
- コロナ禍の中で思ったように準備が出来ずに大変だったと思いますが、このような機会を設けて頂きありがとうございました。
- とても楽しい企画ばかりで裏方さんのおかげで無事今回実現できたと思っています！ありがとうございました！
- 企画、運営メンバーあってこそその地域連携学生フォーラムだったので本当に感謝です。
- 楽しかったです！ありがとうございました！自分も運営側をしたいと思いました。
- とても話しやすいばかりで、また会いたいと思いました。事前交流会も発表日も楽しかったです。ありがとうございました。
- 素敵な企画・運営をありがとうございました。事前交流会や最後の交流会もすごく楽しめました。
- 本日はお疲れ様でした。学生同士が打ち解け合えるような企画を考えていただきありがとうございます。
- 当日まで本当にお疲れ様でした。学生中心に動いていることがすごいと思い、私も見習おうと思いました。準備期間から本番まで、本当にありがとうございました。
- 皆さん、立派に活動されて、社会人として成長していると感じました。司会の森岡君も大変スムーズに会を進行していただき、ありがとうございました。社会に出てから、様々な分野でリーダーとして活躍されることを祈っております。
- スムーズな進行をしてくださり、ありがとうございました。
- 当日も事前交流の企画・運営は素晴らしかった。発表者に負けず劣らずよく頑張ったと思う。
- 運営側の学生のみなさまのおかげでスムーズな発表ができていたと思います。また、事前企画や当日の企画も楽しめるものでした。本当にありがとうございました！
- この地域連携学生フォーラム in Osaka 2021を開催していただきありがとうございました。お話の中でもありましたが、ミーティングなどはオンラインが多かった分、中々意思疎通が難しかったと思いますが、尽力していただけたからこそ、無事開催に繋がったのだと思います。また、個人的にですが、事前交流会などでは司会進行の方がとても上手で見習わせていただくという場面も多々ありました。来年度も是非参加させていただこうと思っています。
- 事前の調整、当日の司会進行、発表学生間の交流推進への努力、拝見しました。大変良いフォーラムでした。ご苦労様でした。
- 事前のアイスブレイクをはじめ、当日もとても丁寧に企画を進め運営していただきありがとうございました。私もですが、本学の学生たちも大変楽しみ、刺激的だったようです。
- お疲れ様でした。本番に向け、準備を進めていただいたおかげで、私たちも発表を成功することができました。ありがとうございました。
- 特に問題なく運営されていたと思います。ありがとうございました。
- 感染予防対策を徹底して、会の運営をしていただきありがとうございました。質疑応答も活発で参加していて楽しかったです。事前交流会も参加した学生に聞きましたら、とても楽しかったということでした。ありがとうございました。





# 地域連携学生フォーラム 発表者募集！！

2021.10.17 (日)  
10:00~17:00

繋がる  
広がる  
変化する

～コロナを原動力に前進していく地域～

《エントリー方法》  
エントリーシート（別紙）に必要事項を記入のうえ  
メール添付にて下記アドレスへ送付してください。  
送付先：chiiki-renkei@consortium-osaka.gr.jp（大学コンソーシアム大阪 事務局）  
募集要項、エントリーシートは大学コンソーシアム大阪のHPよりダウンロードしてください  
対象者：大学コンソーシアム大阪会員大学の学生、大学院生

詳しくはWEBで！！



大学コンソーシアム大阪

エントリーの締め切り：8月23日（月） 裏面に詳細あります→



## 地域連携学生フォーラムとは！！



- ・会員大学の学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やフィールドワーク、ボランティア活動等について発表し交流する、学生主体の発表交流会です。
- ・この発表交流会を通じて、学生の地域連携に取り組む意識の高揚や自己点検を促進するとともに、地域との連携を行ううえでの配慮ポイントやノウハウを会員大学や自治体関係者等で共有し、会員大学の地域連携活動を醸成する機会としています。

Twitter、  
Instagram、  
FaceBook  
もやっています！

## あいさつ



初めまして。

地域連携学生フォーラム 企画運営学生メンバーです。

今年のテーマ「繋がる広がる変化する～コロナを原動力に前進していく地域～」には、コロナを前向きにとらえて未来に向かって前進していこう、という意味を込めました。

コロナ禍を原動力に前進したい学生の皆さん、私たちと一緒にこのフォーラムを盛り上げましょう！

(本番以外にも事前交流会なども企画しています！)

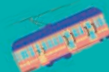
## 会場



グランフロントカンファレンスルーム  
タワーC8階 (RoomC01+C02)  
【アクセスマップ】

詳しくは、QRコードから！

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1



・電車をご利用の場合  
JR「大阪」駅から徒歩4分



【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 (事務局 地域連携担当)

MAIL: [chiiki-renkei★consortium-osaka.gr.jp](mailto:chiiki-renkei★consortium-osaka.gr.jp) (★を@に変えてください)

TEL: 06-6344-9560 (平日 9:30-17:30)

※このチラシは企画運営学生メンバーが作成しました。

# 地域連携学生フォーラム

in Osaka 2021

## 観覧者募集

繋がる  
広がる  
変化する

2021.10.17 (日)  
10:00~16:30

～コロナを原動力に前進していく地域～

当日の発表の様様を  
YouTubeにてライブ配信を行います。

視聴をご希望の方は、  
下記のURLまたはQRコードから  
お申し込みください。

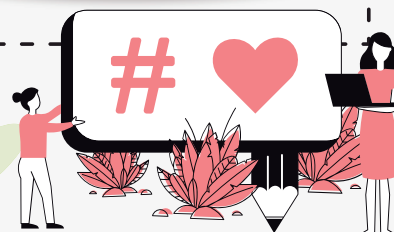


<https://forms.gle/hvRaZXR973Lqq8x29>

【申込締切：10月8日（金）まで】

※どなたでもお申し込みいただけます。

当日はコメント欄より  
発表学生に応援メッセージを  
送ってください！



大学コンソーシアム大阪



詳細は大学コンソーシアムHPをチェック！

## 地域連携学生フォーラムとは！！

- ・会員大学の学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やフィールドワーク、ボランティア活動等について発表し交流する、学生主体の発表交流会です。
- ・この発表交流会を通じて、学生の地域連携に取り組む意識の高揚や自己点検を促進するとともに、地域との連携を行ううえでの配慮ポイントやノウハウを会員大学や自治体関係者等で共有し、会員大学の地域連携活動を醸成する機会としています。



Twitter



Instagram



↑↑各SNSはこちら↑↑  
フォローしてね！

## 今年のテーマについて

初めまして。

地域連携学生フォーラム 企画運営学生メンバーです。  
今年のテーマ「繋がる広がる変化する～コロナを原動力に  
前進していく地域～」には、コロナを前向きにとらえて未  
来に向かって前進していこう、という意味を込めました。  
コロナ禍を原動力に前進したい学生の皆さん、  
私たちと一緒にこのフォーラムを盛り上げましょう！

地域連携学生フォーラム2021  
オリジナルロゴ↓↓



## 今年はこんな発表が！（13事業）

大阪大学

- ・住民と大学院生の協働によるアイデア創出の場づくりと実現に向けた実践

追手門学院大学

- ・見山の郷商品開発プロジェクト
- ・北摂地域の活性化・認知度向上

大阪経済大学

- ・IoTによる「デジタル社会」と「人とひとのふれあい社会」との融合による町づくり

大阪商業大学

- ・子どもや高齢者の集い場・居場所づくり

大阪成蹊大学

- ・地方創生に向けた川西市への政策提案プロジェクト

大阪電気通信大学

- ・OECUカフェラボプロジェクトの2020&2021年度活動報告～地域のカフェリノベーション～

摂南大学

- ・公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の認知度向上（地域貢献実践演習）
- ・高齢化率の高い都市部における住民中心の健康づくり活動への支援
- ・大学生と地方自治体とのSDGs連携プラットフォーム活動
- ・コロナ禍における大学生の地域貢献活動
- ・奥伊吹やまのさちプロジェクト（山間部の過疎高齢化地域での援農活動）

学生舞洲プロジェクト

- ・舞洲の魅力発信・知名度向上を目指したプロジェクト

【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪（事務局 地域連携担当）

MAIL: chiiki-renkei★consortium-osaka.gr.jp（★を@に変えてください）

TEL: 06-6344-9560（平日 9:30-17:30）



※このチラシは企画運営学生メンバーが作成しました。





特定非営利活動法人

大学コンソーシアム大阪（事務局 地域連携担当）

大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階

TEL:06-6344-9560

MAIL:chiiki-renkei★conso-osaka.jp ※★を@に変えてください

URL : <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>

